

官報

號外

大正五年二月二十日

日曜日

印刷局

第三十七回 衆議院議事速記錄第二十九號

大正五年二月十九日(土曜日)午後一時二十三分開議

議事日程 第二十八號 大正五年二月十九日

午後一時開議

- 第一 明治三十九年法律第三十一號中改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(委員長報告)
- 第二 郵便法中改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(委員長報告)
- 第三 鐵道船舶郵便法中改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(委員長報告)
- 第四 電信法中改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(委員長報告)
- 第五 海底電信線保護萬國聯合條約罰則改正法律案(政府提出) 第一讀會/續(委員長報告)
- 第六 罹災救助基金法中改正法律案(伊藤義平提出) 第一讀會/續(委員長報告)
- 第七 元屯田步兵扶助ニ關スル法律案(請願提出) 第一讀會/續(委員長報告)
- 第八 慢性傳染病豫防ニ關スル建議案(山根正次君提出) (委員長報告)
- 第九 濠洲及南洋ノ排日除去ニ關スル建議案(小西和提出) (委員長報告)
- 第十 救育費國庫支辨ニ關スル建議案(鈴木萬次郎君提出) (委員長報告)
- 第十一 有栖川神社建立ニ關スル建議案(鹿島秀磨君提出) (委員長報告)
- 第十二 鐵道建設ニ關スル建議案(松田源治君提出) (委員長報告)
- 第十三 製鐵事業促進及獎勵ニ關スル建議案(小林丑三提出) (委員長報告)
- 第十四 枝光製鐵所官民共同經營ニ關スル建議案(河崎太郎提出) (委員長報告)
- 第十五 岐阜多治見間鐵道速成ニ關スル建議案(吉田就二提出) (委員長報告)
- 第十六 飛騨縱貫鐵道速成ニ關スル建議案(田中鏡吉君提出) (委員長報告)

第十七 名古屋富山間鐵道建設ニ關スル建議案(三輪市外一名提出) (委員長報告)

第十八 飛騨鐵道速成ニ關スル建議案(岡崎久次郎君外十名提出) (委員長報告)

第十九 神戸港設備完成急施ニ關スル建議案(田村新吉君外五名提出) (委員長報告)

第二十 取引所令中改正ニ關スル建議案(加賀卯之吉君外一名提出) (委員長報告)

第二十一 輸出品粗製濫造防止ニ關スル建議案(小山松壽君提出) (委員長報告)

第二十二 地方裁判所支部權限復活ニ關スル建議案(樋口秀雄君外三名提出) (委員長報告)

第二十三 區裁判所復舊ニ關スル建議案(福井三郎君外三名提出) (委員長報告)

○議長(島田三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一、議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
戰時海員保護法制定ニ關スル建議案
提出者 福井三郎君 淺野陽吉君 小西和君

重要物產同業組合法中改正法律案
提出者 萬代嘉平治君 岩本平藏君 雜賀信三郎君
三隅哲雄君 小西和君 西村丹治郎君

高等試驗法案
提出者 請願委員長
裁判所構成法中改正法律案
提出者 請願委員長

一、議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
間島ニ於ケル帝國ノ威信ニ關スル質問主意書
提出者 早川龍介君

輕便鐵道建設ニ關スル再質問主意書
提出者 根本正君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)
一、十八日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
證券ヲ以テスル輸入納付ニ關スル法律案

齋藤隆夫君 淺野陽吉君 岡崎久次郎君
鈴木寅彦君 清水隆德君 本田恆之君
三隅哲雄君 藤原元太郎君 村山金平君
小坂順造君 松浦五兵衛君 河野庄太郎君
井上敬之助君 西田庄助君 高山眞平君
九鬼紋七君 津原武君 尾崎元次郎君

官報號外

大正五年二月二十日(三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記錄第二十九號 議長ノ報告

六五三

理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案

守屋 此助君 橫田 孝史君

中野 悌治君 河野 正義君

菊池 良一君 成田 榮信君

堀切 善兵衛君 橫山 章君

渡邊 修君 小西 和君

田淵 貞四郎君 室木 彌次郎君

朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及銅ノ移入税ニ關スル法律案

早川 龍介君 萬代 嘉平治君

半谷 清壽君 渡邊 新太郎君

竹内 明太郎君 西田 爲之君

特許法中改正法律案外一件

織田 了君 中川 幸太郎君

山口 嘉七君 原本 大三郎君

東北六縣國有林野下戻處分ニ關スル建議案

半谷 清壽君 久須美 東馬君

室木 彌次郎君 中村 千代松君

高杉 金作君 重盛 信近君

金玉均表彰ニ關スル建議案

大原 義剛君 井手 三郎君

河野 正義君 前川 虎造君

兒玉 好熊君 飯森 辰次郎君

安房鐵道速成ニ關スル建議案

小林 勝民君 中村 尙武君

高田 耘平君 柏原 文太郎君

藏内 次郎作君 増田 次郎君

八代川内閣鐵道速成ニ關スル建議案

岡 辰喜君 山田 珠一君

森 環君 小橋 藻三衛君

原田 十衛君 岸本 賀昌君

畜産事業國庫補助ニ關スル建議案

江口 勝之助君 雜賀 信三郎君

三津家 傳之君 川口 木七郎君

上越鐵道建設ニ關スル建議案外一件

外國米輸入官營ニ關スル建議案

齋藤 宇一郎君 加賀 卯之吉君

早川 龍介君 西村 丹治郎君

川上 榮太郎君 金尾 稜嚴君

關野 善次郎君

中野 貫一君

吉植 庄一郎君

望月 圭介君

金子 元三郎君

橋本 太吉君

山根 正次君

野尻 岩次郎君

小西 和君

川井 爲巳君

秋本 喜七君

森田 茂君

杉山 東太郎君

平井 六右衛門君

龍口 了信君

小林 勝民君

小久保 喜七君

川崎 安之助君

辻 寛君

秋本 喜七君

加瀬 禮逸君

浦瀬 濟之君

武満 義雄君

小西 和君

伊藤 恭之助君

平井 六右衛門君

小西 和君

目黒 孝平君

高島 順作君

阿由葉 鎗三郎君

高木 利平君

安部 熊之輔君

川崎 安之助君

神通川改修工事速成ニ關スル建議案

關戸 寅松君 大場 竹次郎君

山田 正年君 望月 長夫君

上埜 安太郎君 肥田 景之君

鐵道旅館増設ニ關スル建議案

川井 爲巳君 市川 文藏君

本間 三郎君 濱田 國松君

岩本 平藏君 本田 親清君

音樂教育ニ關スル建議案

森丘 覺平君 河野 正義君

福田 民平君 相島 勘次郎君

鳩山 一郎君 頼母 木桂吉君

北海道拓殖速進ニ關スル建議案

初見 八郎君 小池 仁郎君

大橋 松二郎君 谷口 武兵衛君

保科 陽治君 相島 勘次郎君

佐藤 政五郎君 名村 忠治君

井上 敬之助君 青木 磐雄君

林 平四郎君 小西 和君

一、委員異動 今十八日關稅定率法中改正法律案委員守屋此助君辭任ニ付キ

其補闕トシテ三隅哲雄君ヲ議長ニ於テ選定セリ

○議長(島田三郎君) 御諮リヲ致シマス——會議ヲ開イテ御諮リヲ致シマス、第五

部選出豫算委員加藤定吉君常任委員辭任ノ申出ガアリマシタ、許可ヲ致スコトニ御

異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ナイモノト認メテ許可ヲ致シマス、其ノ部ノ諸君ハ速ニ

補缺選舉ヲ行ヒ御報告アラントラ望ミマス、次ニ人權保護ニ關スル法律案外一件特

別委員會ヲ開キタイト云フ委員長加瀬禮逸君ノ申出ガアリマシタ、許可ヲ致シマス、

日程第一、明治三十九年法律第三十一號中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、

委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長小山松壽君

第一 明治三十九年法律第三十一號中改

正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

(小山松壽君登壇)

(拍手起ル)

○小山松壽君 本案ハ臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案デアリマシタ、委任立法

ニ付テノ重大案件デアリマスカラ、付託ニナリマシタ特別委員會ヲ開クコト四回、政府當局

トノ間ニ質疑ヲ重ネマシタ、慎重審議ヲ經マシタ、其詳細ハ速記録ニアリママスカラ此

ニ之ヲ省略致シマシタ、結果ヲ申上ゲマス、松田源治君ノ本案反對ノ意見ハ少數ヲ消

滅ニナリマシタ、但本會ニ於テ少數意見ヲ提出スルト云フコトノ通告ガアリマシタ、次ニ

加瀬禮逸君ノ修正デアリマス、第一條中「事項」ヲ「事項ニシテ臺灣ニ特別ナルモノ」

ニ改メ、附則「本法ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス、本法ハ大正十年十二月

三十一日マテ其效力ヲ存ス」現行ノ律令ハ勅令ヲ以テ是ト抵觸スル規定ヲ爲スモノ

ノ

外其ノ效力ヲ存ス」トノ意見ハ是亦少數ニテ消滅致シマシタ、此ニ於テカ小林勝民君ノ「領土以來律令問題ヲ繰返スコト」幾度ニ及ブモ解決ヲ見ズ、政府ハ速ニ臺灣統治ノ根本の方針ヲ確立スルヲ望ム」トノ意見、及高木正年君ノ舊法ニ認メタル評議員會制度ニ一段ノ進歩改善ヲ加ヘタル組織ヲ實現シ適材ヲ朝野ニ互リテ政府之ヲ任命シ律令諮問ノ機關ヲ設置スヘシ」トノ希望條件ヲ附シテ原案ヲ贊成スルト云フノ御意見、此ノ如クシテ右ノ意見ニ依リマシテ原案ハ多數ヲ以テ可決トナリマシタ、以上報告ニ及ビマス、尙此質疑ガアリマスレバ御答申上ゲマス

○議長(島田三郎君) 反對ノ通告ガアリマス、濱田國松君

(濱田國松君登壇)

(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 此際チヨット申上ゲマス、兵役稅外一件特別委員會ヲ開キタイト云フ請求ガ委員長矢島八郎君ヨリ御申出ガアリマシテ、許可致シマシタ

○濱田國松君 諸君、本員ハ唯今議場ニ報告セラレマシタル此委員長ノ報告ニ反對ノ意見ヲ持ツテ居ルモノデアリマス、成ルベク簡單ニ意見ヲ申述ベタイト思フノデアアル、我帝國議會ノ上ニ從來繼續問題トシテ解決セラレナイ此立法問題ト云フモノハ、随分多ノ解決ヲ見ザル案ト云フモノモ、亦殆ド無イノデアリマス、諸君モ御承知ノ如クニ此臺灣律令問題ハ、案ノ性質ヨリ論ズレバ憲法上ニ關係ノ有ル重大ノ立法問題デアリマス、時間ノ關係ヨリ論ズレバ臺灣領有以來二十年間其解決ヲ見ザル案デアリマス、利害ノ關係ヲ有スル國民ノ數ヨリ云ヘバ、臺灣ノ二百數十萬ノ人民ト云フモノハ、此案ニ付テ特別ノ利害ヲ持ツテ居ル重大ナルモノデス、而シテ此問題ガ從來議會ニ上リシコトハ、今回ヲ以テ確カニ同ナリト存ジマス、此間内閣ヲ更フルコト十一回、臺灣總督ヲ代フルコト五人、斯ノ如ク此案ハ案其物ノ重大ナルト共ニ案ノ經過ト云フモノハ頗ル長キ間ニ亘ツテ居ルモノデアリマス、然ルニ此案ガ今日ニ於テ、尙立法上根本ノ解決ヲ見ルコトヲ得ナイノハ甚ダ遺憾ナル次第デアリマス、思フノデアリマス、從來歷代ノ政府ガ議會ニ此案ヲ提出シマスル際ニハ、主ニ三年若クハ五年ト云フ期限ヲ附シテ提案ヲサレ、コトガ常態デアリマシテ、提案當時ノ説明ハ、何時デモ此從來ノ所謂六十三號ハ長ク繼續スルコトハ政府トシテモ好マナイノデアアル、デ相當ノ期間内ニハ必ず臺灣ニ適當ナル所ノ特別立法機關ヲ整備スルコトヲ、即チ常套ノ口實トセラル、ノデアリマス、提案セラレマス際ニハ何時デモ其責任ヲ制限スルノデアリマスガ、一度此議會ヲ通過スルヤ、何時デモ當局者ハ雲煙過眼視シ、次期ノ提案マデニ此立法上改良ノ蹟ヲ示サレタ提案ト云フモノヲ一回モサレタ例ガ無イノデアリマス、此點ニ付テ從來ノ事例ト云フモノヲ取調ベテ見マスルト云フト、第十六議會即チ明治三十八年ノ議會ニ於キマシテ、時ノ内閣大臣田中芳川君ハ斯ウ云フコトヲ御述ベニナツテ居リマス、平和克復ノ後ニ於キマシテハ此法案ノ廢セラル、コトハ覺悟シテ居ルノデアリマスツレト、同時ニ臺灣統治ニ恰當ナル規定ヲ設ケテ以テ諸君ノ協贊ヲ求ムルコトニ致ス考デアリマス」斯ウ云フコトヲ三十八年ニ時ノ政府ガ議會ニ「臺灣ノ統治ニハ重大ナル關係ヲ持ツテ居ル所ノ一木内相ガ、ヤハリ其述ニナツタデハアリマセヌ、時ノ法制局長官トシテ御述ニナツタデアリマスルガ、斯ウ云フコトヲ御述ニナツテ居ラレマス、臺灣ノタメニ特別ノ制度ヲ調査シテ定ムルコトハ今日極デ居リマス六十三號ヲ尙此先繼續シヤツト云フ考ハ決シテナイ、今日ニ於テハ特別ノ制度ヲ提出シテ諸君ノ御協贊ヲ仰ク時機ニ達シテ居ラス、時局ノ濟ミマスルマデ六十三號ヲ

繼續シタイト云フノデアリマス」斯ウ云フコトノ御演說ニナツテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク歷代ノ政府ニ於キマシテ、國務大臣首メ是等立法ニ重要ノ關係ヲ持ツテ居ラレル所ノ政府委員ハ、何時デモ次期ノ提案マデニハ必ず此特別立法案ノ根本ノ解決ヲ見出シテ適當ノ案ヲ提出スルト云フコトヲ何時デモ誓ハル、ノデアリマス、然ルニ今回現内閣ニ依リ提出セラレマシタル此繼續案ト云フモノヲ調ベテ見マスルト、毫モ變テ居ラヌデアリマス、從來ノ法律ト少シモ進歩ノ蹟ヲ示シテ居ラスノデアリマス、是ハ政府ト致シマシテハ從來ノ此言責ト云フモノヲ無視セラレタコトデアリマシテ、私ハ甚ダ遺憾ニ存ズルデアリマス、デ斯様ナ次第デアリマシテ、内閣ヲ更フルコト十一回ニ及シテモ、此臺灣立法ト云フモノニ付テハ適當ナル解決案ト云フモノヲ政府自身ガ提出シナイノデアリマスカラ、私ハ當院自ラ此十分ナル覺悟ヲ責任トヲ以テマシテ、今回ノ議會ニ於テ此案ノ根本ノ解決ヲ圖リタイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、デ根本ノ解決ヲ圖ルノハ、第一ニ此從來ノ繼續案ト云フモノヲ此場合ニ於テ打切ルト云フコトガ最も必要デアラウト私ハ信ズルノデアリマス、是ヨリ其次第ヲ申述ベタイト存ジマス、デ元來從來ノ歴史ニ於キマシテ此臺灣ノ委任立法案ト云フモノハ、毎回期限ヲ附シテ格別ノ進歩ノ蹟ヲ示サズシテ提案サレタルコト云フコトハ、ドウ云フ譯デアラルカト云フ此根源ヲ替ヘテ見マスルト、是ハ臺灣ニ對スル統治ノ大方針ト云フモノガ第一ニ確定シテ居ナイノデアラウト私ハ信ズルノデアアル(拍手起ル)臺灣ニ對スル統治ノ根本ノ主義ガ確定シタナラバ、之ニ對スル立法方針ト云フモノガ隨ツテ確定スルコトハ易キタルモノデアラウト私ハ信ズルノデアリマス、然ルニ歷代ノ政府ノ述ベラル、所ヲ取調ベテ見マスルコト云フト、臺灣ニ對シテ此純然タル所ノ殖民政策ヲ以テ之ヲ統治スルカ、或ハ同化政策ヲ以テ之ヲ統治スルカト云フ根本ノ此主義ト云フモノガ、歴代内閣ニ於テ樹ツテ居ナイノデアラウト思ヒマス、政府ノ説明ニ依リマスルコト云フト、恩威並行ハルト云フヤウナ古言葉ノ中ニ、或ハ殖民政策たり或ハ同化政策タル御説明ヲ常ニ政府ハ爲サルノデアリマスケレドモ、純然タル殖民政策ヲ純然タル同化政策トノ間ニハ、立法上大ナル區域標準ト云フモノガ明カニ付カンケレバナラヌノデアリマス、吾々ハ斯ノ如キ此曖昧模糊タル所ノ此方針ニ同意スルコトハ出來マセヌノデアリマス、ツレデ政府ノ從來ノ御説明ニ依リマスルコト、外國ノ事歴ヲ取調ベテ見マシテモ、即チ英國ノ海峽殖民地ニ於ケルガ如ク、其他各殖民地ノ統治方針ト云フモノヲ調査ヲ致シマシテモ、何レモ特別ノ委任立法ト云フモノヲ執ツテ居ルノデアラルカ、我臺灣ニ付テモ亦此委任立法ノ方法ヲ執ルト云フコトハ、致方ガナイト云フ御説明デアラル、ヤウデアリマシテ、併ナガラ一概ニ外國ノ殖民地ノ例ニ依ルコトハ甚ダ不穩當デアラルト思フノデアリマシテ、均シク殖民地ト申シマシテモ英國ノ海峽殖民地ノ如キハ、本國トノ距離ガ遠カド位アルカト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、又此人種ノ關係カラ論ジマシテモ、文化ノ徑路カラ論ジマシテモ、何レモ純然タル殖民政策ヲ執ラナレバナラヌト云フコトハ明デアリマスガ、我本國ニ臺灣トノ關係ハ大ニ之ト異ナリマシテ、此ニ故ラニ申述ブルデアモナク人種ハ同一デアアル、文化ノ徑路モ殆ド類似致シテ居リ、且ツ本國ト新領土トノ距離ト云フモノガ頗ル近イ、斯様ナ區別ガアリマスルノデアリマシテ、私ハ外國殖民地ニ於テ特別ノ委任立法ヲ執ラレテ居ルカラ、我新領土タル臺灣ニ於テモ之ニ倣フコトガ誤リデナイト云フ說明ニハ同意スルコトガ出來ナイノデアリマス、此等ノ純然タル殖民政策ヲ執ルベキカ、或ハ純然タル同化政策ヲ執ルベキカト云フコトハ甚ダ重大ナ問題デアリマス、又複雜ナ問題デアリマスカラ、片言ヲ以テ此ニ其當否ヲ斷言スルコトハ甚ダ大膽ナル話デアリマス、唯今申シマシタヤウニ人種文化距離其他ノ關係カラ論ジマシテモ、私ハ大體ニ於テ此臺灣ニ對シテハ我本國ハ同化政策ヲ主トシテ之ニ臨ムベキガ當然ノコトデアラウト確言シテ居ルノデアリマス、既ニ同化政策ヲ根本トシテ臺灣ニ臨ム

繼續シタイト云フノデアリマス」斯ウ云フコトノ御演說ニナツテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク歷代ノ政府ニ於キマシテ、國務大臣首メ是等立法ニ重要ノ關係ヲ持ツテ居ラレル所ノ政府委員ハ、何時デモ次期ノ提案マデニハ必ず此特別立法案ノ根本ノ解決ヲ見出シテ適當ノ案ヲ提出スルト云フコトヲ何時デモ誓ハル、ノデアリマス、然ルニ今回現内閣ニ依リ提出セラレマシタル此繼續案ト云フモノヲ調ベテ見マスルト、毫モ變テ居ラヌデアリマス、從來ノ法律ト少シモ進歩ノ蹟ヲ示シテ居ラスノデアリマス、是ハ政府ト致シマシテハ從來ノ此言責ト云フモノヲ無視セラレタコトデアリマシテ、私ハ甚ダ遺憾ニ存ズルデアリマス、デ斯様ナ次第デアリマシテ、内閣ヲ更フルコト十一回ニ及シテモ、此臺灣立法ト云フモノニ付テハ適當ナル解決案ト云フモノヲ政府自身ガ提出シナイノデアリマスカラ、私ハ當院自ラ此十分ナル覺悟ヲ責任トヲ以テマシテ、今回ノ議會ニ於テ此案ノ根本ノ解決ヲ圖リタイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、デ根本ノ解決ヲ圖ルノハ、第一ニ此從來ノ繼續案ト云フモノヲ此場合ニ於テ打切ルト云フコトガ最も必要デアラウト私ハ信ズルノデアリマス、是ヨリ其次第ヲ申述ベタイト存ジマス、デ元來從來ノ歴史ニ於キマシテ此臺灣ノ委任立法案ト云フモノハ、毎回期限ヲ附シテ格別ノ進歩ノ蹟ヲ示サズシテ提案サレタルコト云フコトハ、ドウ云フ譯デアラルカト云フ此根源ヲ替ヘテ見マスルト、是ハ臺灣ニ對スル統治ノ大方針ト云フモノガ第一ニ確定シテ居ナイノデアラウト私ハ信ズルノデアアル(拍手起ル)臺灣ニ對スル統治ノ根本ノ主義ガ確定シタナラバ、之ニ對スル立法方針ト云フモノガ隨ツテ確定スルコトハ易キタルモノデアラウト私ハ信ズルノデアリマス、然ルニ歷代ノ政府ノ述ベラル、所ヲ取調ベテ見マスルコト云フト、臺灣ニ對シテ此純然タル所ノ殖民政策ヲ以テ之ヲ統治スルカ、或ハ同化政策ヲ以テ之ヲ統治スルカト云フ根本ノ此主義ト云フモノガ、歴代内閣ニ於テ樹ツテ居ナイノデアラウト思ヒマス、政府ノ説明ニ依リマスルコト云フト、恩威並行ハルト云フヤウナ古言葉ノ中ニ、或ハ殖民政策たり或ハ同化政策タル御説明ヲ常ニ政府ハ爲サルノデアリマスケレドモ、純然タル殖民政策ヲ純然タル同化政策トノ間ニハ、立法上大ナル區域標準ト云フモノガ明カニ付カンケレバナラヌノデアリマス、吾々ハ斯ノ如キ此曖昧模糊タル所ノ此方針ニ同意スルコトハ出來マセヌノデアリマス、ツレデ政府ノ從來ノ御説明ニ依リマスルコト、外國ノ事歴ヲ取調ベテ見マシテモ、即チ英國ノ海峽殖民地ニ於ケルガ如ク、其他各殖民地ノ統治方針ト云フモノヲ調査ヲ致シマシテモ、何レモ特別ノ委任立法ト云フモノヲ執ツテ居ルノデアラルカ、我臺灣ニ付テモ亦此委任立法ノ方法ヲ執ルト云フコトハ、致方ガナイト云フ御説明デアラル、ヤウデアリマシテ、併ナガラ一概ニ外國ノ殖民地ノ例ニ依ルコトハ甚ダ不穩當デアラルト思フノデアリマシテ、均シク殖民地ト申シマシテモ英國ノ海峽殖民地ノ如キハ、本國トノ距離ガ遠カド位アルカト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、又此人種ノ關係カラ論ジマシテモ、文化ノ徑路カラ論ジマシテモ、何レモ純然タル殖民政策ヲ執ラナレバナラヌト云フコトハ明デアリマスガ、我本國ニ臺灣トノ關係ハ大ニ之ト異ナリマシテ、此ニ故ラニ申述ブルデアモナク人種ハ同一デアアル、文化ノ徑路モ殆ド類似致シテ居リ、且ツ本國ト新領土トノ距離ト云フモノガ頗ル近イ、斯様ナ區別ガアリマスルノデアリマシテ、私ハ外國殖民地ニ於テ特別ノ委任立法ヲ執ラレテ居ルカラ、我新領土タル臺灣ニ於テモ之ニ倣フコトガ誤リデナイト云フ說明ニハ同意スルコトガ出來ナイノデアリマス、此等ノ純然タル殖民政策ヲ執ルベキカ、或ハ純然タル同化政策ヲ執ルベキカト云フコトハ甚ダ重大ナ問題デアリマス、又複雜ナ問題デアリマスカラ、片言ヲ以テ此ニ其當否ヲ斷言スルコトハ甚ダ大膽ナル話デアリマス、唯今申シマシタヤウニ人種文化距離其他ノ關係カラ論ジマシテモ、私ハ大體ニ於テ此臺灣ニ對シテハ我本國ハ同化政策ヲ主トシテ之ニ臨ムベキガ當然ノコトデアラウト確言シテ居ルノデアリマス、既ニ同化政策ヲ根本トシテ臺灣ニ臨ム

繼續シタイト云フノデアリマス」斯ウ云フコトノ御演說ニナツテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク歷代ノ政府ニ於キマシテ、國務大臣首メ是等立法ニ重要ノ關係ヲ持ツテ居ラレル所ノ政府委員ハ、何時デモ次期ノ提案マデニハ必ず此特別立法案ノ根本ノ解決ヲ見出シテ適當ノ案ヲ提出スルト云フコトヲ何時デモ誓ハル、ノデアリマス、然ルニ今回現内閣ニ依リ提出セラレマシタル此繼續案ト云フモノヲ調ベテ見マスルト、毫モ變テ居ラヌデアリマス、從來ノ法律ト少シモ進歩ノ蹟ヲ示シテ居ラスノデアリマス、是ハ政府ト致シマシテハ從來ノ此言責ト云フモノヲ無視セラレタコトデアリマシテ、私ハ甚ダ遺憾ニ存ズルデアリマス、デ斯様ナ次第デアリマシテ、内閣ヲ更フルコト十一回ニ及シテモ、此臺灣立法ト云フモノニ付テハ適當ナル解決案ト云フモノヲ政府自身ガ提出シナイノデアリマスカラ、私ハ當院自ラ此十分ナル覺悟ヲ責任トヲ以テマシテ、今回ノ議會ニ於テ此案ノ根本ノ解決ヲ圖リタイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、デ根本ノ解決ヲ圖ルノハ、第一ニ此從來ノ繼續案ト云フモノヲ此場合ニ於テ打切ルト云フコトガ最も必要デアラウト私ハ信ズルノデアリマス、是ヨリ其次第ヲ申述ベタイト存ジマス、デ元來從來ノ歴史ニ於キマシテ此臺灣ノ委任立法案ト云フモノハ、毎回期限ヲ附シテ格別ノ進歩ノ蹟ヲ示サズシテ提案サレタルコト云フコトハ、ドウ云フ譯デアラルカト云フ此根源ヲ替ヘテ見マスルト、是ハ臺灣ニ對スル統治ノ大方針ト云フモノガ第一ニ確定シテ居ナイノデアラウト私ハ信ズルノデアアル(拍手起ル)臺灣ニ對スル統治ノ根本ノ主義ガ確定シタナラバ、之ニ對スル立法方針ト云フモノガ隨ツテ確定スルコトハ易キタルモノデアラウト私ハ信ズルノデアリマス、然ルニ歷代ノ政府ノ述ベラル、所ヲ取調ベテ見マスルコト云フト、臺灣ニ對シテ此純然タル所ノ殖民政策ヲ以テ之ヲ統治スルカ、或ハ同化政策ヲ以テ之ヲ統治スルカト云フ根本ノ此主義ト云フモノガ、歴代内閣ニ於テ樹ツテ居ナイノデアラウト思ヒマス、政府ノ説明ニ依リマスルコト云フト、恩威並行ハルト云フヤウナ古言葉ノ中ニ、或ハ殖民政策たり或ハ同化政策タル御説明ヲ常ニ政府ハ爲サルノデアリマスケレドモ、純然タル殖民政策ヲ純然タル同化政策トノ間ニハ、立法上大ナル區域標準ト云フモノガ明カニ付カンケレバナラヌノデアリマス、吾々ハ斯ノ如キ此曖昧模糊タル所ノ此方針ニ同意スルコトハ出來マセヌノデアリマス、ツレデ政府ノ從來ノ御説明ニ依リマスルコト、外國ノ事歴ヲ取調ベテ見マシテモ、即チ英國ノ海峽殖民地ニ於ケルガ如ク、其他各殖民地ノ統治方針ト云フモノヲ調査ヲ致シマシテモ、何レモ特別ノ委任立法ト云フモノヲ執ツテ居ルノデアラルカ、我臺灣ニ付テモ亦此委任立法ノ方法ヲ執ルト云フコトハ、致方ガナイト云フ御説明デアラル、ヤウデアリマシテ、併ナガラ一概ニ外國ノ殖民地ノ例ニ依ルコトハ甚ダ不穩當デアラルト思フノデアリマシテ、均シク殖民地ト申シマシテモ英國ノ海峽殖民地ノ如キハ、本國トノ距離ガ遠カド位アルカト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、又此人種ノ關係カラ論ジマシテモ、文化ノ徑路カラ論ジマシテモ、何レモ純然タル殖民政策ヲ執ラナレバナラヌト云フコトハ明デアリマスガ、我本國ニ臺灣トノ關係ハ大ニ之ト異ナリマシテ、此ニ故ラニ申述ブルデアモナク人種ハ同一デアアル、文化ノ徑路モ殆ド類似致シテ居リ、且ツ本國ト新領土トノ距離ト云フモノガ頗ル近イ、斯様ナ區別ガアリマスルノデアリマシテ、私ハ外國殖民地ニ於テ特別ノ委任立法ヲ執ラレテ居ルカラ、我新領土タル臺灣ニ於テモ之ニ倣フコトガ誤リデナイト云フ說明ニハ同意スルコトガ出來ナイノデアリマス、此等ノ純然タル殖民政策ヲ執ルベキカ、或ハ純然タル同化政策ヲ執ルベキカト云フコトハ甚ダ重大ナ問題デアリマス、又複雜ナ問題デアリマスカラ、片言ヲ以テ此ニ其當否ヲ斷言スルコトハ甚ダ大膽ナル話デアリマス、唯今申シマシタヤウニ人種文化距離其他ノ關係カラ論ジマシテモ、私ハ大體ニ於テ此臺灣ニ對シテハ我本國ハ同化政策ヲ主トシテ之ニ臨ムベキガ當然ノコトデアラウト確言シテ居ルノデアリマス、既ニ同化政策ヲ根本トシテ臺灣ニ臨ム

繼續シタイト云フノデアリマス」斯ウ云フコトノ御演說ニナツテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク歷代ノ政府ニ於キマシテ、國務大臣首メ是等立法ニ重要ノ關係ヲ持ツテ居ラレル所ノ政府委員ハ、何時デモ次期ノ提案マデニハ必ず此特別立法案ノ根本ノ解決ヲ見出シテ適當ノ案ヲ提出スルト云フコトヲ何時デモ誓ハル、ノデアリマス、然ルニ今回現内閣ニ依リ提出セラレマシタル此繼續案ト云フモノヲ調ベテ見マスルト、毫モ變テ居ラヌデアリマス、從來ノ法律ト少シモ進歩ノ蹟ヲ示シテ居ラスノデアリマス、是ハ政府ト致シマシテハ從來ノ此言責ト云フモノヲ無視セラレタコトデアリマシテ、私ハ甚ダ遺憾ニ存ズルデアリマス、デ斯様ナ次第デアリマシテ、内閣ヲ更フルコト十一回ニ及シテモ、此臺灣立法ト云フモノニ付テハ適當ナル解決案ト云フモノヲ政府自身ガ提出シナイノデアリマスカラ、私ハ當院自ラ此十分ナル覺悟ヲ責任トヲ以テマシテ、今回ノ議會ニ於テ此案ノ根本ノ解決ヲ圖リタイト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、デ根本ノ解決ヲ圖ルノハ、第一ニ此從來ノ繼續案ト云フモノヲ此場合ニ於テ打切ルト云フコトガ最も必要デアラウト私ハ信ズルノデアリマス、是ヨリ其次第ヲ申述ベタイト存ジマス、デ元來從來ノ歴史ニ於キマシテ此臺灣ノ委任立法案ト云フモノハ、毎回期限ヲ附シテ格別ノ進歩ノ蹟ヲ示サズシテ提案サレタルコト云フコトハ、ドウ云フ譯デアラルカト云フ此根源ヲ替ヘテ見マスルト、是ハ臺灣ニ對スル統治ノ大方針ト云フモノガ第一ニ確定シテ居ナイノデアラウト私ハ信ズルノデアアル(拍手起ル)臺灣ニ對スル統治ノ根本ノ主義ガ確定シタナラバ、之ニ對スル立法方針ト云フモノガ隨ツテ確定スルコトハ易キタルモノデアラウト私ハ信ズルノデアリマス、然ルニ歷代ノ政府ノ述ベラル、所ヲ取調ベテ見マスルコト云フト、臺灣ニ對シテ此純然タル所ノ殖民政策ヲ以テ之ヲ統治スルカ、或ハ同化政策ヲ以テ之ヲ統治スルカト云フ根本ノ此主義ト云フモノガ、歴代内閣ニ於テ樹ツテ居ナイノデアラウト思ヒマス、政府ノ説明ニ依リマスルコト云フト、恩威並行ハルト云フヤウナ古言葉ノ中ニ、或ハ殖民政策たり或ハ同化政策タル御説明ヲ常ニ政府ハ爲サルノデアリマスケレドモ、純然タル殖民政策ヲ純然タル同化政策トノ間ニハ、立法上大ナル區域標準ト云フモノガ明カニ付カンケレバナラヌノデアリマス、吾々ハ斯ノ如キ此曖昧模糊タル所ノ此方針ニ同意スルコトハ出來マセヌノデアリマス、ツレデ政府ノ從來ノ御説明ニ依リマスルコト、外國ノ事歴ヲ取調ベテ見マシテモ、即チ英國ノ海峽殖民地ニ於ケルガ如ク、其他各殖民地ノ統治方針ト云フモノヲ調査ヲ致シマシテモ、何レモ特別ノ委任立法ト云フモノヲ執ツテ居ルノデアラルカ、我臺灣ニ付テモ亦此委任立法ノ方法ヲ執ルト云フコトハ、致方ガナイト云フ御説明デアラル、ヤウデアリマシテ、併ナガラ一概ニ外國ノ殖民地ノ例ニ依ルコトハ甚ダ不穩當デアラルト思フノデアリマシテ、均シク殖民地ト申シマシテモ英國ノ海峽殖民地ノ如キハ、本國トノ距離ガ遠カド位アルカト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、又此人種ノ關係カラ論ジマシテモ、文化ノ徑路カラ論ジマシテモ、何レモ純然タル殖民政策ヲ執ラナレバナラヌト云フコトハ明デアリマスガ、我本國ニ臺灣トノ關係ハ大ニ之ト異ナリマシテ、此ニ故ラニ申述ブルデアモナク人種ハ同一デアアル、文化ノ徑路モ殆ド類似致シテ居リ、且ツ本國ト新領土トノ距離ト云フモノガ頗ル近イ、斯様ナ區別ガアリマスルノデアリマシテ、私ハ外國殖民地ニ於テ特別ノ委任立法ヲ執ラレテ居ルカラ、我新領土タル臺灣ニ於テモ之ニ倣フコトガ誤リデナイト云フ說明ニハ同意スルコトガ出來ナイノデアリマス、此等ノ純然タル殖民政策ヲ執ルベキカ、或ハ純然タル同化政策ヲ執ルベキカト云フコトハ甚ダ重大ナ問題デアリマス、又複雜ナ問題デアリマスカラ、片言ヲ以テ此ニ其當否ヲ斷言スルコトハ甚ダ大膽ナル話デアリマス、唯今申シマシタヤウニ人種文化距離其他ノ關係カラ論ジマシテモ、私ハ大體ニ於テ此臺灣ニ對シテハ我本國ハ同化政策ヲ主トシテ之ニ臨ムベキガ當然ノコトデアラウト確言シテ居ルノデアリマス、既ニ同化政策ヲ根本トシテ臺灣ニ臨ム

ト云フコトが相當アルト云フコトデアリマシタナラバ、此立法上ノ問題モ亦自然ニ之ヲ基礎ト致シテ解決スルコトが容易デアラウト信ズルデアリマス、從來臺灣ニ布カレマシタルトコロノ法令ノ種類ト云フモノヲ、此ニ於テ調査スル必要ガアラウト信ズルデアリマスガ、從來ノ事歴ニ依リマスルト云フト、臺灣ニ對シテ行ハレマシタルトコロノ法律ノ件數ト云フモノハ、特別ノ律令トシテ出サレタルモノガ二十九年ヨリ今日マデ二百八十アルデアリマス、併ナガラ今日律令トシテ現存サレテ居ルモノハ、モウ二分ノ一強ヲ減ジテ百七十件内外シカ今日ハ行ハレテ居ナイコトニナツテ居ルデアリマス、之ニ反シテ本國同様ノ法律ト云フモノガ、臺灣ニ對シテ位行ハレテ居ルカト云フコトヲ調査致シマスルト、直接施行ノ法律勅令施行ノ法律ヲ合セマシテ二百二十數件ト云フモノガ、内地同様ニ臺灣ニ行ハレテ居ルデアリマス、サウシテ特別ノ律令ト云フモノガ百七十内外デアリマス、實ニ百七十ノ律令ガ現存サレテ居ルモノナラズ、百七十ノ律令ト云フモノモ毎年々々其必要ヲ減ジテ廢止サル、モノガ律令ノ上ニハ多イデアリマス、サウシテ内地同様ノ法律ニ付テハ廢止サルモノガ少ナイデアリマス、此律令ノ數内地同様ノ法律ノ數ト、此數ノ對照カラ論ジマシテモ、亦一面特別ナル臺灣律令ト云フモノガ年々廢止サレタルモノガ多イト云フ傾向カラ論ジマシテモ、私ハ臺灣ニ對シテハ特別ナル立法機關ヲ置クトコロノ必要ハナカラウト思フデアリマス、是ガ即チ同化ノ大方針ヲ以テ、臺灣統治ノ基礎ト致シテ敢テ差支ナイコトヲ見ルベキ法令上ノ著眼デアラウト私ハ思料致スデアリマス、果シテ此根本ノ大方針ト云フコトガ同化主義ニ宜イト云フコトデアリマスレバ、臺灣ニ特別立法ノ機關ヲ置クト云フコトヲ、即チ臺灣總督ニ委任立法ニ付テ重大ナル權力ヲ有タスト云フコトハ、根柢ニ於テ必要ナリト云フコトヲ此ニ斷言スルコトガ出來ヤウト思フデアリマス（拍手起ル）ソレカラ第二ニ申述ベタイト思ヒマス、臺灣ニ於テ委任立法ヲ相變ラズ繼續シナケレバナラヌト云フ積極論者ノ議論ノ根柢ト申シマスモノハ、斯ウ云フコトガ伴ウテ居ルヤデアリマス、武官總督ニ依テ此武斷的統治ヲスル必要ガアルデアラカラ、相變ラズ繼續イテ此委任立法ト云フモノヲ繼續スル必要ガアルト云フコトヲ、反對論者ハ常ニ御述ベニナルデアリマス、併ナガラ是ハ時代ノ進歩ト云フコトヲ時期ノ進歩ト云フコトニ著眼セラレナイ御議論デアラウト思フデアリマス、成程明治二十九年ニ於テ臺灣ヲ領有致シマシタ當時ニ於キマシテハ、或ハ臨戰地帶ノ如キ、或ハ軍政ヲ必要トスル時代アルカノ如クニ、武官總督ニ特別ナル立法權ヲ持タスト云フコトハ、事實ノ上ニ於テ必要ガアルデアラウト思フデアリマス、然ルニ其後年ヲ閱シテ居ルコト既ニ二十年餘デゴザイマスカラ、尙領有當時ノ如ク即チ軍政時代ノ如クニ、私ハ此武官總督ニ立法上ノ專權ト云フモノヲ持タシメル必要ハ實際ニ於テ無カラウカト思フデアリマス、此點ニ付キマシテハ名ヲ申上ゲルコトヲ快シシメヌカラ申上ゲマセヌガ、其總督時代ニ於キマシテ二千萬圓内外ノ大金ヲ使ッテ、積極的ニ番人ノ討伐ト云フモノヲ實行セラレマシタケレドモ、其討伐ノ目的ト云フモノハ實際ニ於テ遂ゲラレテ居ラヌデアリマス（拍手起ル）果シテ二十年經タ今日ニ於キマシテモ、此武官總督ノ下ニ委任立法ト云フモノガ必要デアッテ、臺灣ノ統治ト云フモノガ一カラ十マデ此總督ニ專權ヲ持タスコトガ、最も適切ノモノデアルト云フコトデアリマシタナラバ、武官總督ニハ最も關係ノ深イトコロノ番人ノ討伐ナドト云フモノハ、今日ニ於テ十分ノ效果ヲ舉ゲテ居ラナケレバナラヌデアル、是スラ諸君御承知ノ如ク十分ノ奏效ト云フコトニハ參ッテ居ラヌデアリマス、私ハ武官總督ノ臺灣統治ニ於ケルトコロノ實際ノ效果ト云フモノハ、世人ノ想像スルガ如ク、又政府ノ説明セラル、ガ如クニ、左様十分ノ效力ヲ有ッテ居ルモノデハナイト云フ斷言ヲスル勇氣ヲ有ッテ居ルデアリマス（拍手起ル）ソレカラ臺灣ニ於キマシテ特別ナル立法ヲ便宜トスルトコロノ論者ノ中ニハ、院內ニ於テ無論左様ナルコトハ萬無イデア

リマスガ、元來此政府ガ毎回ノ提案ニハ臺灣ニハ特別立法ト云フモノガ必要デアルト云フデアリマスルカラシテ、政府以外ニ於テモ臺灣統治ニ關スルトコロノ此重要ナル立法ニ付テ、格段ノ意見ヲ持出ス者ガ無ケレバナラヌデアリマス、世間ニ——然ルニ此政府以外ニ於テ查シテ臺灣ノ委任立法ニ關スルトコロノ大計ト云フモノヲ、詳細ニ述ベ強ク案ズルコトノナイト云フノハドウ云フ譯デアルカト申シマスルト、私ガ一面觀察ヲシマス所ニ依レバ、元來新領土ニハ利權ノ多イコトハ申スマデモナイコトデアリマス、然ルニ此新領土ニ於テ利權ヲ恣ニスルコトコロノ人ミト云フモノハ、其領土ニ於テ内地同様ノ嚴格ナル法制ノ取締ト云フモノガアリマシテモ、何レモ不便デアルト云フコトハ分タ話デアル、故ニ此新領土タル臺灣ニ於キマシテ、有ユル實業上ノ利便殖產興業上ノ利便ヲ一部少數ノ人ガ恣ニセムト欲スルニハ、寧ロ立法ノ常道ニ反シマシテ、變則ナルトコロノ曖昧ナルトコロノ不徹底ナルトコロノ此委任立法ト云フモノガ行ハル、ト云フコトヲ、便利トスル一部ノ國民ガアルト云フコトヲ斷言シテ宜イト思フ（拍手起ル）故ニ政府ノ立場カラ見マスルト、武官總督ニ依テ專斷的統治ヲ進メルガ便利デアルト云フ一ノ政治上ノ誤解、又民間ノ一部ヨリ見レバ、新領土ニ於テ利權ヲ獲得シ利權ヲ恣ニスルニ付テハ、嚴格ナル正則的ノ立法デナイ方ガ便利デアルト云フ一ツ政治上ノ弊害、此等ノモノガ相俟チマシテ二十年間ニ、疾ニ解決セラレテ居ナケレバナラヌ此臺灣ノ委任立法ト云フモノガ、今日マデ解決サレナイト云フコトハ甚ダ遺憾ナコトデアルト私ハ信ズルデアル、私ガ解決セラルベキ臺灣委任立法ノ解決セラレナイ弊源ニ付テ考ヘルトコロハ、大體箇様ナルモノデアリマス、斯ノ如ク根柢ニ於キマシテハ、極端ニ同化政策ヲ採ルト云フコトハ然ルベキコトデアラウト信ズル理由ト、第二ニハ領有以來二十年ヲ經過シタ臺灣ニ、引續キ此重大ナル立法權ヲ委任スルコト云フコトハ危險デモアリ弊害ガ多イト云フ理由ト、第三ノ理由トシテハ新領土ノ殖產工業ヲ開發シ進歩セシムルニ付テハ、ヤハリ内地同様程度マデハ正確ナル法令ヲ以テ之ヲ統治スル必要ガアラウト信ズルデアリマスカラ、此點カラ論斷致シマシテモ此繼續ナルモノハ、今回斷クトモ之ヲ打切ルベキ必要ガアラウト思フデアリマス、斯ク論ジ來リマス、反對論ノ側ニ立タル、所ノ諸君ハイツモ斯ウ御議論ヲ吐カル、ノデアル、人情風俗ヲ異ニスル臺灣ニ對シテ、特別ノ立法方法ヲ採ルコトハ固ヨリ至當ノコトデアッテ、ソレヲ打切タナラバ便宜ナル立法ヲ爲スコトヲ廢スルノミナラズ、統治ヲ實行スルコトニ差支ヘルト云フコトヲ常ニ政府ノ側デモ反對論者ノ側デモ述ベラレルデアリマスガ、是ハ大ニ誤ッテ居ルト思フデアリマス、元來臺灣ノ委任立法ニ依テ近來立法セラレ、法律ハ左様ニ多イモノデアナイデアル、諸君モ御承知デアラレヤウト信ズルデアリマスガ、領有ノ始ニ於テ機宜ノ處分ヲ執ルガ爲ニ、特別ニ律令權ヲ總督ニ委任シタルデアリマスガ、近年ハ左様ニ澤山出ス必要ガナイデアリマス、明治四十四年ニ於テハ臺灣ニ「ベスト」豫防組合規則外三件シカ出テ居リマセヌ、明治四十五年モヤハリ三件デアリマス、ソレカラ大正元年ト改テカラモ二件デアリマス、毎年少ナキモ三件、多キモ十件ヲ超エル年ハ近年ハナイデアリマス、私ハ斯様ナル少數ノ律令ト云フモノヲ立法施行スルタメニ、憲法ノ常道ニ反スル變則ナル委任立法ヲ活カシテ置クト云フ話ハ、道理ノ上ニ於テモ實際ノ必要ノ上ニ於テモナイト信ズルデアリマス、斯ク述ベマスルト數ノ問題ハ別ト致シマシテ、本國ト隔ツタル臺灣ニ於テ、緊急ニ此律令ヲ必要トスルヤウナ場合ガ起ルデアル、此時ニ帝國議會ノ議決ニ俟ッテ居ッテハ、便宜ノ處分ヲ施スコトガ出來ナイト云フノガ反對論ノ一根據デアリマスケレドモ、是亦實際ノ事情ニ適合シテ居ラヌト信ズルデアル、ナセカナレバ大正元年度ニ於テ、唯今申シマシタ通り三ツノ律令ト云フモノガ出テ居ル、何ガ出テ居ルカト調査致シテ見マスルト、第一號ハ臺灣ノ漁業規則デアル、第二號ハ臺灣ノ度量衡規則デアル、第三號ハ臺灣ノ畜牛紐

合規則アル、諸君公平ニ一ツ御考慮仰キタイト思フノデアル、臺灣ニ於ケルコロノ漁業規則ヲ臺灣總督府ニ於テ取急イテ立法ヲシナケレバ、之ヲ帝國議會ノ立法ニ委ネテ居ルハ機宜ノ便ヲ失フト云フ性質ノモノデアリマセウカドウデアリマセウ、漁業事件ノ發達取締方法ノ如キハ國内外ヲ問ハズ、何レモ數百年數千年ノ慣習ニ基イテ立法セラル、コトハ、本案ノ性質上當然ノコトデアリマス、臺灣ニ於ケル漁業規則ヲ取定メルニ、帝國議會ノ議決ニ俟テ居ルハ機宜ノ便ヲ失フト云フコトハ、到底本案ノ性質カラ見テモ申スコトハ出來ナイデアリマス、又臺灣ニ於ケル度量衡ノ規則モ同様デアリマス、左様ナモノヲ制定スル場合ニ於テ、律令イテ臺灣ニ於テ取急イテ立法ヲシナケレバ機宜ノ便ヲ失フト云フ理由ハ、案ノ性質カラ見テ到底論ズルコトハ出來マセウ、況シテ第三ノ畜牛組合規則制定ノ如キ、即チ牛ヲ飼フニ付テノ組合規則ガ、果シテ緊急ノ性質ヲ帶シテ居ルカ、ドウデアリマス、斯様ナモノハ半年一年ヲ隔テ、立法議會ノ審議協賛ヲ待テ敢テ遲シナイ性質ノモノデアラウト本員ハ思フノデアル、斯ノ如ク臺灣統治ノ任ニ當ラル、人々ハ、朝ニ在ルト野ニ在ルトヲ問ハズ、機宜ノ便ヲ失フ憂ガアルカラ、便宜臨機ノ立法ヲスルメニ委任立法ガ必要デアルト言ハル、ガ、其口實ノ下ニ作ラル、本案ノ性質ヲ調ベテ見マスルト云フト、唯今引用致シタヤウナモノデ、牛ノ組合トカ、漁業ノ組合トカ、度量衡ノ規則トカ云フヤウナモノデアッテ、之ニ半年一年經過シテモ、毎年開カル、帝國議會ノ審議協賛ヲ待テ何ノ機宜ヲ失フ憂ガアリマセウ、斯ノ如キ内容ノモノデアリマス、私ハ臺灣ニ於テ今日年々變則ニ制定セラル、トコロノ律令ノ數、第二ニハ律令ノ種類、此等ノモノカラ判斷致シマシテモ、斯ノ如キ變則ノ立法ヲ採ルノ必要ノナイコトヲ斷言スルノ勇氣ヲ持テ居リマス、尙此場合ニ於テ一言致シタイト思ヒマス、此案ノ審議ニ付テハ從來多クノ人々ノ上ニ大ナル誤解ガ横ハッテ居ルト云フコトヲ一言シテ見タイト思ヒマス、政府當局竝ニ此案ノ維持者ガ臺灣ハ内地ノ風俗人情ヲ異ニスルガ故ニ、立法モ亦特別ノ立法ニ出ナケレバナラヌト云フ御議論ヲ爲サルノデアル、此議論ノ内容ヲ御覽シテ見マスルト云フト、内地ノ法律ヲ風俗人情ノ異ニテ居ル臺灣ニ布ケナイデアハナカト云フ御議論ヲ爲サル方ガ多クイデアル、是ハ甚ダ誤ラレ御觀察ト言ハナケレバナラヌ、吾々ハ此三十一號ノ委任立法ニ關スル法令ヲ廢シテ内地ノ法令ヲ、直ニ臺灣ニ布カウトハ決シテ言フノデハナシ、臺灣ガ特別ノ風俗人情デアレバ臺灣ニ應ジタルコロノ風俗人情ヲ特ニ斟酌シテ、帝國議會ニ於テ臺灣施行ノ法令ヲ特別ニ立法シタル良イト云フ議論ヲ持テ居ルノデアル（拍手起ル）内地ノ法令ノ内容ノ總テヲ舉ゲテ臺灣ニ行フト云フ言ウテ居ルノデハナシ、斯様ナ次第デアリマス、唯立法ノ權ヲ總督ノ委任權ニ俟ツカ、若ハ憲法ノ常道ニ還ッテ帝國議會ノ立法權ニ委ネルカト云フコトガ、當面ノ問題デアリマス、然ルニ每期議會ニ於テ此議論ヲ爲サルハ、風俗人情ノ異ニテ居ル臺灣ニ内地ノ法律ニ對シテ内地ノ法律ガ直接ニ施行セラレテ居ルモノハ澤山アリマス、今日臺灣ニ内地ノ法律ニシテ直接ニ施行セラレテ居ルモノハ四十四件アリマス、更ニ勅令ニ依テ内地ノ法律全部若クハ一部ガ施行サレテ居ルモノガ七十六件アリマス、斯ノ如ク今日ト雖モ直接施行又ハ勅令ノ結果ニ依リマシテ、全部一部ガ臺灣ニ行ハレテ居ルノデアル、今後ト雖モ内地ノ法律ニシテ臺灣ニ適應スルモノハ此方法ヲ實行スレバ宜シ、ソレカラ第三ニ微細ナル所ノ行政命令ニ制裁ヲ附シタル所ノ委任立法ハ、諸君モ御承知ノ通り臺灣總督府ノ官制ニ依リマシテ、一年以下ノ禁錮二百圓以下ノ罰金ノ制裁ノ付イテ居リマス所ノ行政命令ノ立法權ハ、今日ト雖

モ此官制ノ上ニ當然總督ニ許サレテ居ルノデアリマス、微細ナル取締方法ノ如キハ、官制ノ結果トシテ今日ト雖モ實行スルコトガ出來ルト思料致スノデアル、第四ニハ積極論者ノ常ニ御維持ニナル所ノ臺灣ニ臨時重大ナル緊急事件ノ發生シタトキニ困ラナイカト云フ議論モアリマス、是ハ今更事新シク論ズルマデモナク、憲法ニ依ル緊急勅令ニ依テ其必要ヲ充スコトガ出來ルノデアリマス、第一ニハ此ノ如ク普通ノ法令ニ就テハ内地ノ法律ヲ直接施行スルコト、第二ニ其一部若クハ全部ヲ勅令ノ結果ニ依テ施行スル、第三ニハ臺灣總督府官制ニ依ル所ノ行政委任立法權ニ依テ通常ノ行政命令ノ必要ヲ充シ得ルコト、第四ハ重大ナル緊急事件ノ發生ニ付テハ憲法上ノ緊急勅令ニ依テ其必要ヲ充シ得ルコト、此四ツノ方法ニ依テ臺灣統治ニ於ケル所ノ立法上ノ事ハ、此案ヲ繼續シナクテモ決シテ差支ナイデアル、然ルニ政府ノ常ニ此案ヲ維持セントスルヤ、此特別法令ヲ繼續シナケレバ臺灣ニ於ケル機關方法ガナキカ、如ク極端ナル維持論ヲ御吐キニナルト云フコトハ、本員ノ頗ル遺憾トスル所デアリマス、希クハ諸君ニ於ケレマシテモ此邊ノ内容關係ヲ特ニ御審察仰キタイト云フ希望ヲ持テ居リマス、尙一言致シタイハ、元來此臺灣ガ我國ノ領土ニ歸シテカラ既ニ二十年ノ星霜ヲ閱シタノデアリマシテ、他ノ殖民地ノ關係カラ論ジタナラバ、内地人ガ臺灣ニ移住スルコトガ餘程數ガ多クナケレバナラヌデアリマス、然ルニ私ノ調查シタ所ニ依ルト、臺灣ニ對スル内地人ノ移民ノ數ハ意外ニ少ナイデアリマス、臺灣本島人ガ二百萬、蠻人ガ十數萬、内地ヨリ移住シタル者ガ十二萬餘ト本員ハ記憶致シテ居リマス、多少ノ相違ハアルカモ存ジマセウガ大體ハ此通りデアラウト存ジマス、他ノ殖民地ノ側カラ見マスルト二十年間ニ臺灣ニ本國人ガ移住シタル者ガ十二萬ト云フコトハ、非常ニ少イモノ見ナケレバナラヌ、諸君、御承知ノ如クニ臺灣ニハ今尙多分ニ移民ガ參ラナケレバナラヌデアリマス、然產出物カラ論ジマシテモ、臺灣ニハ今尙多分ニ移民ガ參ラナケレバナラヌデアリマス、然ルニ二十二年シカ參ッテ居リマセウ、是ハ何種ノ原因モアラウト思ヒマセウ、私共ノ愚案ニ依リマス、トハハヤハ此法律制定ノ關係ガ、一ノ原因ヲ爲シテ居ルノデアラウト思フノデアル、ソレハ何デアルカト申シマス、臺灣總督ト云フモノガ文武ノ兩權ヲ兼メシテ、サウシテ法令制定ノ上ニ偉大ナル權力ヲ持ッテ居リマス、此結果トシテ新領土統治ニ付テハ多少便宜ナコトモアリマセウケレドモ、亦弊害ノ大ナルモノガアルト見ナケレバナラヌデアリマス、從ッテ此總テノ行政上ニ於テモ壓迫壓制ヲ云フモノガ從來屢々行ハレテ、臺灣ニ於テ紛議ヲ醸シタコトモ耳ニスルノデ、之ニ對シテ我内地ニ行ハレテ居ル所ノ訴願若クハ行政訴訟ハ毫モ許サレヌコトニ相成テ居ルノデアリマス、ソレカラ臺灣ノ上ニ同化政策ヲ執ルト云フ所ノ根本ハ、教育モ最モ必要デアリマセウケレドモ、我本邦人ト殖民地ニ對スル同化政策中ニ此結婚問題ガ重大ナル關係ヲ持ッコトハ諸君御諒承ノ事デアル、然ルニ臺灣デハマダ内地人トノ關係ニ於テ、完全ナル戶籍法ノ制定ガ行ハレテ居リマセウ、故ニ此兩者ノ間ノ結婚問題ハマダ法令上ノ十分ナル關係ヲ持ッテ居ルコトニナッテ居ル、此結果トシテ同化政策ノ根本ト相成ルベキ結婚問題ト云フモノ、基礎ガ固マラナイコトニナッテ居ル、政府ノ當局者ハ案ヲ提出スル毎ニ漸次同化政策ヲ執ッテ居ル、種々ナル政策ヲ執ッテ居リマス、ト云フコトヲ御說明ニナリマス、總テノ殖民地位ニ於テ結婚問題ニ關スル法令ノ完備シナイ國ハ、餘リ例ガ無イヤウニ信ズルノデアリマス、然ルニ二十年間未ダ臺灣ニ於ケル戶籍法ノ制定ガ十分デアリマス、是等ハ即チ何ノ爲メデアルカト云ハ、内地ノ法令ヲ直接ニ施行スルカ、若クハ必要ノ限度ニ於テ勅令ヲ施行スルナラバ、疾クニ此戶籍法ハ行ハレテ居ナケレバナラヌ、又内地ノ戶籍法ヲ直接ニ行フコトハ人情風俗ヲ斟酌シナケレバナラヌト云フナラバ、臺灣ニ特別ナル風俗

人情ヲ斟酌シテ、帝國議會ニ於テ特ニ立法シテ之ヲ實行シタラバ差支ナイノアル、然ルニ總督府ニ於テ調査中ナル協議中ナルト云フノテ、今日ニ至ルマデ此同化政策ノ根本ト相成ルベキ所ノ戸籍法ヲ行ハレテ居ナイト云フコトハ、所謂移民政策ノ振ハサル所以ノ一原因ヲ成シテ居ルモノデアラウカト本員ハ確信スルノデアリマス、此ノ如ク此臺灣ニ於ケル所ノ委任立法權ト申スモノハ、單ニ憲法上ノ立法問題ニ止マルモノデアリマセズ、之ヲ推廣メテ臺灣ニ對スル所ノ同化政策ノ根本ヲ壞ス程ノ不都合ナル弊害ヲ持ツテ居ルモノデアルト信ズルノデアリマス、新領土ノ發展ヲ圖ルコト云フコト、新領土ノ實質的擴張ヲ圖ルコト云フ大目的ノ爲メニハ、根本問題トシテ此總督ニ重大ナル法律上ノ權力ヲ委スル所ノ變則的立法ヲ廢止スルコト云フコトガ、臺灣統治ノ根本政策トシテ寧ロ必要アルト信ズルノデアリ、然ルニ積極論ヲ維持ニナル諸君ハ、却テ是ガ臺灣統治ヲ爲メニ必要ダト云フ御議論ヲ御吐キニナルト云フコトハ、本員ノ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、吾々ハ本案ノ委員トシテ委員會ニ於テモ種々諸君ノ御議論モ承ツタノデアリマスガ、政府與黨ニ屬セラル、所ノ委員諸君ハ、本案ニ付テ一ノ希望條件ヲ御附シニナデ、本案ノ全部ヲ御贊成ニナツタコトハ委員長報告ノ通りデアリマス、其希望條件ハ私共甚ダ解シ得ナイノデアリマス、政府與黨ノ諸君カラ云ヘバ、彼ノ條件ハ臺灣ノ委任立法ニ於テ一進歩ヲ示シタモノデアルト云フ御考カモ存ジマセヌガ、私ハ反對ニ取ツテ居リマス、彼ノ希望條件ハ私ハ臺灣立法ノ上ニ退歩ヲ希望セラレタモノト信ズルノデアリマス、何故デアルカラ一言致シテ演説ヲ終ラウト思ヒマス、委員長ノ先刻報告ニ相成ツタ所ニ依レバ與黨ノ諸君ハ其臺灣總督ノ立法ヲ爲スニ付テハ、官民合同ノ組織ニ依ル所ノ諮問機關ヲ設ケテ、サウシテ此委任立法ニ參與セシメル、サウ云フコトヲ追テ勅令ヲ以テ規定トスルコト云フコトヲ政府ニ希望シテ、サウシテ政府ノ之ヲ容レテ此案ヲ通過スルコト云フ御議論デアリマスガ、是ハ決シテ立法ノ進歩デアリマセズ、何故カナレバ諸君ガ今日御希望ニナル所ノ此諮問機關ト云フモノハ、明治三十九年ノ提案當時ニ於テ法令ノ中ニ含マレテ居タノデアリ、唯組織ガ少シ違フカ知レナイ、臺灣總督府ノ評議會ノ議決ヲ經テト云フコトガ明治三十九年ノ六十三號ノ第二條ニ載ツテ居ルコトハ、諸君御承知ノ通りデアリ、サウシテ此一九一九年ノ六十二號ノ第二條ニ斯ウ云フコトガ書イタル「前條ノ命令ハ臺灣總督府評議會ノ議決ヲ取リ、評議會ノ議決ヲ取リ拓殖務大臣ヲ經テ勅裁ヲ請フヘシ」ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ即チ官民合同ノ組織デアルトハ申シマセズ、總督府ノ官吏ヲ評議員トシマシテ無論組立テ居タモノデアラウト思ヒマスカラ、官民合同ト云フ點ニ比シテハ少シ相違ハアリマスケレドモ、免二角總督ノ專斷ニ立法ヲ委ネズシテ、評議員會ノ議決ヲ取ツテ居タト云フコトハ、第二條ニ依テ明カデアリ、然ルニ一九一九年ノ六十三號ト云フモノハ、其後十箇年間行ハレテ居タコトモ御承知ノ通りデアリマス、明治三十九年ノ繼續提案ノ當時マデ十箇年バカリト云フモノハ臺灣總督ノ專斷ニ委ネズシテ、諮問機關タルコトヲ評議員ノ議決ヲ取ツテ、サウシテ立法セラレテ居タコトハ法案ノ示ストコトデアリマス、然ルニ臺灣總督ノ評議員會ノ議決ヲ取ルト云フ規定ガ、明治三十九年提案ノ當時ニ於テ取除ケニナツタノデアリマス、此ノ點ハ立法歷史ヲ取調ベマシテモ明確ニ其取除ケタ理由ハ私ニハ見付ナナイガ、私ノ想像スルコトコトニ依レバ、是ハ臺灣總督府ノ屬僚ヲ委任立法ノ上ニ於テノ權能ヲ有タシメルト云フコトハ立法上ノ不穩當デアリ、不徹底デアルト云フ理由カラ取除ケラサレタモノデアルト本員ハ確信ヲ致スノデアリ、諸君ニ於カレマシテハ此評議員ノ取除ケニナツタ理由ヲ如何ナル點ニ御觀察ニ相成ルカ存ジマセヌガ、本員ハ左様ニ判斷ヲ致シテ居リマス、是ハ成程三十九年ニ於テ取除イタルト云フコトハ、立法上ノ問題トシテ一ツ値ノアル問題デアラウト思ヒマス、然ルニ更ニ二十年ノ十數年ヲ經タル今日ニ於

キマシテ、諸君ガ明治三十九年ノ六十三號當時ノ狀態ニ立戻ラバ、縱令官民合同ト官吏トノ組織ダケニ内容ニ區別ガ多少アリト致シタトコトガ、此ニ名目ダケノ諮問機關ヲ設ケタリトテ、此立法上ノ問題ト云フモノ、内容ニ於テハ決シテ進歩改良ヲ示シタルモノト云フコトハ出來マセズ、進歩ドコロデナイ、明治三十九年ノ六十三號ノ當時ニ類似ノ此諮問機關ヲ作ツテ、サウシテ面目ヲ飾ルト云フコトニ過ギナイノデアリマシテ、進歩デモ何デモナイノデアリマス、明治三十九年ニ於テ立法上ノ不徹底下穩當デアルト云フテ、一度法令ノ上ヨリ除カレタルトコロノモノト、類似ノ諮問機關ヲ改メテ復活スルコト云フ希望條件ニ過ギナイ（拍手起ル）左様ナモノハ本員等之ヲ以テ二十年ノ昔ニ立返ツタトコロノ一ノ是ハ希望條件デアツテ、決シテ立法上ノ改善作振ヲ求メタルコトノ條件ナリト思慮致シマセヌト斷言致シマス、是ハ値ノナイ希望條件デアルト云フコトヲ斷言スルノデアリマス（拍手起ル）諸君ニシテ斯ノ如キ諮問機關ガ必要アル、諮問機關ヲ設ケルコトガ總督ノ立法權ノ專斷ヲ牽制シ止スル値ガアルト云フコトデアラナラバ、與黨諸君ハ何ガ故ニ臺灣ノ官民合同ニ依ル諮問機關ニ代ルニ自ラ衆議院ノ權威ヲ以テナサラヌノデアルカ、臺灣ノ一部ニアルトコロノ屬僚、臺灣ノ一部ニ居住シテ居ルトコロノ數名、或ハ數十名ノ人民、是等ノ者ヲ總督府ノ立法ニ參與セシメ、左程ノ價ト言フモノガ何處ニアルノデアリマス、帝國ノ選良ヲ集メタルトコロノ衆智ノ集ルトコロノ帝國議會ニ於テナセテ立法ヲ爲サヌノデアリ、諸君ハ一面ニ於テ總督ノ專斷立法ト云フモノヲ牽制スル爲ニ、諮問機關——合議體ノ諮問機關ヲ設ケルト云フ必要ヲ自ラ認メナガラ、此諮問機關ニ代フルニ自ラ立法上ノ權威ヲ信用ヲ帝國議會自ラ示スト云フ見識ヲ信用ヲナセ御取リニナラス、堂々タル帝國議會、臺灣ノ風俗人情ニ通セズ、臺灣居住ノ少數ノ人民ノ知識ヲ藉ラザレバ自ラ立法ノ知識ナシト諸君ハ御自認ナサルノデアリマスカ、臺灣ノ一部ノ行政上ノ屬僚ト云フモノ、經驗技能ヲ藉ラザレバ、臺灣ノ特別ノ立法ヲ爲スノ力ナシト御自信ナサルノデアリマスカ、私ハ堂々タル議會自ラ斯ル希望條件ヲ提出シ、換言スレバ數十年ノ古キ法律ニ現ハサレタル條件ヲ事新シク議會ノ上ニ提出シテ、之ヲ以テ議會ノ權威自ラ足レリ、議會ノ信用自ラ具レリト御自信ナサルトコロノ與黨諸君ノ御見識ヲ甚ダ遺憾トシテ、此案ニ反對スル所以デアリマス

○議長（島田三郎君） 委員長ノ報告ニ對シテ質問ノ通告ガアリマス、小泉又次郎君

○小泉又次郎君 本員ハ本案ノ特別委員ノ一人トシテ委員會ニ質問ヲ致シマス、委員長ノ報告中ニ經過ノ御報告ガアリマセヌガ、結果ダケノ御報告デアリマシタ故ニ、高木正年君ヨリ希望條件ヲ提出サレタトコロノ其案件ヲ提出ナツタ主務大臣ト質問應答——主務大臣ハ是ニ對シテ明カニ辯明サレタコトガアルト、記憶致シテ居リマスカ、此高木正年君ヨリ提出サレタトコロノ希望條件ノ内容ニ付テ詳シク御説明下サイマシタラ、本案ノ議事上ニ於キマシテ重要ナル要點ト考ヘマスルガ故ニ、此事ヲ委員長ニ要求致シマス

○議長（島田三郎君） 小山松壽君——若シ長キ御説明デアラナラバ登壇ヲ願ヒマス

○小山松壽君 簡單デアリマスカラ自席ヨリ御報告シタイト考ヘマス、唯今ノ小泉君ノ御質問デアリマス、高木正年君ノ希望ニ對シテ內務大臣ノ答辯ガアリマシタ、此答辯ハ速記録ヲ其儘讀ムケマス、律令ヲ審議スルガ爲メニ諮問機關ヲ設ケルト云フコトニ付キマシテハ政府ハ其考ヲ持ツテ居リマス、即チ勅令ヲ以テ諮問機關ヲ設ケタル積リデアリマス而シテ其任命ハ政府ガ之ヲ任命スルコト云フコトニ致ス積リデアリマス、但シ其組織ニ付キマシテハ十分考慮ヲ致シマシテ事情ノ許ス限又事情ノ許シマス組織ニ於テ唯今高木君ノ御希望ノ如キ趣旨ニ成ベク從ヒマスヤウ考慮ヲ加ヘル考デアリマス此事ヲ御答致シテ置キマス」ト內務大臣ノ答辯ヲ得デアリマス、故ニ先刻御報告ヲ致シマシ

〔拍手起ル〕

官報號外

大正五年二月二十日

衆議院議事速記錄第二十九號

明治二十九年法律

第三十一號中改正法律案 第一讀會ノ續

六五九

特別ノ行政ヲ要スル、サウシテ特別ノ施設ヲ要スルト云フコトヲ一ノ理由ト信ジマス、臺灣人ハ殆ド原始時代ノ住民ト申シテ差支ナイ、故ニ實際ニサウ云フ者ヲ保護致シ十分ニ開發ラシテ、サウシテ撫育スルト云フコトハ私ハ非常ニ急務デアアル、是非セヌケレバナラス、政府モ確ニヤッテ居ルト思ヒマスガ、今日マデ比較的其效果ノ現ハレナイノハ御同様遺憾ニ思ヒマスガ、サウ云フ特別ナル事情ガアリ、此特別ナル事情ヲ無視シテ一々本國ノ郡縣ニ準ズルト云フ譯デアゴザイマセヌ、濱田君ハ臺灣ニ特別ノ法律ヲ布ケバ宜イ、必ズシモ本國ノ法律其儘ヲ布カナクテモ宜イ、是モ御尤ノ説ト考ヘマス、免三角サウ云フ特別立法制度ヲ執テ、サウシテ臺灣ニ適スル制度ヲ布イタラドデアアラウト云フヤウナウシテモ特別ノ立法ヲシナクテハナラヌ、尤モ特別ノ事情ト云フモノト特別ノ立法ト云フモノトハ必ズシモ因果ノ關係ハナイノデアアル、併シ濱田君ノ御議論ヲ段々推覈シテ行キマスルト、特別ナル事情アル處ニ立法ヲ與ヘナクテモ宜イ、議會ニ引戻シテ議會ヲ相當ナラバ必ズシモ臺灣總督ニ委任立法ヲ與ヘナクテモ宜イ、議會ニ引戻シテ議會ヲ相當ニ極メレバ宜イデアハナイカト云フ御話デアアル、是モ御尤デアアル、若シ臺灣ニ於テ同化ノ實ガ舉ガリマシタナラバ此點モ本員ハ同意デアアル、トコロガ今日臺灣ニ於ケル總テノ事情ヲ見マスルト、先づ第一ニ本議會ニ於テ臺灣ニ關スル特別ノ立法ヲ議會ヲ制定スルヤウナコトナリマスレバ、本國ノ進歩シタル法律思想、又經濟觀念モ違ツタコロコ若ガ臺灣ニ行ハル、立法ヲ制定スルト云フコトニ付テハ、中ニハ臺灣ニ隨分暫ク行ッテ臺灣ノ狀態ニ付テ詳シイ御方モアリマセウ、併ナガラ大多數ノ諸君ハ臺灣ノ事情ヲ御存ジガナイ、又縱シ御存ジデアッテモ、臺灣ノ土人ノ利害關係ヲ適當ニ立法ノ上ニ代表スルト云フコトハ私ハ甚ダ困難デアルト確信致シマス、故ニマダ今日ノ同化ノ程度ニ於テハ、本國ノ議會ニ於テ臺灣ニ行ハル、特別ノ法律ヲ制定スル時機ニ達シテ居ナイト本員ハ斷定スルノデアリマス、若シモサウデナクシテ之ヲ本國ノ議會ニ於テ、サウ云フ立法ヲ制定スルト云フヤウナコトガゴザイマスレバ、啻ニ彼等臺灣人ノ生活ヲ經濟狀態ヲ破壞スルノミナラズ、其他臺灣人ノ根柢トナッデ居ル思想ニ不安ヲ感ゼシメ、其思想ニ不安ヲ感ゼシムルト云フコトガ本國ニ同化政策ヲ行フニ付テ非常ナル差支ヲ生ジハシナイカト本員ハ危ムノデゴザイマス、此點ニ付キマシテモ隨分歐洲先進國ノ例ヲ見デ見マスルト云フト佛蘭西ノ如キハ私ガ此席デ申スマデモナク同化政策ヲ取リ、サウシテ殖民地ヲ本國ノ延長ト看做シテ、本國ニ行ハルル制度其儘ヤッテ隨分幾多ノ失敗ラシテ居ルノデアアル、即チ佛蘭西ハ殖民政策ニ於キマシテハ失敗ラシタト云フトハ劃一的制度ヲ布キタイ、同化ノ方法ガ形式的デアアル、同化ニ付テノ考ガ外形的デアアルカラ宜シクナイノデアアル、ドウシテモ同化ハ內實的實質的ノモノデナケレバナラスト私ハ信ズルノデアリマス、此點ハ隨分議論モアルヤウデアリマススケレドモ、本員ノ信ズル所ニ依レバドウシテモ此同化ハ內部的實質的ノ同化方法ヲ取ラナケレバナラスト信ズルノデアアル、佛蘭西ノ殖民政策ノ歴史ヲ見デ見マスルト云フト、一見殖民地ヲ同化致シテ本國ト同一ナラシムル良好ナル政策ヲ取ツテ居ルヤウニ見エマススケレドモ、其實サウデナイ、何トナレバ同化ノ經過ニ付テ考ヘテ見マスト總テ形式的デアアル、外部のデアアル、例ヘバ劃一制度ヲ布クトカ云フヤウナトコガアツテ、十分急所ニ觸レテ居ラナイ、是レガ爲メデス、今マデ幾多ノ失敗ヲナシテ佛蘭西ハ終ニ殖民地ニ付テハ本國ト同一ノ法律制度ヲ布カナイ、斯フ云フコトニナツタサウデアザイマス、然ルニ英國ノ如キハドウデアアルカト云フト、今マデハ自治主義ヲ取ツテ居ル本國ト同一ノ法制ヲ布イテ、無暗ニ劃一制度ヲ取ラナイ、斯ウ云フ方面ハ十分盡力シテ居ツタト云フトデアアル、ツレガ爲ニ英國アタリノ殖民ト云フモノハ皆治績ガ舉ッテ居ル、

然ルニ佛蘭西ヲ初メ拉典民族諸國ノ殖民地ノ狀態ヲ書物ニ依ッテ見マスト、ドウモ同化ノ成績ヲ舉ゲナイ、同化ノ成績ノ舉ゲナイト云フノハ外部的形式のニ流レテ居ル、ドウモ殖民地ノ人民ヲシテ不安ヲ感ゼシムル、何トナク不安ヲ感ゼシムル、此人民ニ不安ヲ感ゼシムルト云フコトハ、是ガ同化政策ヲ行フニ於テ最も大ナル障害ヲ與ヘルモノデアラト信ジマス、故ニ殖民地ノ人民ニ十分ニ殖民地統治機關ニ信頼ヲセシメ、サウシテ彼等ガ安心シテ信頼ヲスルト云フヤウナ方法ヲ取ルト云フコトハ、最も必要デアラウト思フデアアル、此點ニ付キマシテ先刻申シマシタ如ク、殖民地ニ行ハレル法律ヲ母國ノ議會ニ於テ制定スルト云フコトハ、私ハ今日ノ同化程度デハ——將來ハイザ知ラズ、免モ角モ今日ノ同化程度デハ是ハ具合ガ惡カラウ、斯ウ本員ハ信ズルノデゴザイマス、サウシテ殖民地ノ統治ト云フモノハドウシテモ劃一制度ヲ布クトカ、サウシテ外部的形式のデアッデハイカヌ、勿論教育ノ方法ニ依ッテ同化セネバナラス、宗教ノ方法ニ依ッテ同化セネバナラス、ソレト同時ニ私が最も考ヘテ居ル最も有效ナリト信ズル所ノモノハ、臺灣統治ノ根本方針ヲ致シマシテ、本國ト臺灣トヲ實質的ニ調和シテ實質的ニ統一スルト云フコトニ付ハ、臺灣ニ特別ナル立法ヲ私ハスルノガ必要デアルト思フ、其立法ヲスル必要ハ本國ノ議會デアラネバナラスト云フコトハ言ハナイ、是ハ宜シク先刻申シマシタ通り殖民地ノ統治機關ニ委セテ差支ハナイ、殖民地ノ統治機關ヲ十分信頼シテ差支ナイト信ズルデアリマス、臺灣ニ特別ナル立法ヲ布クト云フコトハ是ハドウ云フ譯デアアル、其目的ハ多クザイマセウ、第一ニ先ダ不明ナル慣習ヲ確立シテ、サウシテ慣習ヲ組織的ニスルト云フコトデアアル、ソレト同時ニ段々母國法ニ統一スルト云フ傾向ヲ有セシメルコトガ必要デアアル、是ガ統治ノ方針シテ最も有力ナル方法デアルト云フコトヲ確信シテ疑ハナイデアアル、唯臺灣ニ特別ナル立法ヲスルト云フコトハ一見士民法ヲ制定スルト云フヤウナコトニ矛盾シハシナイカ、サウシテ本國法ニ同化セシムルト云フコトニ付デハ是ハ都合ガ惡クナリハシナイカ、斯ウ云フ第一心配ガアルデアアル、所ガ私ハ事實ニ於テハ決シテサウ云フコトハナイト思フ、何トナレバ本國ノ進歩シタル法律思想ヲ一般士民ノ頭ニ與ヘ、サウシテ士民ノ慣習ノ中ニ於キマシテ保存スベキ慣習ハ飽クマデ保存スル、多ク殖民地ノ歴史ヲ見マスト云フコトハ、士民ノ尊重スル慣習ヲ無意識的ニ壞シタガ爲ニ、統治上幾多ノ障害ヲ與ヘタト云フコトハ吾ハ歴史ノ上ニ於テ往々見ル所デアラカシテ、所謂殖民地ノ立法ニ於テ士民法ヲ制定スルト云フコトハ、一面ニ於キマシテ臺灣人ノ頭ニ進歩シタル法律思想ヲ注入スルト同時ニ、他ノ一面ニ於キマシテ臺灣人ノ最も尊重セル慣習、最も彼等ノ尊重スル習慣ヲ保持シ、而シテ其間ニ於キマシテ彼等ニ進歩シタル法律思想ヲ與ヘ、又人道ニ反スル習慣ノ如キ、社會ノ秩序ヲ害スル習慣ノ如キ、ソレカラシテ新ナシキ法律觀念ヲ彼等ニ與ヘルト云フコトハ教育ニ依ッテ、宗教ニ依ッテ、同化ノ方法ヲスルト同ジ如クニデス、此士民法ヲ制定シテ彼等ニ十分ナル信念ヲ與ヘシメ、ソマリ不安ノ念ヲ與ヘサセナイ、確カニ日本當局者ニ賴ルト云フ考ヲ與ヘルト云フコトハ私ハ急務中ノ急務デアアルマイカト考ヘルデアリマス、此點ニ於キマシテ濱田君ノ先刻ノ特別立法ヲ布ケ、ソレニハ贊成デアアル、併ナガラ其特別立法ノ先刻來愚見ヲ申述セバシタ如ク、本國ノ議會ニ依ッテ必ズシモ制定シナクテモ宜イ、本國ノ議會ニ依ッテ之ヲ制定スル必要ナシ、何トナレバ本國ノ議會ハ随分進歩シタル法律觀念經濟思想ヲ持ッテ居リマスカラ、士民ニ適切ナル法律ヲ制定スルハ困難デアラウト思フ、是ガ歴史ノ教フル所、サウ云フ例ハ澤山見ルデアリマス、故ニ私ハ臺灣ヲ一時モ早ク本國ニ同化スル方法ヲ致シマシテ、教育ナリ宗教ナリ若ハ所謂士民法ナルモノヲ制定シテ、サウシテ彼等ヲ十分本國ニ同化セシメ、一面ニ於テ此委任立法權ヲ總督ニ與ヘテ偉大ナル權力ヲ揮フト同時ニ、他ノ一面ニ於テハ彼等ニ仁政ヲ施シテ新日本ノ人民ヲ育成スルト云フコトハ、急務中ノ急務デアラウト考ヘルデアアル、此點ニ於キマシテ私ハ濱田君ノ御希望ト同ジ如クニ、立法ハ違ヒマスガ、ドウシテモ一時モ早ク臺灣ニ特別ノ法律ヲ制定シナケレバイヤト云フ考ヲ懷イテ居ルデアアル、臺灣ニ特別ナル法律ヲ制定スル、即チ特別立法主義ト云フコトヲ行フニ付キマシテ、先ダ第一ニ考ヘナケレバナラスコトハ理事者其ノ人ト云フコトデアアル、當局者其ノ人ト云フコトデアアル、是ハ既往ノ歴史ニ於キマシテ隨分權力ヲ濫用シ、權力ヲ濫用スルト云フコトガ往々ニシテアッタデアアル、濱田君ハ諮問會ヲ開ク、諮問機關ヲ設ケルト云フコトハ立法ノ退歩デアルト云フ御話デアッタ、成程一見考ヘルト立法ノ退歩ノヤウニ見エル、併ナガラ是ハ一面カラ考ヘルト政治的安全機關デアルト信ズルデアリマス、固ヨリ此諮問機關ニ付キマシテハ先刻委員長カラモ御話ガアリマシタ通り、從來ノヤウニ臺灣總督ニハ一任ヲシナイ、政府ガ之ヲ任免スル、而シテ組織ハ內務大臣ハ斷言ハセラレナカッタケレドモ、成ルベクハ官吏以外ノ者モ加ヘタイト云フ諸君ノ御希望ハ大ニ諒スルト云フ御話デアゴザイマシタ、固ヨリ單純ナル諮問機關デアリマスカラ、濱田君ノ御話ニナッタ如ク積極的ノ效果ハナイ、サリナガラ少クモ諮問ノ機關ト云フモノヲ設ケテ、而シテ其諮問機關ノ組織委員ヲ官吏以外ノ者カラ採ルト云フコトハ、是ハ私ハ消極的ニ於テハ非常ニ效果ガアルツマリ臺灣ノ當局者ガ權力ヲ濫用シ若クハ妄用シナイ、斯ウ云フコトニ私ハ非常ニ效果ガアラウト斯ウ本員ハ存ジマスカラ、諮問機關設置ノ希望條件ヲ政府ガ容レラレタモノト假定シマシテ、本案ニハ贊成スルノデゴザイマス、濱田君ハ臺灣總督ニ武官制度ヲ置クト云フコトハ、或ハ、或一派ニ依リマシテ新領土ノ殖産經營上ニ所謂利權ヲ獲得スル必要ヨリ、武官制度ヲ諸君ガ贊成スルデアラウト云フヤウナコトガゴザイマシタガ、或ハサウ云フ考ヲ持ッテ居ル者ガ無キニシモアラズデアアル、併ナガラ本員ハサウ云フ意味デハナイ、勿論武官制度ニ絕對的ニ贊成スルカト云フコト必シモサウデハナイ、若シ臺灣ガ其程度ニ於テ本國ニ同化シタル場合ニ於キマシテハ、必シモ武官制度ヲ必要トシナイ、或ハ經綸アル政治家ヲ任用シテシテ、其同化政策ヲ行ハシメルト云フコトモ極メテ必要デアアル、併ナガラ今日ハマダ理番事業ト云フモノハ殆ド其緒ニ就イタト云フコトモアリマシテ、先ダ士民ノ中ノ中級以上ノ者デモ我が本國ニ對シテハ強烈ナル反抗心ヲ持ッテ居ル者モ澤山アリマス、ソレハ昨年ノ動亂ニ徴シテモ明デアリマスカラ、今俄ニ私ハ武官制度ヲ採用スルト云フコトニ就テハ遺憾ナガラ贊成スルコトガ出來マセヌ、甚ダ粗雑ナル話デアリマシタガ、以上ノ理由ニ依テ原案ニ贊成スルデアリマス

務中ノ急務デアラウト考ヘルデアアル、此點ニ於キマシテ私ハ濱田君ノ御希望ト同ジ如クニ、立法ハ違ヒマスガ、ドウシテモ一時モ早ク臺灣ニ特別ノ法律ヲ制定シナケレバイヤト云フ考ヲ懷イテ居ルデアアル、臺灣ニ特別ナル法律ヲ制定スル、即チ特別立法主義ト云フコトヲ行フニ付キマシテ、先ダ第一ニ考ヘナケレバナラスコトハ理事者其ノ人ト云フコトデアアル、當局者其ノ人ト云フコトデアアル、是ハ既往ノ歴史ニ於キマシテ隨分權力ヲ濫用シ、權力ヲ濫用スルト云フコトガ往々ニシテアッタデアアル、濱田君ハ諮問會ヲ開ク、諮問機關ヲ設ケルト云フコトハ立法ノ退歩デアルト云フ御話デアッタ、成程一見考ヘルト立法ノ退歩ノヤウニ見エル、併ナガラ是ハ一面カラ考ヘルト政治的安全機關デアルト信ズルデアリマス、固ヨリ此諮問機關ニ付キマシテハ先刻委員長カラモ御話ガアリマシタ通り、從來ノヤウニ臺灣總督ニハ一任ヲシナイ、政府ガ之ヲ任免スル、而シテ組織ハ內務大臣ハ斷言ハセラレナカッタケレドモ、成ルベクハ官吏以外ノ者モ加ヘタイト云フ諸君ノ御希望ハ大ニ諒スルト云フ御話デアゴザイマシタ、固ヨリ單純ナル諮問機關デアリマスカラ、濱田君ノ御話ニナッタ如ク積極的ノ效果ハナイ、サリナガラ少クモ諮問ノ機關ト云フモノヲ設ケテ、而シテ其諮問機關ノ組織委員ヲ官吏以外ノ者カラ採ルト云フコトハ、是ハ私ハ消極的ニ於テハ非常ニ效果ガアルツマリ臺灣ノ當局者ガ權力ヲ濫用シ若クハ妄用シナイ、斯ウ云フコトニ私ハ非常ニ效果ガアラウト斯ウ本員ハ存ジマスカラ、諮問機關設置ノ希望條件ヲ政府ガ容レラレタモノト假定シマシテ、本案ニハ贊成スルノデゴザイマス、濱田君ハ臺灣總督ニ武官制度ヲ置クト云フコトハ、或ハ、或一派ニ依リマシテ新領土ノ殖産經營上ニ所謂利權ヲ獲得スル必要ヨリ、武官制度ヲ諸君ガ贊成スルデアラウト云フヤウナコトガゴザイマシタガ、或ハサウ云フ考ヲ持ッテ居ル者ガ無キニシモアラズデアアル、併ナガラ本員ハサウ云フ意味デハナイ、勿論武官制度ニ絕對的ニ贊成スルカト云フコト必シモサウデハナイ、若シ臺灣ガ其程度ニ於テ本國ニ同化シタル場合ニ於キマシテハ、必シモ武官制度ヲ必要トシナイ、或ハ經綸アル政治家ヲ任用シテシテ、其同化政策ヲ行ハシメルト云フコトモ極メテ必要デアアル、併ナガラ今日ハマダ理番事業ト云フモノハ殆ド其緒ニ就イタト云フコトモアリマシテ、先ダ士民ノ中ノ中級以上ノ者デモ我が本國ニ對シテハ強烈ナル反抗心ヲ持ッテ居ル者モ澤山アリマス、ソレハ昨年ノ動亂ニ徴シテモ明デアリマスカラ、今俄ニ私ハ武官制度ヲ採用スルト云フコトニ就テハ遺憾ナガラ贊成スルコトガ出來マセヌ、甚ダ粗雑ナル話デアリマシタガ、以上ノ理由ニ依テ原案ニ贊成スルデアリマス

〔松田源治君登壇〕

○松田源治君 諸君、贊否兩論ヲ謹シテ拜聽致シマシタ、本案二期限ヲ附スルト云フコトハ、憲法ノ變態デアアルカラ期限ヲ附シタト云フコトハ議論ノナイコト、思フデアリマス、之ニ反對スル議論ヲ唱フル人ハ一木内相ノミデアアル、一木内相ハ期限ヲ付ケタコトハ主トシテ立法ノ改善進歩ヲ促ス爲メデアルト云フコトヲ申スデアリマス、是ハ大變ナル間違デアアル、又事實ノ上カラ申シマシテモ間違ヒデアアル、明治二十九年本案ヲ提出シテ帝國議會ガ協賛致シテ二十五年ニナリマスガ、何等ノ進歩ガアルデアリマス、一木内務大臣ニ聽キマス、第五條ニ臺灣ノ爲ニ施行シタル法律臺灣ニ施行スル目的ヲ以テ制定シタル法律及勅令ニ違反スルコトヲ得ズト云フ五條ガ新ニ加ヘタカラ、是ガ進歩デアルト云ハレタ、此五條ハ無クテモ臺灣ノ爲ニ布ク法律勅令ニ違反スルコトノ出來ナイト云フコトハ法律解釋ノ上カラ當然デアアル、是ハ寧ろ蛇足デアルト思フデアリマス、故ニ政府ノ提出シタル案ニ於キマシテハ此規定ハ無カッタ、貴族院ニ於テ此修正ヲナシテ、唯法律ノ解釋ヲ明ニシタダケノコトデアアル、是ガ何等進歩デアリマス、何等ノ改善デアリマス、根本的委任立法ト云フコトニ就テハ毫モ今日マダ改良進歩シテ居リマセヌガ

故ニ、吾ハ期限ヲ附スルコトハ憲法ノ變例ナルカ、速ニ期限ガ來タラバ之ヲ取上ケルコトヲ爲シ、前ノ案ニ期限ヲ附シタコトハ爭フベカラザルコトアラウト思フ、之ニ就テハ本法制定ノ場合ニ於キマシテ鳩山和夫君ガ委員長トナツテ、明治二十九年ノ議會ニ報告シテ居ルコトヲ見マスモ、斯カル憲法ノ變道ハ長ク執ルベキモノナリカラ期限ヲ附シタコトハ明言シテ居ル、二十九年ニ出シマシテ最初ノ案ニハ期限ガナカッタ、衆議院ニ於テ期限ガアルヤウニシタノハ鳩山和夫君ガ本議會ニ於テ委員長トシテ報告シテ、即チ憲政ノ變道アルカラ長ク斯カル變態ハ許サヌ爲ニ期限ヲ附ケルノナルト、其主意ニ依テ吾ハ毎回期限ヲ附ケテ協賛ヲ致シテ居ルノナル、而シテ先程古屋君ガ御議論ナサレタガ、又一木内務大臣モ屬サウコトヲ言フ、臺灣ハ三百萬以上ノ異人種ヲ有シ其統治ハ困難ナルカラ劃一ノ下ニ統治出來ナイカラ本案ガ必要ナルコトヲ云フ、吾モ臺灣ニハ特別ナル人情風俗ガアルコトヲ知ッテ居リマス、而シテ吾ハ臺灣ガ内地ト同ク劃一ナル下ニ立法シヤウト云フコトハ毫モ主張シテ居ナイ、臺灣ニハ人情風俗ガ異ル三百萬以上ノ土民ヲ有シテ居ルノナル、臺灣ヲ同化サセムマデニハ内地ト異タル法制ガ必要ナルコトヲ云フコトハ議論ハナイ、唯政府ガ聲ヲ大ニシテ吾ハ議論ヲ壓スル爲ニ、臺灣ハ三百萬以上ノ土人ガアルカラ劃一ノ制度ニ於テハ立法ハ出來ナイト云フコトヲ言フ、吾モ特別ナル法制ヲ要スルコトハ了承致シテ居ルノアリマス、依テ其特別ナル法制ヲナスニ就テ憲政ノ變道タル臺灣總督ガ全權ヲ以テ立法事項ヲ制定スルコトヲ委シテ置クガ宜イカ、之ヲ議會ニ取上ケテ議會ノ意志ヲ入レテ議會ニ於テ慎重審議シテ、臺灣ニ特別ナル限地的立法ヲ爲スガ善イカ、惡イカト云フ問題ニナツテ居ル、之ヲ古屋君ハ大變取違ヘテ居ル、吾ハ臺灣總督ガ今日マデ全權ヲ以テ立法致シテ居ル、其爲ニ臺灣ノ根本的統治方針ト云フモノガ定ラズ、同化主義ヲ採ルカ非同化主義ヲ採ルカマルデ分ラヌ、政府ハ同化主義ヲ採ルト云フコトヲ宣明致シテ居リマス、教育ニ於テ婚姻ニ於テ又ニ同化主義ヲ採ルカ定ラズ、同化主義ヲ採ルカ非同化主義ヲ採ルカマルデ分ラヌ、政府ハ同化主義ヲ採ルト云フコトヲ宣明致シテ居リマス、此點ニ就テ一木内務大臣ニ質問スル其事ハ明ニ答ヘナイ、故ニ私ハ殖民地デハナイノナルナリト云フコト、ソレカラ後ニハ新領土ト云フ言葉ヲ使シテ居ル、新領土デアル殖民地デアルガト云フコトモ確定サレテ居ラス、殖民地ト申セバ財政經濟ノ關係ニ於テ日本ガ領有シテ居ル、是ハ日本領土ノ延長ト致シマス、今日モ日本ノ憲法ガ行ハレテ居ルガ、行クハ日本同府縣ノ制度ヲ布イテ、全ク日本ト同様ノ忠良ナル臣民トシテ之ヲ統治スルコトガ最モ必要デアラウト思フ、此點ニ於テモ亦根本方針ガ定マツテ居ラス、臺灣ニ就テ根本方針ガ定マツテ居ラスト云フコトハ、總督ノニ限地的ノ特別立法ヲ委セテ吾ハ議會ハ之ヲ加ハラナイ、吾ハ議會ニ於テ立法シナイカラ即チ國民ノ意志ヲ私ニ斷言シテ妨ゲナシト思フ、故ニ今日ニ於キマシテハ唯官吏ノミニ委セ、總督ノニ委セ、是ガ法制局ニ同リ法制局ヲ審查シ、政府ガ臺灣總督ニ對シテ勅令ヲ發布スルコトヲ權利ヲ委スルガ宜シイカ、吾ハ帝國議會ニ於テ之ヲ立法スルガ宜シイカト云フ、吾ハ帝國議會ニ於テ政府ノ提出シタルコトヲ法案ヲ審查シ、又吾モ法案ヲ出シマシテ慎重審議シテ臺灣ノ同化政策ニ妨ゲナイヤウニ、又臺灣ニ異ナル所ノ人情風俗ガアレバソレヲ認メテ、サウシテ立法スルコトガ臺灣ノ根本方針ヲ確定スル上カラ言フテモ可ナリト斷定スルノデアリマス、而シテ此律令ヲ發布スルノ權利ヲ取上ケテ、何等ノ不便モアリマセヌ、私モ先達テ申シタヤウニ、今日ハ百七十一件ト云フ臺灣總督ガ發布シタル律令ガ現存シテ居リマス、是デ略々特別ノ法制ハ備ツテ居ルノナル、此内ニハ却テ改廢スベキモノガアル、

隨分野蠻テ法律モアリマス、同化ヲ妨ゲテ居ル法律モアリマス、議會ニ之ヲ取上ケタナラバ議會自カラ之ヲ審查シテ百七十一件ト云フコトヲ臺灣總督ガ律令ヲ出シタモノヲ、吾ハ之ヲ審查シテ適當ニ改廢スルガ今日ハ相當ナ時期ト考ヘルノデアリマス、憲法政治ト云フモノハ一體不便利ナ政治デアリマス、臺灣總督ガ直ニ立法事項ヲ律令ヲ以テ規定シタイコトガアリマセウケレドモ、憲法政治ハ不便ナ政治ナル、今日ノ政府ニ於テモ帝國議會ヲ待タズシテ立法シタイコトガ澤山アリマセウケレドモ、帝國議會ガアル以上ハ帝國議會ノ開ケルヲ待テ、又臨時ニ帝國議會ヲ開イテ協賛ヲ求メルコトガ當然ニナツテ居ル、律令ヲ發布スル權利ヲ臺灣總督カラ取上ケタナラバ、多少不便ハアルケレドモ、是ハ憲法政治ニ於テハ忍バナケレバナラヌコト、考ヘマス、内務大臣ニ此點ニ就テ尋ネルト此ノ律令權ヲ取上ケテモ統治ニハ困難ナイト云フコトハ認メテ居ル、唯臺灣ノ立法ヲ總督ニ任セテ置ケレバ却テ適當ナル、吾ハ適當デハナイ、議會ニ取上ケルガ宜シイ、併シ取上ケテモ困難ナイト云フコトハ認メテ居ルノデアリマス、又議會ガナイ時分ニ急テ要スル事ガアツタラドウスルカト云フハ、濱田君ガ申ス通りニ帝國憲法八條ニ依テ緊急命令ヲ發スレバ宜シイ、又臺灣ニ於テ暴動ガ起リ陰謀事件ガアレバ是ハ軍隊行動ニナル、吾ハ之ヲ容レルコトハ出來ナイ、次ハ戒嚴令ニナル、其次ニナレバ憲法上國家ノ非常事變デ天皇ノ大權ノ執行ハ妨ゲナイノデアリマス、何等此臺灣總督カラ律令權ヲ取上ケマシテモ臺灣ノ統治ニ困難ハナイ、少々ノ不便ハアル、是ハ憲法政治ニ於テ國民ノ權利ヲ尊重スル以上ハ、政府ガ忍バナケレバナラヌト私ハ斷定致スノデアリマス、又古屋君ハ此議會ニ於テ之ヲ制定スルヨリモ臺灣ニ任セテ置クガ宜イコトヲ云フコトヲ言フ、是ハ臺灣ニ特別ナル議會ヲ設ヘルノデアリマス、今日ハ臺灣ニ日本ノ憲法ガ行ハレテ居ル、行クハ憲法全部ヲ行フノナル、然ルニ臺灣ニ自治ヲ許シタナラバ、是レ臺灣ノ同化ヲ妨ゲルカハアリマセカ、是ニ古屋君ハ同化政策ヲ執ルト云ヒナガラ、立法ハ吾ハ之ヲ審議スルヨリモ臺灣ノ自治ニ任セテ置クコトヲ言フコトハ私ノ了解ニ苦ムコトヲ云フアリマス、又與黨ノ方デハ本件ニハ條件ヲ附ケタカラ贊成デア、其條件ハ何デア、臺灣總督ガ發布セムスル律令ニ諮問機關ヲ置ク、諮問機關何等ノ役ニ立チマス、其決議ヲ採ルト否トハ臺灣總督ノ自由デアリマス、唯臺灣總督ノ參考ニ供スルモノデアリマス、是ガ立法ヲ進歩デアリマス、立法ノ改善ガ何所ニアリマス、明治二十九年ノ法律案ハ、諸君等ガ希望スルヨリモ却テ以上ニナツテ居ル、濱田君ハ諮問機關ト云フタケレドモ明治二十九年ノ評議委員會ハ決議機關ニナツテ居リマス、評議員會ノ決議ヲ採リ拓殖務大臣ヲ經テ勅令ヲ請フベシナル、ソレヨリモ二十年經テ居ル今日、ソレヨリ退歩シタル諮問機關ヲ指ヘテ——決議機關デナイ諮問機關ヲ指ヘテ總督ノ參考デアリト云フコトヲ諸君ハ希望條件トシテ本案ニ贊成スルコトハ、是レ進歩デアルト云フノハ却テ退歩デアルト云フ現象ヲ來シテ居ルノナルナリ、又組織スルノハ政府ガ任命スルノデゴザリマス、官選デア、諸君ハ官選ガ大變御好キト見エ、與黨ノ諸君ハ官選ガ御好キト見エ、官吏ガ任命スレバ免職スルコトガ出來ル、何等ノ役ニ立チマス、是ハ百尺竿頭一歩ヲ進メテ即チ民選ノ議會ガアルノナル、官吏ガ任命シタル官選ノ諮問機關ニ於テ立法スルコトハ少シモ論理ガ立たヌト思ヒマス、諸君等ハ何デモ官選ガ御好キ、官選任命スレバ又官吏ガ之ヲ取上ケル、何等ノ役ニ立チマス、是ハ氣安メデア、明治二十九年ノ立法ニ比較シテ退歩デア、明治二十九年ハ決議機關デア、今度ハ諮問機關デア、而シテ官民合同ノモノニスルコトハ承知シナイ、内務大臣ガ考慮スルコトヲ此位ノ希望條件ニ満足スルヨリモ、男ヲシク無條件贊成シタ方ガ優シデアルト思フ（拍手起ル）斯ウ云フコトデアリマス、何レノ方面カラ見

マシテモ本問題ハ今日臺灣總督カラ取上ケルコトが最も適當ナ時期ニ達シテ居ルノデア
ル、政府ハ之ヲ今日又繼續シタイト云フノハ二ツノ理由シカナ、臺灣總督ノ面目ヲ奈
何、ツレカラ今審議シテ居ルコトノ民事例商事例ト云フ特別立法ヲ吾々ノ出テ居ル
議會ノ協賛ヲ求メルト通過ガ困難ナルカラ、此五年ノ間ニ律令ヲ以テ民事例商事例
ヲ規定セムト云フ一ツシカナ、此二ツノ爲ニ律令發布ノ權利ヲ續ケタイト云フコトニ過
ギナイ、臺灣總督ノ面目何デア、臺灣ノ領有シタ時分ニハ或ハ面目論ガ必要デア
カ知ラス、今日ハ臺灣ノ土人ナリト雖モ日本帝國ニハ總督ノ上ニ萬世一系ノ天皇
陛下ガアッテ統治シテ居ルコトヲ知シテ居ル、又帝國議會ガアッテ立法シテ居ルコ
トモ知シテ居ル、現ニ臺灣ニ於テモ土人ガ民事ノ訴訟ニ於テハ總督ヲ被告トシテ訴ヘテ
居ルデアリマセヌカ、總督ノ面目總督ノ威信、是ハ臺灣ヲ領有シタ二十年ナラバ
議論ガ立ツガ今日デハ立タヌト斷言シマス、ツレカラ民事例商事例之ヲ律令ヲ以テ
五年中ニ發布シヤウト云フコトハ怪シカラヌ、臺灣ノ土人ガ今日デハ日本ノ商法民法
ニ服従スルコトヲ喜ンデ居ル、裁判所ガ日本ノ民法商法ヲ採テ判決致シテ居ル、臺灣
ニハ舊慣ガアル、ツレハ舊慣デアリマセウケレドモ臺灣ノ人種ガイロ、違ヒマス、支那ノ各
種ノ方面カラ來テ居ルカライロ、人種ガアル、ツレハハ舊慣ガ異ンデ居ル、或舊慣ハ或
種族カラ採リ或舊慣ハ或種族カラ採ラナラバ總見タヤウナ法律ガ出來ル、ツレヨリモ一
刀兩斷日本ノ文明的ノ民法商法ヲ施行スル、之ヲ臺灣人ガ希望シテ居ルカラ一刀兩斷
施行スルコトガ必要デアルト云フコトヲ斷言スルモ差支ナイ、日本ニ民法商法ガ行ハレ佛
蘭西ノ民法獨逸ノ民法商法ヲ採テ日本ノ人情ト異ンデ居ル法律ヲ布イタ今日ハドウデ
アルカ、裁判所ガ此文明的法律ヲ運用シ人民ガ服従シテ毫モ差支ナイデアリマセヌカ、
然ルニ臺灣人ガ望ンデ居ル日本ノ民法商法ヲ施行シナイデ、民事例商事例ヲ拵ヘルコ
トハ是レ臺灣ノ同化ヲ妨ケルコト大ナルモノナリト、絶叫シナケレバナラヌデアリマス、諸
君、斯ウ云フコトガアル、惡弊ハ舊慣ニ非ズ、臺灣ノ民法商法ニ異ンデ居ル、習慣ハ多
クハ惡弊デアル、惡弊ハ習慣デアリ、慣習デアリノデアリマススルコトヲ尊ブヨリ土人ノ
希望スルコトノ日本ノ民法商法ヲ直ニ行ハレデモ、亦特別ナルモノガ必要デアラナラバ、
吾々ガ議席ヲ占メテ居ル即チ帝國議會ニ於テ協賛ヲ求メルコトガ當然デアラウト考ヘル
ノデアリマス、斯ノ如キ事實及ビ論理ヨリ臺灣ノ根本方針ヲ定ムルニ付テ、又臺灣ノ同
化ヲ促進スル上ニ於テモ、吾々ハ今日ニ於テ之ヲ取上ケル必要ガアルと思フ、今日取上
ケテ置クナラバ臺灣ノ委任立法ミタヤウナ變則ナ法律ハ消滅シ、又新タニ委任立法デナ
クシテ必要ニ應ジテ特別ナル法律ガ本院カラ出デテ、必要已ムヲ得ザル場合ニ吾々ノ協
賛ヲ求メラレデ、斯カル二十年來行ハレテ居ル憲法ノ常道ニ反スル法案ハ先ヅ是デ打
切リシテ、以テ吾々帝國議會ノ任務ヲ盡シタイト云フ私ノ論旨デアリマスカラ、ドウカ
御賛成アラムコトヲ希望致シマス

○議長(島田三郎君) 齋藤隆夫君

○齋藤隆夫君登壇

○齋藤隆夫君 諸君、本員ハ此議案ニハ贊成ヲ致シマス、唯今私が尊敬スル濱田國
松君及松田源治君カラシテ大分詳細ナル反對論ガゴザイマシタ、御演說ハ謹ンデ承リ
マシタガ、餘リ根本ニ接觸スルコトノ有力ナル理由ヲ認ムルコトガ出來マセヌ、御承知
ノ如ク此種ノ議案ハ第九議會以來屢、此議場ニ現ハレマシテ、濱田君ハ是ガ八回目デ
アルト申サレマシタガ、確カニ七回目デアリマス、七度此議場ニ現ハレマシテ尙モ議論ガ
盡キナイト云フコトハ、此議案ノ性質ガ左程困難ナルガデアルカ、或ハ又他ニ理由ガ
アルノデアルカト云フニ、本員ノ見ル所ニ依レバ此性質ハ左程困難ナルモノデハナイ、他ニ

理由ガアッデ展、此議會ヲ煩ハスノデアリマス、ツレハ何デアルカト云ヘバ一言ニシテ言ヘ
バ歷代ノ政府ガ臺灣統治ニ關スル根本方針ヲ定ムルニ當テ餘リニ怠慢デアリ、餘リニ
無能デアッタガデアリマス、而シテ此責任ハ單リ政府ガ負フノミナラズ、此議會モ半バ
其責任ヲ別タケレバナリマセヌ、明治二十九年ニ初メテ臺灣總督ニ律令權ヲ與フルコ
トヲ定メタル法律ヲ制定シ、此法律ニ期限ヲ附シタイト云フコトガ抑、誤リノ基デアリマス、
一體法律ニ期限ヲ附シマスノハ何ガ爲メデアルカト云ヘバ、其期限ガ到來スルト同時ニ
其法律ヲ失効セシムルカ、少クモ其内容ヲ改ムルコトヲ確信ヲ持テ居ラナケレバナ
ラヌ、此確信ガ無クシテ漫ニ期限ヲ附スルト云フガ如キコトハ立法者ノ無定見ヲ表示ス
ルノミナラズ、法律ヲ弄弄ノ誤リヲ免レヌノデアリマス、是ト申スモ必竟スルニ臺灣統治
ニ關スルコトノ根本方針ガ定マラナイ、即チ此委任立法ヲ永久的ノモノトスルカ、又
一時的ノモノトスルカト云フ此要點ガ定マラナイデアリマス、本員ハ議員トナッテ以來
日尙淺ク此問題ニ接觸スルコトハ今回ガ初メデアリマス、サリナガラ過去ニ於ケル議會
史ヲ緘キマシテ、此問題ニ關スル夥多ノ先輩諸君ノ御議論ハ謹ンデ拜見致シマシタガ、
遺憾ナガラ此議論ノ大部分ニハ贊同スルコトガ出來ナイノデアリマス、殊ニ此問題ニ付
テハ隨分憲法論ガ戰ハサレテ居リマス、其憲法論ニ付テハ殊ニ注意ヲ拂ヒマシタガ、不
幸ニシテ其大部分ニ就テ贊成スルコトガ出來ヌ、併シ此問題ニ付テハ憲法ヲ論ズル時代
ハ既ニ過去デ居リマス、固ヨリ此所ニ會同セラルコトノ諸君各自ノ御意見ハ種々デ
ザイマセガ、此議會ノ意見トシテハ既ニ決セラレテ居リマスカラ、今日ハ憲法ノ法理若ク
ハ解釋等ニ付テハ一言モ論及致シマセヌ、純然タル政治上ノ立場ヨリシテ此問題ヲ少
シク研究シテ見タイト思フノデアリマス、即チ政治上ノ見地ヨリ觀察致シマシテ、臺灣總
督ニ長ク律令權ヲ付與スルコト云フコトハ、臺灣統治ノ上ニ必要デアリ有益デアルカ、又
不必要ニシテ有害デアルカト云フコトガ贊否ヲ決スルコトノ爭點ト相成テ居リマス、反
對論者ハ此以上總督ニ律令權ヲ與ヘテ置クト云フコトハ無用ニシテ有害デアルト論ジ、
本員ハ必要ニシテ有益ナリト斷ズルモノデアリマス、元來臺灣ハ帝國ノ領土トシテ如何
ナル地位ヲ占メテ居ルカト云フト、是ハ帝國ノ一植民地デアリマス、此事ハ最前古谷君
ヨリモ申サレマシタガ、確カニ植民地デアルニ相違ナイ、臺灣ヲ以テ植民地デアルト言ヘ
バ或ハ奇異ノ感ヲ抱カル、諸君ガアルカモ知レヌ、殊ニ是マデノ議會ニ於テ此事ガ一ノ
爭トナッデ居ルコトモゴザイマスルガ、本員ハ法ノ見地ヨリ又政治上ノ見地ヨリシテ之ヲ
帝國ノ植民地ナリト斷言スルコトニ付テ少シモ不當ノ廉アルコトヲ認メマセヌ、既ニ臺灣
ガ植民地デアル以上ハ之ニ向ッテ内地ト同一ノ統治方法ヲ用井ルコトハ出來ナイ、特別
統治ノ下ニ置カナケレバナラヌト云フコトハ本員ガ申スマデモナイコトデアリマス、一體臺
灣ト云フ所ハ如何ナル所デアリマス、又臺灣ノ中ニハ如何ナル人種ガ住ンデ居ルカト
云フニ、其大部分ハ土人デゴザイマシテ内地人ハ之ニ較ベマシレバ極メテ少數デアリマ
ス、統計ノ示ストコロニ依レバ臺灣人ハ約三百二十万以上ニ上リ、之ニ對シテ内地人
ハ僅ニ二十數萬ヲ超エナイノデアリマス、而シテ此臺灣人ハ如何ナル人種デアルカト云フニ、
廣キ意味ニ於テハ固ヨリ吾等ト同一ノ人種デアリマス、併シ狄キ意味寧ろ嚴格ナル意
味ニ於テハ異人種デアリマス、管ニ異人種デアルノミナラズ、人情、風俗、言語、思想
其他文化ノ程度ハ言フニ及バズ社會の生存ノ狀態ニ至ルマデ悉ク内地人トハ違ッテ居
ルノデアル、此人種ガ最大多數ヲ占メテ居リマス、土人ノ植民地ヲ統治スルハ當リ、唯一
片ノ憲法論一片ノ法律論ヲ振翳シテ殖民地統治ノ形體ヲ爭ハントスルガ如キハ思ハザ
ルノ甚ダシキモノデアル、法律アルヲ知ッテ政治アルヲ知ラズ、植民地統治ノ何物タルモ
心得ザル人ノ言デアル、由來植民地ノ統治程困難ナルモノハアリマセヌ、我國ハ植民地

ヲ獲得シテヨリ日向淺ク其經驗モ洵ニ乏シノデゴザイマスガ、歐羅巴諸國ノ多數ハ幾百年ノ以前ヨリ許多ノ殖民地ヲ有シテ之ヲ統治スルニ付テハ隨分苦シ經驗ヲ嘗メテ居ルノデアル、若キ經驗ヲ嘗メタニ拘ハラズ、本員ノ見ル所ニ依レバ今日ニ至ルマデ殖民統治ニ關スル所ノ主義ト云フモノハ定テ居ラナイ、今日マデ定マラザルノミナラズ、今後ト雖モ此主義ガ定マルベキ模様ハ見エナイノデアリマス、固ヨリ或者ハ英國ハ放任主義ヲ執テ居ル、又佛蘭西ハ合一主義ヲ執テ居ルト云フコトヲ申シマスガ、此事決シテ精密ナリトハ思ヒマセヌ、此點ニ付テハ本員モ此方調ベトコトガアリマスガ、餘リ本案ニ關係ガゴザイマセヌニ依テ一切省略致シマス、此ノ如ク今日世界各國ヲ通ジテ殖民地統治ニ關スル一定ノ主義ナルモノハ無イ、主義ナルモノハ無イガ唯茲ニ一ツ本問題ノ目的トナルベキ事柄デアッテ、世界ニ通有シテ居ル所ノ殖民統治ノ一ノ原則アルコトヲ認メルノデアル、ソレハ何デアルカト云フト、殖民地ノ統治者ニ向テ立法權ヲ與ヘザル所ノモノハ唯一ツモ無イ、若シ有ルトハ言ハレルナラバ私ハ謹ンデ承リマス、固ヨリ此與ヘラレタル所ノ立法權ヲ行フ所ノ機關ハ一定シテ居リマセヌ、或ハ單獨機關ニ與ヘテ居ルモノモアリマス、總督トカ或ハ知事ト稱スルガ如キ所ノ單獨ノ機關ニ與ヘテ居ルモノモアリマス、或ハ集合機關ヲ設ケテ之ニ諮詢シ若クハ之ガ議決ヲ要スルモノモアル、又此集合機關ヲ組織スル議員ニ付キマシテモ、官選ニ出ヅルモノモアレバ或ハ民選ニ出ヅルモノモアリマス、此ノ如キ立法權ヲ行フ所ノ機關ノ組織ニ付テハ種々區々デゴザイマスガ、殖民地ノ立法ヲ殖民地ノ機關ニ與ヘテ居ルト云フ此點ハ即チ一ツデアル、固ヨリ之アルガ爲ニ本國政府ガ殖民地ニ關スル所ノ立法權ニハ少シモ制限ヲ附シテ居ラナイ、ツマリ殖民地ノ立法ハ一ツハ殖民地ノ政府ガ之ニ當リ、一ツハ本國ノ政府ガ之ニ當ルト云フノガ原則デアル、理論ハ此ノ如クデゴザイマスガ、實際ニ於キマシテハ本國ノ政府ガ殖民地ニ關シテ立法スル所ノ例ハ洵ニ少イノデアリマス、例ヘバ英國ノ如キ世界到處ニ於テ多數ノ殖民地ヲ有シテ居リマス國ニ於テスラ、千八百八十年ヨリ千九百年ニ至ル二十年ノ間ニ於テ、英國ノ國會ガ殖民地ノ爲メニ如何ナル議決ヲ爲シタカト云ヘバ、議決シタル所ノ件數僅ニ四十一件ニ過ギナイ、然モ其大部分ハ財政若クハ行政ノ處分ニ關スル事デアリマシテ、法律ノ性質ヲ有シテ居ルモノハ僅ニ十八件ニ過ギナイノデアリマス、又佛蘭西ノ如キ彼ノ合一主義ニ傾イテ居ル國ニ於テモ、千八百七十一年ヨリ千八百九十九年ニ至ルマデ此二十九年間ニ於テ殖民地ニ關シテ立法シタモノハ僅ニ二十一件ニ過ギナイノデアリマス、之ヲ以テ見マシテモ殖民地ノ立法ハ殖民地ノ政府ガ之ニ當ルガ便利デアッテ且利益デアル、本國ノ政府ハ已マラ得ナイ場合ニ於テ之ヲ補ヒ或ハ之ヲ矯正スルト云フコトガ殖民地統治ニ關シテ今日世界ニ通有シテ居ル所ノ原則デアリマス、我臺灣ヲ統治スルニ付キマシテモ決シテ此原則ニ漏レベキモノデハナイ、御承知ノ如ク臺灣ノ内地トハ總テ二點ニ於テ異ナリマス、殊ニ文明ノ程度ニ於テ甚シキ懸隔ガアル、文化ノ優レル國民ニ向テハ文明政治ヲ以テ之ニ向フガ宜シイ、文化ノ劣レル國民ニ對シテハ亦之ニ相當スル政治ノ遺方ガアルノデアリマス、文化ノ優劣如何ヲ顧ミズシテ單一ニ文明政治ヲ以テ之ニ向ハントスルガ如キハ誤レルノ大ナルモノデアアル、權利ヲ自由ヲ解セザル所ノ國民ニ向テハ之ニ代エル向テハ權利自由ヲ與ヘルガ宜シイ、權利自由ヲ解セザル所ノ國民ニ向テハ之ニ代エルニ他ノ或物ヲ以テスルト云フノガ政治ノ要道デアアル、此趣旨ヨリ致シマシテ臺灣總督ニ立法權ヲ與ヘ又朝鮮總督ニ立法權ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ臺灣ガ我國ノ殖民地トシテ存續シテ居リマス間ハ、臺灣總督ニ與フルニ立法權ヲ以テスルト云フコトハ當然ノ事デアリマス、然ルニ之ヲ顧ミズシテ唯憲法上ノ一點ヨリ觀察シ委任立法ハ

憲法ノ變道デアル常道デハナイ、ソレ故ニ速ニ之ヲ取上ケテ帝國議會ニ收ムベシト論ズルガ如キハ、餘リ狹隘ニシテ淺薄ナル所ノ議論デハナイカ、一體本員ノ見ル所ニ依レバ憲法ノ運用ニ常道モ無ク變道モ無イノデアアル、憲法ハ其時ニ應ジ其場所ニ應ジテ國家人民ノ爲メニ最モ利益ナル道ヲ歩ムト云フコトノ外憲法ノ歩ムベキ道ハナイノデアリマス、強テ常道ト變道トヲ區別セントセラル、ナラバ、殖民地ニ對シテハ委任立法ガ原則デアル直接立法ハ變道デアルト本員ハ斷言スルノデアリマス、殊ニ立憲政治ノ下ニ於キマシテ選舉法モ行ハナイ一人ノ代表者ヲモ選出スルコトガ出來ナイ土地ニ向ッテ、悉ク中央議會ニ於テ立法ヲ爲サントスルガ如キハ憲法ノ本義ニ反スルコト頗ル大ナルモノデアアル、斯ル立法ヲ爲シ其人民ガ喜バヤ否ヤ、是ハ私ハ一ノ疑問トシテ殘シテ置キマス、殊ニ諸君ニ御注意ヲ願ヒタイコトハ、今日臺灣ノ立法權ハ決シテ總督一人ガ獨占シテ居ルノデアリナイノデアアル、我内地ノ法律ハ一片ノ勅令ヲ以テ其儘臺灣ニ行フコトガ出來得ルノデアアル、又此帝國議會モ臺灣ニ特別ナル立法ヲ爲スルノ權利ハ有シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ若シ臺灣總督ノ發シテ居ルトコロノ律令ニシテ、改廢ヲ要スベキモノガアルナラバ、之ヲ改廢スルトコロノ實力ハ我帝國議會ガ握ッテ居ルノデアアル、何ヲ苦ンデカ今日此立法權ヲ取上ケルトコロノ必要ガアルカ、唯反對センガ爲メニ徒ラニ反對ノ理由ヲ構成スル、諸君ハ特別若クモ殖民地統治ニ關スルトコロノ世界通有ノ原則ヲ辨ヘ、臺灣ノ事情ヲ知リ臺灣ノ發達ト帝國ノ利益ヲ思フ者ハ斯カル無謀ナルトコロノ反對論ニハ決シテ贊成ヲセラレナイデアラウト思フ、本員ガ委任立法ニ贊成ヲ改正シマス趣旨ハ是レ以上申述セルノ必要ハ認メマセヌ、之ニ關聯シテ起ルトコロノ種々ノ事柄ガアリマスガ、餘リ本案ニ關係ヲ致シマセヌ、唯茲ニ一言辯解ヲ致シテ置カケレバナラヌコトハ、何ガ故ニ之ニ期限ヲ附スルカト云フコトデアアル、本員ハ元來期限ヲ付スルコトニハ反對デアリマス、併ナガラ今回ハ之ニ贊成スベキトコロノ特別ノ理由ヲ持ッテ居ルノデアアル、元來此法律ニ期限ヲ附シタト云フ根本ニハ反對デアリマス、殊ニ永久ノ性質ヲ持ッテ居ルトコロノ法律ニ向ッテ期限ヲ附シ、而モ其期限タルヤ甚ダ短イノデアアル、初メニ三年ヲ與ヘル、之ガ盡クレバ又三年、ソレガ盡クレバ又三年、其次ニハ之ヲ少シ延シテ五年ノ期限ヲ與ヘル、其五年ガ盡キタナラバ又五年、ソレガ盡キタナラバ又五年、一體何タル失態デアルカ、當世流行ノ言葉ヲ以テ云フナラバ、マルデ成ッテ居ラヌノデアリマス、是ト申スモ畢竟スルニ臺灣統治ニ關スルトコロノ根本ノ方針ガ定ラナイ、立法權ノ委任ヲ以テ非常ニ憲法上ノ罪惡ノ如クニ心得、似テ非ナルトコロノ憲法論ニ迷ハサレテ此議會ガ委任立法ヲ躊躇シタガ爲メデアル、ソレ故ニ本員ハ元來期限ヲ付スルト云フコトニハ反對デアアル、然ラバ何ガ故ニ期限ニ同意スルカト云フ質問ガ起ルニ相違ナイ、本員ハ此期限ニ向ッテハ一ノ強キトコロノ意味ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレハ何デアルカト云ヘバ此期限中ニ於テ政府モ議會モ協同シテ臺灣統治ニ關スルトコロノ根本ノ法律ヲ定ムルガ宜イ、唯立法權ノ委任ト云フ位ノ如キモノデハナイ、立法、行政、司法、此三權ガ臺灣ニ於テ如何ナル體様ヲ以テ表ハレルカト云フ此大綱目ヲ定メタルトコロノ臺灣統治ノ根本法ヲ定メルガ宜イト思フノデアリマス、此意味ヲ以テ本員ハ期限ニ贊成スルノデアリマス、若シ又諮詢機關此事ニ付テハ私ハドウモ宜イト思フノデアリマス、設ケテ置イテモ宜シ、設ケナイテモ餘リ差支ナイ、是ハドウモ宜イ、併シ是ヲハ無用ノ機關トモ思ハナイ、是ハ諮詢機關ニシテ議決機關デナイカラ全ク無用ノ機關デアルト思フ者ハ事情ヲ知ラナイモノデアリマス、若シ諮詢機關デアルカラ無益デアルト云フナラバ樞密院ノ如キモ諮詢機關デアアル、此諮詢機關ガ有效ニ働クヤ否ヤト云フコトハ今後ニ起ルベキトコロノ實際問題デアリマス、ソレ故ニ本員ハ此諮詢機關ニ向ッテハ餘リ重キヲ置キマセ

ス、又此期限ヲ附スルコトニ付テハ強キ意味ヲ持タセ、此間ニ於テ臺灣統治ノ根本法ヲ定メルト云フ此條件ヲ以テ贊成スルノデアリマス、此以上餘リ述べルトコロノ必要ハゴザイマセヌ、願クハ諸君ニ於テモ植民地統治ヲ論ズルニ當リテハ法律若クハ憲法ト云フガ如キ狹イ考ヲ持タズシテ、廣ク政治ノ根本ニ入リテ御研究アラシコトヲ希望致シマス

○濱田國松君 齋藤君ニ質問ガアリマス、齋藤君ハ斯カル法案三期限ヲ付スルト云フコトハ立法者ノ不見識無定見デアルト云フコトヲ言ハレタデアリマス、然ルニ本案二期限ヲ付イテ居ル、本案ニ贊成スルコト云フハ政府議員共同シテ臺灣ノ根本的統治政策ヲ立テル爲メ二期限ヲ其間ニ附シテ宜カラウト云フ上カラ贊成スルト云フ議論デアリマス、齋藤君ノ最初カラノ御演説ヲ伺フテ居ルト、植民地ニ於テ委任立法權ヲ持タスト云フコトハ萬國ニ通ジタル原則デアリマス、動カセナイモノデアアル、齋藤君自身ハモウ臺灣ニハ期限附ノ立法委任デハナク、萬國ニ通ジタル委任立法ヲ與ヘルノガ原則デアリテ、年限ヲ附スルノハ不見識デアルト云フアナタノ御考ガ極メテ居ルナラバ、政府ト議院トハ甚ダ愚昧デアル、斯ウ云フノデスカ

○齋藤隆夫君 ソレダケデスカ、御答致シマス——御座リナサイ

○濱田國松君 間達ガアルトイケマセヌカラ穩カニ御互ニ……

○齋藤隆夫君 答辯ヲ致シマス、本員ハ臺灣ガ植民地デアリ限リハ臺灣總督ニ委任立法權ヲ與ヘルベキモノデアルト斯ウ論ジタデアリマス、ソレ故ニ之ニ期限ヲ附シタト云フハ期限ガ來ルト同時ニ之ヲ取上ゲルト云フ趣旨デハナシ、此期限ガ到達スルマデニ委任立法ノコトモ或ハ司法權ノ發動ノコトモ、或ハ行政權ノ發動ノコトモ盡ク包含シテ居ルトコロノ根本法ヲ定メル、斯ウ云フデアリマス

○濱田國松君 アナタハ立法府ガ不見識無定見ト罵詈雑言サレタ、即チ本案ニハ期限ガ附イテ居ル、ソレヲ贊成ナサルハ五年間テ頭ヲ練テ來ル、ソレデ五年ノ期限ヲ附スルニ贊成スルト云フコトデアル、スルトアナタノ御議論ト違フテ來ル、アナタハ萬國ニ通ジタル植民政策ガ臺灣統治ニ付テ極メテ居ル、臺灣統治ニ付テハ總督ニ無期限ニ立法權ヲ與ヘルト云フコトハ確定不動ノ善良ナル政策デアルト云フ御議論デゴザイマセウ、スルトアナタハサウ御議論ガ極メテ居ルノニ、ナゼ此期限附ノ本案ニ贊成ナサツタデアリマス

○齋藤隆夫君 御答致シマス(議長ハナゼ兩方勝手ニ質問應答ヲ許スノデスカ)ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 互ニ議場ノ秩序ヲ御守リ下サイ

○齋藤隆夫君 先ッ座ッテ御聽キナサイ、最も明白ニ御答致シマス、本員ハ先程申上ゲタル如ク、植民地トシテ臺灣ノ統治スル間ハ委任立法ヲ固執スルモノデアアル、ソレ故ニ此期限ガ到達スルト同時ニ此權利ヲ取上ゲルトハ申シマセヌ、併シ臺灣ノ統治ト云フコトハ委任立法ハカリテナイ、行政權ノ發動モアレバ、司法權ノ發動モアルノデアアル、此二權ノ發動ニ關シ臺灣ノ統治ノ根本法ヲ定メル、此條件ヲ以テ五箇年ノ期限ヲ與ヘルト云フ趣旨デアリマス——分リマシタカ、ソレデ分ラヌト云フアナタハ餘程頑固イノデアル(拍手起ル)

(採決ト呼フ者アリ)

○森田小六郎君 私ハ通告ヲ致シテ置キマシタ、諸君ノ驥尾ニ附シテ論戰ニ加ハリタウゴザイマセヌ、討論ノ趣旨ハ盡キテ居ルト認マサルガ故ニ論戰致シマセヌ、唯此機會ニ於テ先刻松田君ノ御演説中ノ或ル一節ニ對シテ質問致シタウゴザイマセヌ宜シウゴザイマスカ——松田君ハ臺灣ノ統治スル臺灣ノ島民ヲ同化セシムル爲メ、一刀兩斷的ニ

内地ノ法律ヲ直ニ向フヘ持ッテ行ケト云フコトヲ仰セラレマシタ、若シサウ云フ過激ノ手段ヲ致スコトガ果シテ立法ノ政策ニ適ヘリヤ否ヤ、其事ガ臺灣島民ノ生活狀態ヲ激變セシムルモノニ非ザルヤ否ヤト云フコトヲ第一ニ御尋致シテ、第二ニ松田君ハ此明治三十九年法律第三十一號ノ改正案ヲ出シテ居ラル、松田君ハ、三十一號ノ撤廢論者デアリマス、根本的ニ之ヲ撤廢スルコトヲ主張シテ居ラレリニモ拘ラズ、斯ノ如キ改正案ヲ出サル、ノハ前後矛盾スルモノニ非ザルヤ否ヤト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○松田源治君 答ヘル必要ガアリマセヌケレドモ答ヘテ置キマセウ、私ノ議論アラナタハ御聽キニナラナカッタ、私ハ臺灣ハ劃一ノ下ニ統治サレベキモノデアリト云フコトハ政府ト同意見デアアル、即チ特別ナル立法ヲ爲スニ付テ——限地的ノ特別立法ヲ爲スニ付テ臺灣總督ニ全權ヲ以テ委任シテ居ルガ宜シイカ、吾々議會ガ限地的ノ法律ヲ拵ヘルガ宜シイカ、吾々議會ガ於テ限地的ノ特別立法ヲ爲スガ宜イト云フコトヲ申上ゲタデアアル、唯民事例商事例、是ハ日本ノ民法商法ヲ施行スルコトヲ島人ハ望シテ居ル、裁判所モ今日デハ之ヲ酌ミ取ッテ判決ヲ發シテ居ルノデアアル、即チ臺灣人種ニハいろ／＼違フタ人種ガアッテ舊慣等ハ一致シテ居ナイ、或ル舊慣ハ或ル種族カラ採リ、或ル舊慣ハ或ル種族カラ採ッタナラバ、マルタ總見タヤウナ法律ガ出來ルカラ、是ハ一刀兩斷、日本ノ民法商法ヲ施行シタ方ガ宜シイノデアアル、律令ヲ以テ民事例商事例ヲ適用ス可カラズト云フコトヲ言ッタデアアル、能ク御聽キナサイ、其次ハ第二デアリマス、第二ハ第一ノ委任立法ヲ取上ゲルトコトガ出來ナイナラバ次善ト致シテ——最善デナイ、次善トシテ修正案ヲ吾々ハ可ト認メル、即チ今出マス加瀬禮逸君カラ出マスカラ二讀會ニ於テ何レ反對論ガ負ケタナラバ加瀬君ノ修正ニ私ハ贊成ヲ致シマス

(討論終結ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 本案ノ討論ハ盡キタト考ヘマス、依テ第二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシト云フ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 多數デアリマス、二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 直ニ第二讀會ヲ開クコト云フ福田君ノ議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガ無イト認メテ直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ議題ニ供シマス

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案 第二讀會

○議長(島田三郎君) 通告ガアリマス——加瀬禮逸君

(加瀬禮逸君登壇)

○加瀬禮逸君 諸君、私ハ本案ニ對シマシテ修正ヲ致シタイノデアリマス、其修正ハ先刻委員長ニ依テ御報告サレマシタデアリマスガ、此ニ念ノ爲ニ其修正ノ條文ヲ申上ゲマス、明治三十九年法律第三十一號中左ノ通り改正ス第一條中事項ヲ事項ニシテ臺灣ニ特別ナルモノニ改メ附則本法ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス本法ハ大正十年十二月三十一日マテ其效力ヲ有ス現行ノ律令ハ勅令ヲ以テ之ヲ抵觸スル規定ヲ爲スモノ、外其效力ヲ存ス修正ノ案ハ唯今申上ゲタヤウナ次第デアリマス、ツマリ其趣旨ハ一面ニ於テ憲法ノ精神ヲ尊重シ他面ニ於テ實際ノ便益ニ妨ケナカラント期スルノデアリマス、唯今マデ贊否兩様ノ御方ガ種々議論セラレマシタル意見ヲ折衷シタデアリ

○議長(島田三郎君) 通告ガアリマス——加瀬禮逸君

(加瀬禮逸君登壇)

○加瀬禮逸君 諸君、私ハ本案ニ對シマシテ修正ヲ致シタイノデアリマス、其修正ハ先刻委員長ニ依テ御報告サレマシタデアリマスガ、此ニ念ノ爲ニ其修正ノ條文ヲ申上ゲマス、明治三十九年法律第三十一號中左ノ通り改正ス第一條中事項ヲ事項ニシテ臺灣ニ特別ナルモノニ改メ附則本法ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス本法ハ大正十年十二月三十一日マテ其效力ヲ有ス現行ノ律令ハ勅令ヲ以テ之ヲ抵觸スル規定ヲ爲スモノ、外其效力ヲ存ス修正ノ案ハ唯今申上ゲタヤウナ次第デアリマス、ツマリ其趣旨ハ一面ニ於テ憲法ノ精神ヲ尊重シ他面ニ於テ實際ノ便益ニ妨ケナカラント期スルノデアリマス、唯今マデ贊否兩様ノ御方ガ種々議論セラレマシタル意見ヲ折衷シタデアリ

○議長(島田三郎君) 通告ガアリマス——加瀬禮逸君

(加瀬禮逸君登壇)

○加瀬禮逸君 諸君、私ハ本案ニ對シマシテ修正ヲ致シタイノデアリマス、其修正ハ先刻委員長ニ依テ御報告サレマシタデアリマスガ、此ニ念ノ爲ニ其修正ノ條文ヲ申上ゲマス、明治三十九年法律第三十一號中左ノ通り改正ス第一條中事項ヲ事項ニシテ臺灣ニ特別ナルモノニ改メ附則本法ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス本法ハ大正十年十二月三十一日マテ其效力ヲ有ス現行ノ律令ハ勅令ヲ以テ之ヲ抵觸スル規定ヲ爲スモノ、外其效力ヲ存ス修正ノ案ハ唯今申上ゲタヤウナ次第デアリマス、ツマリ其趣旨ハ一面ニ於テ憲法ノ精神ヲ尊重シ他面ニ於テ實際ノ便益ニ妨ケナカラント期スルノデアリマス、唯今マデ贊否兩様ノ御方ガ種々議論セラレマシタル意見ヲ折衷シタデアリ

○議長(島田三郎君) 通告ガアリマス——加瀬禮逸君

(加瀬禮逸君登壇)

○加瀬禮逸君 諸君、私ハ本案ニ對シマシテ修正ヲ致シタイノデアリマス、其修正ハ先刻委員長ニ依テ御報告サレマシタデアリマスガ、此ニ念ノ爲ニ其修正ノ條文ヲ申上ゲマス、明治三十九年法律第三十一號中左ノ通り改正ス第一條中事項ヲ事項ニシテ臺灣ニ特別ナルモノニ改メ附則本法ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス本法ハ大正十年十二月三十一日マテ其效力ヲ有ス現行ノ律令ハ勅令ヲ以テ之ヲ抵觸スル規定ヲ爲スモノ、外其效力ヲ存ス修正ノ案ハ唯今申上ゲタヤウナ次第デアリマス、ツマリ其趣旨ハ一面ニ於テ憲法ノ精神ヲ尊重シ他面ニ於テ實際ノ便益ニ妨ケナカラント期スルノデアリマス、唯今マデ贊否兩様ノ御方ガ種々議論セラレマシタル意見ヲ折衷シタデアリ

○議長(島田三郎君) 通告ガアリマス——加瀬禮逸君

(加瀬禮逸君登壇)

○加瀬禮逸君 諸君、私ハ本案ニ對シマシテ修正ヲ致シタイノデアリマス、其修正ハ先刻委員長ニ依テ御報告サレマシタデアリマスガ、此ニ念ノ爲ニ其修正ノ條文ヲ申上ゲマス、明治三十九年法律第三十一號中左ノ通り改正ス第一條中事項ヲ事項ニシテ臺灣ニ特別ナルモノニ改メ附則本法ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス本法ハ大正十年十二月三十一日マテ其效力ヲ有ス現行ノ律令ハ勅令ヲ以テ之ヲ抵觸スル規定ヲ爲スモノ、外其效力ヲ存ス修正ノ案ハ唯今申上ゲタヤウナ次第デアリマス、ツマリ其趣旨ハ一面ニ於テ憲法ノ精神ヲ尊重シ他面ニ於テ實際ノ便益ニ妨ケナカラント期スルノデアリマス、唯今マデ贊否兩様ノ御方ガ種々議論セラレマシタル意見ヲ折衷シタデアリ

○議長(島田三郎君) 通告ガアリマス——加瀬禮逸君

(加瀬禮逸君登壇)

○加瀬禮逸君 諸君、私ハ本案ニ對シマシテ修正ヲ致シタイノデアリマス、其修正ハ先刻委員長ニ依テ御報告サレマシタデアリマスガ、此ニ念ノ爲ニ其修正ノ條文ヲ申上ゲマス、明治三十九年法律第三十一號中左ノ通り改正ス第一條中事項ヲ事項ニシテ臺灣ニ特別ナルモノニ改メ附則本法ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス本法ハ大正十年十二月三十一日マテ其效力ヲ有ス現行ノ律令ハ勅令ヲ以テ之ヲ抵觸スル規定ヲ爲スモノ、外其效力ヲ存ス修正ノ案ハ唯今申上ゲタヤウナ次第デアリマス、ツマリ其趣旨ハ一面ニ於テ憲法ノ精神ヲ尊重シ他面ニ於テ實際ノ便益ニ妨ケナカラント期スルノデアリマス、唯今マデ贊否兩様ノ御方ガ種々議論セラレマシタル意見ヲ折衷シタデアリ

マス、唯今マデノ御議論ニ依テ紹介セラレタル通りデアリマスガ、三十九年ノ法律第三十一號ハ其第一條ニ於キマシテ、臺灣ニ於テ法律ヲ要スル事項ハ臺灣總督ノ命令ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ得ト宣明セラレデアリマスノデ、臺灣ニ於ケル立法事項ハ舉ゲテ之ヲ臺灣總督ノ手ニ委セテアルノデアル、之ヲ即チ委任立法變例立法ト稱シマシテ、從來帝國議會其他學者間ニ於キマシテ論議ノアリマシタ點デアリマス、此臺灣總督ニ律令制定權ヲ付與スルコトノ可否ニ付キマシテハ、憲法上ノ疑義トモテ、論議ヲ交サレタ點デアリマス、現ニ此法ノ前身デアリマシタ明治二十九年法律第六十三號ヲ制定スル當時ニ於キマシテハ、憲法違反ナリトマデ絶叫セラレタコトハ諸君ノ承知セラル、通リデアリマス、併ナガラ臺灣總督ノ此處ニ論議セラレタル一節モアリマスノデ、私ハ今日ニ於キマシテ此委任立法ハ憲法違反ナリトハ斷言ハ致シマセヌケレドモ、少クモ憲法ノ本則ニ合セザルトコロノ變例ノ立法デアルト云フコトハ何人モ疑ハヌ點デアラウト思ヒマス、サレバ二十九年ニ於テ六十三號ノ制定セラレル當時ニ於キマシテモ、帝國議會ハ此法律ノ成立ヲ喜シテ迎ヘテハ居ラヌデアリマス、臺灣領有日淺ク幾多ノ施設ニ於テ直ニ帝國議會ノ立法ニ俟ツベカラザル事情アリトシテ、此ニ變例立法ノ途ヲ開イタデアリマス、即チ此有效期間ナルモノヲ限定シテ二年ト云フ當初ノ期間ヲ定メマシタノモ實ハ此法律ノ成立ヲ餘リ喜バザルガ故ニ、此二年ノ期間滿了ノ曉ニ於テハ出來得ベシハ之ヲ憲法ノ本則タル帝國議會ノ立法ニ俟タウト云フ意思デアタラウト推測スルノデアリマス、然ルニ其後ニ於キマシテ臺灣統治ノ實情ハ、未ダ以テ直ニ此臺灣總督ニ對スル委任立法ヲ廢止スルノ事情ニ適シマセヌガ故ニ、二年二年又二年、五年五年又五年ト云フ如クニ繼續シ來テ今日ニ至ラタデアリマス、若シ憲法精神ヲ尊重スルト云フ理論一片ニ走ルナラバ、此法律ハ今日廢止スベシト論ゼラレノガ相當デアルカモ知レマセヌケレドモ、併ナガラ臺灣統治ノ實情ハ當局者等ニ付テ承レバ、未ダ俄ニ此法律ヲ撤廢シテ臺灣總督ニ附與スル委任立法權ヲ取上グルニ適シテ居フスト思フデアリマス、此ニ於テ私ガ即チ此修正ヲ出シタル次第デアリマシテ、一面カラハ憲法ノ精神ヲ尊重シ他面ニ於テハ臺灣統治ノ局ニ當ル人ノ實際上ノ便宜ヲ害セザラント苦心シタデアリマシテ、兩々相俟ツテ臺灣ノ治績ヲ舉ゲタイト云フ趣旨ニ外ナラヌデアリマス、唯茲ニ一言附加シテ置キマスルノハ事項ニシテ臺灣ニ特別ナルモノト云フノハ甚ダ茫漠タル文字デアラ、實際ニ於テハ此法律ニ改正ヲ加ヘザルト同シ結果ヲ來スデハナイカト危ム者モアルカモ知レマセヌ、文字ノ上ヨリノミズレバ左様ニ見エマス、併ナガラ臺灣ニ於キマシテハ内地ノワレトハ大ニ民情風俗ヲ異ニ致シテ居リマスノミナラス、其他慣習等ニ於テモ餘程違テ居ルデアリマスカラ、是等ノモノニ付テ一々具體的ニ是レノ事項ニ付テハ臺灣總督ニ於テ法律ヲ制定シテモ宜イト云フ如キ規定ハナカノムツカシイデアリマスルガ故ニ、之ヲ臺灣總督ノ裁量ニ委セテ、サウシテ臺灣總督ヲシテ能ク憲法ノ精神ヲ存スルコトコロニ省ミセシメテ、此法律制定ノ精神ニ考慮ヲ廻ラシ來ラシメテ、實際ニ於テ臺灣ニ特種ノ事情ノアル事項デアリ限リハ、之ヲ帝國議會ノ立法ニ俟ツヤウニト云フ風ニ所謂立法ノ改善ヲ期シタイト云フ趣意デアリマス、一例ヲ言ヘバ匪徒刑罰ノ如キ民事爭訟調停ノ如キハ、是ハ内地ノモノトハマルテ違タ方法ヲ執テ居リマスルガ、彼ノ臺灣ニ對シテ之ヲ施行スルハ最も其當ヲ得タデアリマシテ、是等ハ所謂特別ナル事項ナルモノニ該當スル一ツデアリマス、其他教育制度ニ致シマシテモ内地ノ如ク強ク法制教育ヲ布カストカ、或ハ租稅徵收方法等ニ付テモ便宜ノ規定ガ存スルヤウデアリマスルガ、是等ガヤハリ特別ノ事項ノモノトシテ之ヲ臺灣總督ノ裁量ニ委セテ置イテ差支ナイト思フ、斯ウ言フト又斯様ナ御疑ヲ懷クカモ知レヌ、臺灣總督ノ自由裁量ニ委セルト云フタナ

ラバ、此條文ノ臺灣ニ特別ナルモノト云フ意味ガ分ラヌガ故ニ、臺灣總督ハ是モ臺灣ニ特別ナルモノ、彼モ臺灣ニ特別ナルモノデアルト云フノデ、結局帝國議會ノ立法ニ俟ツヤウナモノハ無クナシマデハナイカ、斯様ナ御疑ヲ挾ム場合ガアルデアラウト思ヒマスルガ、併ナガラ臺灣總督ト雖モ憲法ノ精神ヲ奉戴シ法律ノ主義ヲ尊重シテ、能ク憲法ニ合シ法律ニ適合スル政治ヲ布カント努メテ居ララウト思フ、偶々自己ニ自由裁量ナル權利ヲ濫用シテ、臺灣ニ於テハ臺灣ニ特別ナラザル事項一モ無シト云フガ如キ橫暴ナル舉動ヲ爲ス者ハアリマス、若シコレス様ナコトヲ致シマスレバ、其時ニハ帝國議會ノ有スル監督權ニ於テツクナ者ハ戒飭シ、或ハ戒首スルコトモ出來ナイコトデアリマセヌガ、斯ノ如キ者ハナイト思ヒマス、法律ヲ制定スルニ當リマシテ惡シキ人間ガ出タラバドウシヤウト云フコトヲ願フセシテ、寧ろ適當ニ憲法及ビ法律ノ精神ヲ酌シテ、政府ヲ爲ス心善キ臺灣總督ガアルト云フコトヲ豫期シテ立法ヲスルノガ相當デアラウト思ヒマシテ、此點ハ臺灣總督ノ善意ナル自由裁量ニ委セルト云フ趣意ニ於テ此規定ヲ致シタデアリマス、附則ノ第一第二共第一條ノ改正ノ結果デアリマシテ、現行ノ律令ガ本年十二月末日ヲ以テ其效力ヲ失ヒマスルガ故ニ、施行期日ヲ明年一月一日ヨリト定メタデアリマス、第三項ハ此法律施行ノ結果トシテ曩ニ出シタル律令ノ效力ガ如何ニナルカト云フコトヲ氣遣フ場合ガアルト考ヘマシテ、之レ等ノ律令ヲ勅令ニ於テ此法律ト抵触スル規定ヲ置カヌ限リハ、依然トシテ其效力ヲ存スルト云フ趣意ニ致シタデアリマス、要スルニ憲法ノ精神ニ適ヒ、而シテ立法院ノ權威ヲ保チ、他面ニ於テ臺灣統治ノ實際ノ事情ヲ斟酌シタル穩健ナル修正ト思考致シテ居リマスルノデ、願クバ贊否兩様ノ論者ニ於レマレテモ再考ノ上、此案ニ御同意ヲ表セラレムコトヲ望ミマス

(拍手起立)

○議長(島田三郎君) 唯今加瀬君ノ說明サレマシタ修正說ハ、定規ノ贊成ヲ得テ提出サレタデアリマス、依テ議題トシテ成立シテ居リマス

○法學博士花井卓藏君 議長、贊成演說ヲ致シタウゴザイマス
○議長(島田三郎君) 花井卓藏君

(拍手起立)

○法學博士花井卓藏君 諸君、私ハ唯今加瀬君ヨリ提出ニ相成リマシタル修正案ハ政府ノ面目ヲ害セズ、衆議院ノ面目ヲ害セズ、而シテ立法上ノ威信ヲ保ツ上ニ於テ最も其當ヲ得タルモノト信ズルデアリマス、委任立法ニ關スル沿革ハ第一次ノ歴史ト致シマシテハ違憲論デアリマス、即チ憲法違反論時代デアリマス、第二次ノ歴史ト致シマシテハ疑義論デアリマス、憲法上ノ疑義アリト唱道セラレタル時代デアリマス、併ナガラ明治二十九年ヨリ致シマシテ二十年間ノ久シキニ互リマシテ、總テノ政府皆ナ之ヲ是認致シテ居リマスカラシテ、憲法上ノ爭議ト致シマシテハ學問上ニハ長ヘニ貽ルベキ次第デゴザイマスルガ、政治問題トシテハ黨派ノ如何ニ拘ラズ悉ク一悉ク此例ニ則ラレテ居ル、二十年ノ歴史ヲ有シテ居ルノデゴザイマスカラ、此處ニ於テ憲法違反論モ憲法疑義論モ論ズルノ價甚ダ在ラリテ而モ政治問題トシテ議場ノ勝敗ニ於テ得ル所至デ乏シキ問題トナツテ居リマスカラ、本員ハ是ハ今日述ブルコトヲ致サヌデアリマス、今記録ニ依リテ沿革ノ跡ヲ尋ネテ見マスルト、明治二十九年伊藤内閣ノ時代、明治三十二年山縣内閣ノ時代、是ハ政友會ト山縣内閣ト妥協セラレタ時代デアリマス、明治三十五年ノ桂内閣、明治三十九年ノ西園寺内閣、原君時ノ内相タリシ時代デアリマス、明治四十四年ノ桂内閣時代デアリマス、斯ノ如クニ總テノ内閣ガ之ヲ是認シテ常ニ委

任立法ノ下ニ臺灣ニ於ケル法律の關係ト云フモノヲ整理シ來テ居タト云フコトハ
爭ノナイ事實デアリマス、故ニ多クコトハ申シマセヌガ、松田源治君ガ委員會
竝ニ本議場ニ於テ論争セラレタル點ハ、變レバ變ルモノデゴザイマシテ、本員ガ違憲論
時代ニ始終唱ヘタル所デアツテ、而モ其論ニ始終反對セラレタル所ノ方ガ、即チ松田君
一派ノ人ミデアツタデアリマス、併シ問題ハ誰ガ何ト申シマシテモ内閣ガ如何様ニ代リ
マシテモ貽レベキ問題ハ何處々々デモ貽ルノデアリマス、長ヘニ貽ルノデアリマス、唯政
治問題トシテ之ヲ講究スル場合ニ於キマシテハ、理論ノ迎ヘラレザル——純理ノ迎ヘラ
レザル今日ニ於テハ比較的理論ニ近キ途ヲ歩ムノ外ハナイト私ハ信ズルノデアリマス、ツ
レニ満足スルノ外ハナイト思フノデアリマス、偶々加瀬君ノ此案ヲ見マスル所ノ意見ノ
全部ヲ満足スルニ參リマセヌケドモ、政府案ヲ九吞ミニスルニ比シテ益スル所大ナリト
思フノデアリマス、部分的ニハ委任ノ變例ニヨリ部分的ニハ憲法ノ本則ニ歸ルノ主旨ニ
於テ修正セラレテ居ルノデアリマス、修正ハ最も大切ナル裁判ニ關スル事項デア
アリマス、而モ此裁判ヲ運用スル所ノ法規ハ内地ト同ク今日現ニ大部分ガ臺灣ニ
行ハレテ居ルノデアリマス、修正案ハ之ヲ收メント欲スルノデアリマス、事ニ害ナキノミナ
ラズ、一步一步理論ニ近付ク所ノ途ニ相成ツテ居ルノデアリマス、贊成論者ニ於テ勿
論異議アルベキ點ナク、反對論者ニ於キマシテモ此修正ニ異議アルベキ理由ハナイト信
ズルノデアリマス、況ヤ此案ハ臺灣ニ在任セラル、所ノ法曹ノ大部分ガ日本辯護士
協會ニ謀ラレ、協會又之ヲ諒トシテ此處ニ提出セラレタル趣旨ナリト承テ居ルノデア
リマス、斯様ナ次第デゴザイマスカラ此案ハドウシテ滿場一致ヲ以テ御可決下サランコトヲ
切望致シマス、尙一言此ニ致シ置クベキ點ガゴザイマス、委任ノ立法ト云フコトニ付テ
極メテ——極メテ狹イ解釋ヲ執ルト云フコトハ吾々ハ爲スノ必要ハナイト認メテ居ル
ノデアリマス、立法ノ機能ヲ委任スル、委任シタ以上ハ本則ハ是ガ爲ニ阻却セラレテ
自ラ立法ヲ爲スノ機能ナキノデアアル、斯様ニ狹ク解釋スル必要ハナイノデアリマス、私
ハ立法部ノ面目上、解決ノ途ハ幾ツモアルト思フ、其一ツトシテ吾々ハ憲法ノ常則ニ
基キテ限地的ニ特別的ニ臺灣ニ立法ヲ爲スベキ必要ガアル、若クハ現ニ行ハレテ居ル所
ノ律令ヲ改廢スルノ必要ガゴザイマシタナラバ、委任アルノ爲メノ故ニ帝國議會ノ有スル
當然ノ立法權ト云フモノハ遮ラレテ次第デハナイノデアリマスカラ、此議場ニ於テ幾ラデモ
出シ得ルノデアアル、私ハ此途ヲ執ツテ精神のニ委任立法ノ實ヲ帝國議會ニ收ムルト云フ
コトモ一ツノ方法デアラウト思フ、委任立法一度行ハレバ帝國議會立法ノ機能全然
制讓セラレタルモノデアアルカノ如キ感ヲ懷ク必要ハアリマセヌ、委任ハ何處デモ委任デア
ル、制讓デハナイ、現ニ政府ニ於キマシテモ往年臺灣ノ巡查看守ノ恩給ニ關スル法律
案ヲ提出セラレタルコトガアル、私此壇ニ於テ曰ク、立法委任ノ權限ヲ有シテ居リナガラ
内地ニ於テ行ハレテ居ル所ノ法律ニ基ク關係ニ於テ、新タニ此立法ヲ爲スト云フコトハ
如何ニモ委任セラレタル所ノ範圍ヲ自ラ棄アルト云フ嫌ナキノ非ラズヤト云フ議論ヲシタ
コトガゴザイマス、半ハハ是レ委任、半ハハ是レ本則、政府者ノ答辯要領ヲ得ナカッタノ
デアリマス、既ニ半ハハ是レ本則、半ハハ是レ委任ト云フカ如クニ行ハレテ來テ居ルノデ
アリマスカラシテ、一步ヲ進メテ總テ本則ニ立戻ラシメテ、常ニ臺灣ニ關スル所ノ限地
立法、特別立法ヲ此議場ニ於テ爲シテモ差支ハナイノデアリマス、委任ノ爲ニ阻却セラ
ルベキ理由ハ全然ナイノデアリマス、是ガ私ハ衆議院ノ面目ヲ保ツ上ニ於テ必要ナリト
信ジマス、理屈ハ種々竝ベラレケドモ、二十年間未ダ曾テ自ラ特別立法、限定立
法ヲ爲シタコトハナイデヤナカ、臺灣ノ事情ニ通ゼザルノ故ヲ以テ本則トシテ、立法權
ヲ議會ニ行ハナカッタト云フ趣旨ニ是ガ證明ノ料トナッタナラバ吾々ハ如何ナル答ヲ爲シ

得ラル、デアリマセウカ、臺灣ノ研究ガ十分ニ吾々ハシナケレバナリマセヌ、而シテ法律制
度ニ關スル研究ハ立法部トシテ特ニ之ヲシナケレバナラヌデアアル、此研究ノ結果ヲ法
上ニ現ハシテ獨立の立法ヲ爲シテ委任立法ノ範圍ヲ自然々々ニ縮メテ行ク、或ハナキ
ニ歸セシムル、名ニ於テ讓テ實ニ於テ收ムルト云フ效果ヲ得ネバナリマセヌ、是ガ一ツ
ノ方法デアルト私ハ信ジテ居ル、將來ハ此意味ニ於キマシテ臺灣ノ立法ノ監視ヲ怠ラナ
イヤウニシタイト思フノデアリマス、而シテ本案ハ其大ナル部分ニ於テ、重要ナル部分ニ於
テ臺灣ノ統治ニ妨ゲナキ部分ニ於テ之ヲ收メントスル法案デゴザイマスカラシテ、毫モ不
可アルヲ見ズト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、此機會ニ於テ尙一言致シタイコトガアルノ
デアリマス、右様ノ意見ヲ有ッテ居リマスガ故ニ成ルベク此立法部ノ有スル立法權ノ權
威ト云フモノハ吾々ニ於テ尊重スラヌト云フ觀念ヲモ貯ヘテ置カケナラヌト思フノデア
リマス、自ラ侮人ノ之ヲ侮ルカラデアアル、本案ノ決議ニ付キマシテ希望條件ト云フモノガ
付テ居ル、希望條件ト云フモノハ法律上ノ意味ニ於テ如何ナル效果ヲ有スルモノデア
カト云フコトヲ私ハ感ズルノデアアル、財政問題ニ付テ警告條件ガアル、立法問題ニ付テ
希望條件ガアル、財政問題ニ關スル警告條件或ハ時ニ效用ヲ爲スナラン、然レドモ立法
問題ニ於ケル希望條件ハ法律上何ヲ意味スルモノデアアルカ、本員ハ頗ル感ズルデア
ル、希望スベキ條件ガアルノナラバ之ヲ法文ニ現シテ宜シイデアアル、法文ニ現ハサル希望條
件ハ法律上無效果無拘束ノ希望條件デアアル、無效果無拘束ノ希望條件デアラバ
法律上條件デアリト云フコトニナルノデアアル、何ヲ苦シデ——何ヲ苦シデ之ヲ法文ノ上ニ
現ハサヌノデアアル、又輕キ意味ニ於テノ希望條件トシタナラバ、建議デモシテ希望ナリ注
文ナリフスルガ宜シイ、建議案ニ依リテ目的ヲ達シ得ラルベキノデアアル、所謂希望條件
ハ輕キ意味ニ於テ建議案トナリ得ル、又重キ意味ニ於テハ法律ニ現スニ若クハデアアル、
然ラザレバ效果ヲ奏シ得ラレナイ筈ノモノデアアル、希望條件類ノ流行ノ時代デアリマス
ガ、立法ニ條件ヲ附スル、立法ニ希望セラレタル條件ヲ附スルト云フ如キニ至リマシテハ
私ハ甚ダ遺憾ニ堪ヘヌ、併ナガラ是ニハ政府モ拘束セラレズ、吾々モ拘束セラレズ、
希望條件ニ背イタカラト云フテ何等ノ制裁力ハナイノデアリマスカラ、附ケタ所ガ役ニ立
タヌ、附ケラレタ所ガ役ニ立タヌ、ソレ故ニ之ニ向ツテ論難攻撃シテモ役ニ立タヌコトモ
知ツテ居ル、唯ソレ斯ノ如キ役ニ立タヌヤウナ決議ニ満足スル、ソレガ面白クナイ、其
上ニ委任ハ直ニ制讓ナリト解釋シテ二十年間一モ衆議院ガ獨立セル臺灣ニ於ケル立
法ヲ爲シタル事實ガナイト云フヤウナ點ニ思ヒ及ボシマシタナラバ、寧ロ吾々ハ汗顔ノ至
堪ヘヌノデアアル、是等ノ邊ハ十分ニ御研究ヲ願ヒタイ、序ニ申シテ置ク、免ニモ角ニモ此
處ニ一ノ特別立法ヲ加瀬君ニ依ツテ提出セラレテ居ルノデアリマスカラ、是ガ前提トナ
テ將來——將來委任ハ即チ委任ナリ、原則ハ例外ノ爲ニ阻却セラレベキノニ非ズ、由
來帝國議會ハ隨意ニ臺灣ノ爲ニ立法ヲ爲シ得ベシト云フ先容ト爲サンガ爲ニ、私ハ此
案ニ贊成ヲ致ス次第デアリマス、少クモ希望條件ヲ決議シテマデモ御許シニナル方
ハ、加瀬案ハ希望條件ヲ最も有效ニ法文ノ上ニ現ハシタルモノデゴザイマスカラ、御贊
成下サルニ於テ極メテ好都合デアラウト信ジマス、是ダケノ意見ヲ述ベテ贊成ノ意ヲ表
明致シマス

(拍手起ル)

○小泉又次郎君 私ハ遺憾ナカラ唯今加瀬君ノ提案ノ修正說ニハ、反對ノ意ヲ表ス
ル者デアリマス

○議長(島田三郎君) 御説明ガ長ケレバ登壇ヲ望ミマス

○小泉又次郎君 簡單デアリマスカラ自席デ御許シヲ願ヒマス、法律ニ最も經驗ヲ有

萬國聯合條約罰則改正法律案、一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、田中省三君

第二 郵便法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 鐵道船舶郵便法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 電信法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 海底電信線保護萬國聯合條約罰則改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

(田中省三君登壇)

○田中省三君 諸君、私ハ郵便法中改正法律案、鐵道船舶郵便法中改正法律案及電信法中改正法律案、海底電信線保護萬國聯合條約罰則改正法律案ノ此四案ヲ同一ノ委員ニ一括シテ付託サレマシタニ依ッテ、便宜上本員モ此四案ヲ一括シテ御報告申シタイと思ヒマス、本案ハ委員會ニ於キマシテハ逡巡大臣及政府委員モ出席サレマシテ、質問應答ヲ重テ慎重審議ノ結果政府ノ原案通り改正ノ必要アリト認メマシテ、委員會ニ於キマシテハ可決致シマシタ、簡單ニ御報告申上ゲマス、本案ハ四案共ニ貴族院ノ送付ニ係ル案件デゴザイマシテ、願クハ本議會ニ於キマシテモ可決アラムコトヲ希望致シマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 別ニ發議ガナイト認メマス、郵便法中改正法律案、之ニ付テ決議ヲ採リマス、二讀會ヲ開キマス、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ナイト認メテ二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略致シマシテ、委員長ノ報告ノ通り可決確定セラレムコトヲ望ミマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ第二讀會ヲ開キマス

郵便法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○議長(島田三郎君) 御異議ガアリマセヌカラ、委員長報告通り二讀會ヲ省略シテ可決確定致シマス、次ニ鐵道船舶郵便法中改正法律案、之ニ付テ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ、二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○福田又一君 直ニ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シ委員長報告ノ通り可決確定セラレムコトヲ望ミマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ナイト認メマス、直ニ二讀會ヲ開キマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ議ニ御異議ナイト認メマス、直ニ二讀會ヲ開キマス

セララル加瀬君ノ提案ニ依リ、法學博士トシテ花井君ガ贊成ノ御演說ヲセラレタノデアリマス、此法律案ノ提案博士ノ贊成演說ニ向ヒマシテ、私ガ反對スルト云フコトハ甚ダ遺憾ニ思フト同時、大ニ光榮トスル次第デアリマス、唯今加瀬君ノ提案ノ理由竝ニ花井君ノ贊成ノ御演說ノ御趣旨ハ謹シテ拜聽致シマシタ、其趣旨ニ付キマシテハ大體ニ付テ反對スルデアリマセヌ、或ル一部ニ付テハ贊成ヲ表スルデアリマス、サリナガラ現時ノ臺灣ノ人情風俗慣行等ニ照ラシマシテ、時期未ダ早シ一尙早シト云フノ考ヲ以テ唯今ノ提案ニ反對スルノデアリマス、其理由ト致シマシテハ二讀會ニ於キマシテ一讀會ニ於キマシテ古屋君齋藤君カラ審ニ辯明サレタル理由ヲ以テ反對スルデアリマス、是ガ反對ノ理由デアリマス

○廣岡宇一郎君 本員モ加瀬君ノ修正說ニ贊成ノ意ヲ表シマス、其理由ハ加瀬君竝ニ花井君ノ御說ヲ牽用致シマス、小泉君ノ御說論ハ格別之ヲ辯駁スルダケノ光榮ヲ能ウ有シマセヌ

○福田又一君 討論終結ノ動議ヲ出シマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ採決致シマス、採決ノ順序ハ加瀬君ノ修正說ガ第一デアリマス、第二ガ委員長ノ報告デアリマス、御異議ガナケレバ起立ニ致シマスルガ、若シ御異議ガアレバ……

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) ツレハハ起立ニ問ヒマス、加瀬君ノ修正說ニ贊成セララル諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(島田三郎君) 少數デアリマス——少數デアリマス、加瀬君ノ修正說ハ否決セラレマシタ、次ニ委員長ノ報告ヲ採リマス、委員長ノ報告ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 多數デアリマス、委員長ノ報告通り決シマシタ

○福田又一君 直ニ第三讀會ヲ開クコトヲ望ミマス

○議長(島田三郎君) 福田君ノ三讀會ヲ開クコト云フノニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ直ニ三讀會ヲ開キマス

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案 第三讀會

○議長(島田三郎君) 三讀會ヲ直ニ開キマシタ

○福田又一君 第二讀會決議ノ通り御決定アラムコトヲ望ミマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 福田君ノ說ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ二讀會決議ノ通り、即チ委員長報告通りニ可決確定致シマシタ——次ニ移リマス、日程第二ヨリ第五ニ至ルノ法案、是ハ同一委員ニ付託シタルモノデアリマス、一括議題ニシタイト思ヒマス、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ハナイト認メ一括議題ト致シマス、即チ郵便法中改正法律案、鐵道船舶郵便法中改正法律案、電信法中改正法律案、海底電信線保護

テ、是以上ノ銀行ハ多々ゴザイマスケレドモ、此銀行ノ一ツ、即チ農工債券北海道拓

へハ、明治四十四年以前ノ軍人ハ恩給ヲ増額ヲ受ケル權利ハ毛頭有テ居ナイ、此際
十四年ノ境トシテ前ノモノハ少ナクシテ後ノモノガ多イト云フノハ公平ヲ得ナイト云フコ

トテ、四十四年以前ノ退職軍人ハ恩給ヲ増加シテヤラル、以上ハ、四年タゞ使ヒ一文モ拂ハズ強制開墾、サウシテ現役ニ服セシメタ所ノ此屯田歩兵ニ對シテ、法律ヲ以テ一定ノ額ヲ救済セラル、ト云フノ當然アルト云フ論アリマシタ、其結果中西君ヨリ修正案ガ出マシテ、原案デハ幾分カ多イカモ知ラヌガ、修正案ナラ相當ノ額アルト云フテ甚ダ條理ニ適フ御意見ガアリマシテ、其採決ノ結果多數ヲ以テ中西君ノ修正案ガ通過シタノデアリマス、其修正案ハ諸君ノ御手許ニ同ハシテアリマス通り、第二條ヲ一箇月金二圓七十錢ト云フコトニ改メマシテ、之ヲ二ツニ分ケテ初メノ二箇年——四年ノ現役ノ初メノ二箇年ヲ一箇月金一圓六十五錢、後ノ二箇年ヲ一箇月金五十二錢五厘ノ割合デ屯田歩兵ニ給スルト云フコトガ、委員會ニ於テ決定ニナッタノデアリマス、此段御報告致シマス

○議長(島田三郎君) 此他ニ少數者意見ノ報告ガアッタノデアリマス、之ヲ印刷シテ御手許ニ同付シテ置キマシタガ、是ハ提出者ヨリ撤回致サレマシタカラ、其事ヲ御報告致シマス

〔政府委員加藤政之助君登壇〕

○政府委員(加藤政之助君) 本案ニ對スル政府ノ意見ヲ此際言明致シテ置キマス、北海道屯田兵過去ノ權利ニ付キマシテハ、政府ハ法律上給與ノ義務ナキモノト確信致シテ居ルノデアリマス、故ニ此法案ニハ反對致シマス

〔報告トサツバリ違フ〕「一向分リマセヌ、モウ一遍願ヒマス」「分リマシタ」「分リマセヌ」等ノ聲起ル

○福田又一君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○加藤彰廉君 簡單デゴザイマスカラ此席カラ申シマス、原案ヲ提出シタル請願委員會ノ事ニ付テチヨット申上ケマスガ、私ハ政府ニ於キマシテ從來ノ如ク本案ニ對シマシテ反對意見ヲ固執スルナラバ、請願委員會ハ原案ヲ飽迄主張スル意見デアリマス、然レニ此特別委員會ニ於キマシテ政府當局ト委員會ト應答、シカモ熱烈ナル質問應答ノ末ニ、政府ハ從來ノ偏見ヲ捨テ、本案ノ修正ヲ、即チ屯田兵ヲ救助スルト云フコトハ大ニ同情ヲ寄セテ居ルト云フ傾ガ見エタノデアリマス、其故ニ請願委員會ハ修正トシテ提出ニナッタノデアリマス、扶助金額ノ多少ノ點ニ付テハ強イテ原案ヲ固執スルノデ無イノデアリマス、併ナガラ唯今政府委員ノ答辯ノ如ク、單ニ反對ト云フ事ノモノ御説明デアリマシテ、此件ニ付キマシテハ同情ヲ以テドウシテ救助スルト云フヤウナ意志ガ毛頭ナイヤウニ見エマスガ、然ラバ私ハ請願委員會トシテ原案ヲ主張スルノデアリマス、若シ政府ガ之ニ大ニ同情ヲ有スルト云フ意志ガアルナラバ、修正ニ贊成スルデアリマスガ、私ハ再ヒ政府委員ノ御答辯ヲ得タイと思フノデアリマス

〔早川龍介君委員長報告通り贊成〕ト呼フ

○岩本平藏君 唯今政府委員トシテ大藏省ノ加藤參政官ガ反對ノ御演説ガアリマシタガ、本問題ハ屯田兵ニ關スル問題デゴザイマスノデ、陸軍當局者ノ御意見ヲ吾々ハ聽キタイと思ヒマスガ、幸ヒ政府委員席ニ居ラル、ヤウデアリマスカラ、陸軍當局ノ所見ヲ承リタイ

〔政府委員隈德三君登壇〕

○政府委員(隈德三君) 法律ニ反對ナルコトハ唯今大藏省加藤政府委員ヨリ言明セラレタト同様ノ考ヲ有テ居リマス、コレト同時ニ半面ニハ同情スベキ點、即チ現役二年ヲ俄ニ七年ニ延期シタト云フコトニ付テノ同情ハ、能ク認メテ居リマス、是ダケノ事ヲ申上ゲマス

○議長(島田三郎君) 別ニ御發議ハ無イト認メマス、第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ガ無イト認メマス、依テ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○福田又一君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略致シマシテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ト聲起ル

○議長(島田三郎君) 福田君ノ唯今ノ御發議ハ直ニ二讀會ヲ開イテ二讀會ヲ省略スルト云フノデスカ——直ニ二讀會ヲ開キマス

元屯田歩兵扶助ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

○議長(島田三郎君) 御發議ガアリマセヌカラ二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定スルコトニ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○福田又一君 此場合ニ於テ日程ヲ變更致シタイ考デアリマス、議題ニ供セラレタイ案ハ、第二號大正四年度歲入歳出總豫算追加及特第二號大正四年度各特別會計歳入歳出豫算追加、コレニ又次ニ高等試驗法案此法案ニ關聯致シマシテ裁判所構成法中改正法律案、此四案ヲ議題ニ供セラレンコトノ緊急動議ヲ提出致シマス

〔贊成々々〕ト聲起ル

○議長(島田三郎君) 唯今ノ緊急動議ニ御異議アリマセヌカ

○伊東知也君 私ハ反對ヲ表スルモノデアリマス、御覽ノ通り幾ト定足數ヲ缺カガ如キ斯ノ如キ寂寥タル此議場ニ於テ、此重大ナル問題ヲ議リシ去ラントスルハ不當ト思ヒマス、願クハ日ヲ更メテ十分慎重審議、斯ウ云フ重大ナル案ハ議サナケレバナラス、恐ラクハ能ク調ベタラ足定數ヲ缺イテ居ル、斯ウ云フ場合ニ緊急動議ヲ出シテ多數ヲ得ンデ斯様ナ重大問題ヲ議決スルト云フコトハ、多數黨ノ橫暴ト言フデ宜シイ、絶對ニ反對デアリマス

○議長(島田三郎君) 定足數ハ缺イテ居ラヌト思ヒマス、併シ伊東君ニ贊成ノ御方ガアレバ起立ニ問ヒマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○古屋久綱君 唯今福田君ノ御提議ヲモウ一遍、能ク分リマセヌカラ伺ヒタイ、追加豫算ノ何デス

○議長(島田三郎君) 福田君唯今ノ答辯ハ如何デス

○福田又一君 何デスカ、チヨット

○議長(島田三郎君) 能ク理解ガ出來ナイカラ、古屋君ガモウ一度聽キタイト云フコトデ

○古屋久綱君 追加豫算ハ何ノ追加豫算デアリマスカ

○福田又一君 唯今報告ニナツテ居リマスガ、尙ホ内容ヲ知リタイノデアレバ申上ゲマス(一昨日日出テ居リマス)「一昨日ノ文書閣ニチヤーント這入テ居リマス」ト呼フ者アリ(併シ之ヲ一々此所テ朗讀スルノハ大變デアリマスガ、斯ウ云フノデアリマス、大正四年度歳入歳出總豫算追加、大正四年度歳入歳出總豫算追加トシテ計上スル所ノ金額ハ、歳入三百萬圓、歳出四百八十七萬六千九百二十六圓ニシテ、其追加ヲ要ス

ル事項左ノ如シ、ソレハ御承知デアラウト思ヒマス、ソレカラ 特第二號ハ斯様モノデア
リマス、各特別會計豫算第一條大正四年度内務省所管朝鮮總督府、朝鮮醫院及
濟生院、臺灣總督府大藏省所管造幣局、帝國鐵道 文部省所管京都帝國大學ノ
各歳入歳出追加額、及其款項ノ金額ハ別冊甲號歳入歳出豫算ニ據ルヘシ、第二條
大正四年度歳出豫算追加中、別冊丙號所掲ノ費途ハ年度末支出殘額ヲ翌大正五
年度ニ繰越使用スルコトヲ得ト云フ此法案デアリマス

〔分リマシタ〕ト呼フ者アリ
○議長(島田三郎君) 伊東君ニ賛成ガアルナラハ起立ニ問ヒマス

〔宜シイ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ナイト認メテ福田君ノ説ノ通り……

○伊東知也君 反對ニ賛成ガアリマス

○議長(島田三郎君) アリマス

○伊東知也君 アリマス

〔採決ヤ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 特ニ採ラナイデモ日程變更ノ可否ヲ採リマスレバ、日程變更
シテ宜イト云フコトニナレバ伊東君ノ説ハ消エマス、福田君ノ日程變更ノ説ニ同意ノ諸
君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 多數デアリマス、日程ハ變更セラレマシタ、第二號大正四年
度歳入歳出總豫算追加案、及ビ特第二號大正四年度各特別會計歳入歳出豫算
追加案、之ヲ議題ト致シテ委員長ノ報告ヲ求メマス 山根正次君

第二號 大正四年度歳入歳出總豫算追加

特第二號 大正四年度各特別會計歳入歳出豫算追加

〔山根正次君登壇〕

〔拍手起ル〕

○山根正次君 豫算總會ノ結果ヲ報告ヲ致シマス、第二號大正四年度總豫算追加
案、及ビ特第二號大正四年度各特別會計豫算追加案ヲ議題ニ供シ審査ヲ致シマシ
タ、豫算追加トシテ計上スル所ノ歳出總額ハ四百八十七萬餘圓ニシテ、其内重ナルモ
ノハ經常部ニ於テ臨時第三十六回帝國議會開會ノ爲メ、議員諸君ニ不足ヲ生マル
モノ是レガ二十六萬五千餘圓、海外電報增加ニ伴フ海外信支拂金ノ不足額金六十
四萬八千餘圓、年金及恩給增加ガ二十五萬餘圓、臨時部ニ於テ栃木縣ニ於ケル昨
年八月以降十月ニ至ル間、暴風雨出水ノ爲メ被リタル災害土木費ノ補助金三十四萬
四十圓、臨時事件費豫備費ノ增加金三百二十萬圓、是ハ即チ八阪九ノ補償デアリマ
ス、右ノ内八阪九ノ補償ニ關シマシテ今後貿易商船ノ航海中ノ保護ニ付キマシテ、秘
密會ヲ開キマシテ、海軍大臣ヨリ詳細ノ説明ガアリマシタ、特別會計トシテ計上スル重
ナルモノハ、朝鮮醫院及濟生院支出金ノ增加金三萬六千餘圓、朝鮮ニ於ケル昨年夏
期中數回ノ豪雨ニ依リ朝鮮鐵道ノ被害復舊費二十七萬六千餘圓、是レデアリマス、
右二案ハ討論ノ結果全會一致ヲ以テ可決確定致シマシタ、本會ニ於テモドウカ委員
會通リニ可決確定アラント希望致シマス

〔拍手起ル〕

○議長(島田三郎君) 別ニ發議ガナイト認メマス、依ッテ採決致シマス、先ツ第二號

カラ採決シマス、大正四年度歳入歳出總豫算追加案、委員長ノ報告通り賛成ノ諸
君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 多數デアリマス、特第二號大正四年度各特別會計歳入歳
出豫算追加案、委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ナイト認メマス、可決確定致シマシタ

〔拍手起ル〕

○議長(島田三郎君) 次ニ高等試驗法案、之ニ次テ裁判所構成法中改正法律案
モ關聯シタモノデアリマス、一括シテ議題ト致シタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 一括シテ議題ト致シ第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯
明ヲ求メマス、加藤彰廉君

高等試驗法案(請願委員長提出)

第一讀會

高等試驗法案

高等試驗法

第一條 行政科、司法科及外交科ノ試驗ヲ高等試驗ト稱シ本法ニ依リ之ヲ

行フ 高等試驗ハ之ヲ資格試驗トス

第二條 高等試驗ハ毎年一回東京ニ於テ之ヲ行フ

第三條 高等試驗委員ハ委員長及委員若干名ヲ以テ之ヲ組織ス

第四條 高等試驗委員長及委員ハ各官廳高等官、判事、檢事、辯護士、帝國大

學法科大學教授及專門學校令ニ依リ法律學及經濟學ヲ教授スル官、公、私

立學校教員ノ中ヨリ試驗舉行毎ニ之ヲ命ス

第六條 日本臣民ニシテ成年以上ノ男子ハ高等試驗ヲ受クルコトヲ得

第七條 不正ノ方法ニ依リ試驗ヲ受ケムトシタル者及試驗ニ關スル規定ニ

違反シタル者ハ其ノ期ノ試驗ヲ受クルコトヲ得ス

試驗ニ合格シタル後前項ノ事實發覺シタルトキハ其ノ合格ヲ無効トス

第八條 高等試驗ハ分チテ第一次試驗及第二次試驗トス

第一次試驗ハ筆記試驗トシ第二次試驗ハ筆記試驗及口述試驗トス

第一次試驗及第二次筆記試驗ノ合格ハ各獨立シテ其ノ效力ヲ有ス

第九條 第一次試驗ニ合格シタル者ニ非サレハ第二次試驗ヲ受クルコトヲ

得ス 第二次筆記試驗ニ合格シタル者ニ非サレハ口述試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第十條 高等試驗ニ合格シタル者ニハ合格證書ヲ授與ス

第十一條 第一次試驗ハ行政科、司法科及外交科ヲ通シ左ノ科目ニ付之ヲ

行フ 憲法、民法

第十二條 第二次試驗ハ行政科、司法科及外交科ニ付各時期ヲ異ニシテ之
ヲ行フ

第十三條 第二次試験科目ハ左ノ如シ

行政科

第一 筆記試験科目

行政法、國際公法、刑法、經濟學

左ノ科目ハ受験者ヲシテ其ノ中ニ付豫メ其ノ一科目ヲ選擇セシメ之ヲ試験ス

商法、刑事訴訟法、財政學

第二 口述試験科目

憲法、行政法、刑法、民法、經濟學ノ五科目中三科目ニ付之ヲ行フ

司法科

第一 筆記試験科目

刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、國際私法

第二 口述試験科目

民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法ノ五科目中三科目ニ付之ヲ行フ

外交科

第一 筆記試験科目

外國語、國際公法、國際私法、經濟學

外國語ハ英語、佛語、獨語、露語及支那語ノ中豫メ其ノ一ヲ選擇セシメ之ヲ試験ス

左ノ科目ハ受験者ヲシテ豫メ其ノ一科目ヲ選擇セシメ之ヲ試験ス

刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、外交史、商業史、商業學、財政學

第二 口述試験科目

憲法、國際公法、國際私法、經濟學ノ四科目中三科目ニ付キ之ヲ行フ

附則

行政科試験ノ合格者ハ高等文官、司法科試験ノ合格者ハ司法官試験補及辯護士、外交科試験ノ合格者ハ外交官及領事官タルノ資格ヲ有ス

裁判所構成法中改正法律案(請願委員長提出)

第一讀會

裁判所構成法中改正法律案

第五十八條第二項中「勅令」ヲ「法律」ニ改ム

(加藤彰彦君登壇)

(拍手起ル)

○加藤彰彦君 此高等試験ノ問題モ多年ノ問題デゴザイマシテ、私ヨリハ諸君ノ方ガ其事情、其他御存知デゴザイマスカラ、私ハ極メテ簡單ニ其要領ヲ申述セヤウト思ヒマス、今日ハ文官高等試験トカ、又判檢事辯護士試験トカ、或ハ外交官試験ト云フヤウナ工合ニ試験制度ガ區々ニテ居リマス、其故ニ受験者ニ於キマシテ甚ダ不便ヲ感ズルデゴザイマスガ、之ヲ一纏メニシテ統一ノモノニシヤウト云フノガ一ノ理由デゴザイマス、ソレカラモウ一ツハ此日本臣民ハ文武ノ官ニ就クト云フコトハ憲法ニ依テ與ヘラレタ所ノ權利デゴザイマス、而シテ其權利ハ公平ニ臣民ニ與ヘラレタモノト信ジマス、然ルニ現在ノ試験制度ニ依ルト、或ハ官立出身ノ者ニハ試験ガ輕ク、私學出身ノ者ニハ

試験ガ重イト云フヤウナ形跡ガアリマシテ、公平ニテ居ラヌデゴザイマス、ソレ故ニ今回サウ云フ不公平ノナイヤウニ、之ヲ公平ニシテ誰デモ成年以上ノ男子ニシテ、公平ナル一定ノ試験ヲ受ケサヘスレバ、其憲法ニ依テ與ヘラレタ所ノ權利ヲ得ルコトニ致シタイト云フノガ主ナル理由デゴザイマス、今日ハ右ノ如ク門戸ガ狹クシテ、廣ク天下ノ有爲ノ士ヲ網羅スルコトニテ居リマセウガタメニ、多クノ人才ガ官ニ就クコトガ出來ナイア居ル者モ澤山アルノデゴザイマス、又今日ハ門戸ガ狹クシテ、或ハ官立出身ト云フ者ニ重キヲ置イテアリマスカラ、殆ド總テノ官吏ガ同一ナル形式ニテ居リマス、甚ダ國家ノ進運上ニ於テ宜クナイノデ、總テ何事ニ依ラズ同シ種類ノ者バカリニナリマスト決シテ進歩ノ出來ルモノデハナイ、進歩ハ種々ノ種類ノ者ガ混ジテ、初メテ進歩ガ出來ルノデアリマス、ソレ故ニ今回此試験法ヲ制定シマシテ、サウシテ官學ト云ハズ、私學ト云ハズ、廣ク天下ノ有爲ノ士ヲ網羅シテ、サウシテ一ノ其適當ナ所ニ其人才ヲ當嵌メタイト云フノガ本案ノ主ナル趣意デゴザイマス、ソレカラ裁判所構成法ノ改正ハ、是ハ此高等試験制度カラ當然起テ來マス所ノ自然ノ改正デゴザイマスカラ、是ハ辯明ヲ要サヌト思ヒマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒタウデゴザイマス、併シハ重大ナル問題デアリマシテ、簡條モ大分長ウアリマスカラ、若シ此法律等ニ付テノ專門ナル委員ノ御方ガ出來マシテ、慎重審議ヲナサルト云フコトデアリマスナラバ、提出者ハソレニ付テ異議ハナイノデゴザイマス

(拍手起ル) 贊成々々(ト呼ブ者アリ)

○議長(島田三郎君) 高橋政府委員

(政府委員法學博士高橋作衛君登壇)

○政府委員(法學博士高橋作衛君) 此機會ニ於キマシテ唯今御提案ニナリマシタル高等試験法案ニ對スル政府ノ意見ヲ簡單ニ表明致シマス、政府ニ於キマシテモ試験制度ノ改正ノ必要アルト云フコトハ度々議會ニ於テモ明言シタ通りデゴザイマス、裁判所構成法ガ改正三年四月ニ改正セラレマシタ、其第五十八條ニ於キマシテ「試験ハ成規ノ試験ニ合格シタル者ノ中ヨリ司法大臣之ヲ命スル前項ノ試験ニ關スル規則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト斯ウ現在ノ裁判所構成法ニテ居ル次第デゴザイマス、而シテ辯護士法ノ第二條ノ第二號ニ於キマシテ「裁判所構成法第五十八條ノ試験ニ合格シタルコト」ト云フコトガ極メテアリマシテ、辯護士タル者ハ此五十八條ノ試験ニ及第スルコトヲ要スルト斯ウ云フ譯ニテ居リマス、此ノ如クニ試験規則ガ勅令ニ依テ定ムルト云フコトニテ居リマシテ、而シテソレガ改正三年四月ニサウ云フコトニテ居ルデアリマス、其時期ヲ經過スルコト數年デアリマシテ、今日ニ至ッテ尙此試験制度ノ勅令ト云フモノガ出ナイト云フコトハ、政府モ大ニ遺憾トシテ居ル所デ、極力此裁判所構成法ノ要求スル所ノ勅令ヲ出サウト云フコトニ盡方ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、何故ニ斯ク盡力スルカト申シマスルト、諸君モ御承知ノ通り判檢事辯護士ニナルニハ帝國大學ノ卒業生ハ試験無シニテ往ク、其時ガ過ルバ過ル程斯ノ如キ特權ヲ維持スルコトニナルデアリマスカラ、先程申サレマシタ如ク公平ノ立場カラ、一刻モ早く勅令ヲ出サウト云フコトハ、私共大ニ努力シテ居ルノデゴザイマス、而シテ今日モ尙其努力ヲ怠ラヌ次第デ、此裁判所構成法ノ要求スル所ノ勅令ヲ出スト云フコトニ努メテ居リマス、サリナガラ若シ此高等試験法案ヲ御出シナリマシテ、而シテ此裁判所構成法ヲ先ガ改正シテ掛ッテ、勅令トアルノヲ之ヲ法律ニ改ムルト云フコトニ致シマスルト、私ノ大ニ恐レマス、政府ガ努力セヌナラ致方ハアリマセウガ、折角努力ノ間デアリマスカラ、若シ斯ノ如キ又此重大ナル所ノ裁判所構成法ヲ改正スルト云フノニハ、ドウモ其手續ガ非常ニ面倒ニナルデアリマス、

或ハ却テ諸君ノ御希望三副ハナイカ、或ハ斯ウ云フ風ナ法案ヲ立テ、御出シナサルコトハ、或ハ帝國大學ヲ帝國大學ノ特權ヲ剝グトカ、或ハ其他適當ナル所ノ試驗制度ヲ作ルコト云フ其目的ヲ達スルニ於テ、却テ不利益ヲハナカラウカト思フノデアリマシテ、其意味ニ於テ政府ハ斯ノ如キ法律案ノ改正ニ依テ、其目的ヲ達セラル、ト云フコトニハ反對ノ意ヲ表スルノデゴザイマス

○武内作平君 質問ガアリマス

○議長(島田三郎君) 武内作平君

○武内作平君 唯今政府委員ハ試驗制度ノ制定ニ付テ頻リニ努力ヲシテ居ルト云フコトヲ言ハレタデアリマスガ、裁判所構成法ノ改正案ガ通過致シマス際ニ於テ、至急試驗制度ノ制定ヲスルト云フコトガ委員會ニ於テ附帶條件トナツテ、構成法ハ政府ノ希望通り通過シタデアリマス、當ニ委員會ノミナラズ、本會ニ於テモ時ノ司法大臣ガ其事ヲ聲明サレタデアリマス、然ルニ既ニ構成法ガ制定セラレテ以來、今日ニ至ルマデ二年デアリマス、其間ニ於テ何等制定ノ功ヲ終ラヌデアリマス、斯様ナコトハ國民ニ對シテ背信ノ行爲デアルト信ズルデアルガ、政府ハ左様ニ信ゼザルカト云フコトガ第一ノ問デアリマス、ソレカラ第二ノ問ト致シマシテハ、頻リ試驗制度ノ制定ニ付テ努力ヲシテ居ルト言ハレタデアリマスケレドモ、構成法ガ通過シテ以來、先ニ申シタ通り既ニ二年デアリマス、此二年ノ間ニ於テ此制度ヲ此儘今日ニ至ルマデ見ルコトガ出來ナイ、將來ニ於テモ亦何時見ルコトガ出來ルカ見込ガ付カナイデアリマス、之ヲ以テ努力ヲヤト申サレルガ、其努力ガ果シテ效ヲ奏セラル、ノデアルカ、此二點ヲ質問シタイ

○議長(島田三郎君) 高橋政府委員

(政府委員法學博士高橋作衛君登壇)

○政府委員(法學博士高橋作衛君) 大正三年ノ四月以來、時日ノ經過シテ居ルコトハ大ニ私モ自覺シテ居ルデアリマシテ、大變ニ手緩イト御思ヒナサルノハ御尤ト思ヒマスガ、政府ニ於キマシハ試驗制度調査委員會ト云フモノヲ拵ヘマシテ、十分ナル研究ヲ致シテ相當ナル立案ヲ致シマスコト十分ニ盡力ハ致シマスケレドモ、審査ニモ時期ヲ要シマシタト云フコトヤラ、イロ／＼ノ事故ヲ選レテ居リマスルコトハ、別ニ背信ノ行爲ト云フ程度ニ達スルマデニハ少シモ至ラヌノデ、十分赤心ヲ以テ努力シテ居ルト云フコトハ御承知ヲ願ヒタイ、背信トハ自覺スルコトガ出來マセヌ、ソレカラ致シマシテ努力ヲヤト云フガ、ソレダケデハ往カヌ、何時頃出來ルカト斯ウ云フマア御尋ト第二ノ點ハ思ヒマスガ、是ハ努力ノ結果效ヲ奏スルト云フ見込アルコト云フコトヲ第一ニ申述ベテ、而シテ其如何ナル努力ヲ爲シテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、此勅令ガ政府タケデ出セルト云フモノデゴザイマセヌノデスカラシテ、其點ハ申上兼ネマス、ドウカ私非常ナ熱心ヲ以テ努力ヲシテ居リマスカラ(笑聲起ル)ドウカ其邊ハ御信用ヲ願シテ、必ズ出來ル積リデアリマス、最近ニ於テ出來ル積リデゴザイマスカラドウゾ御諒承ヲ願ヒマス

○福田又一君 議長——宜シウゴザイマスガ

○議長(島田三郎君) 福田又一君

○福田又一君 高等試驗法案及ビ之ニ附屬致シマシテ自然ノ規定ヲ要スル裁判所構成法ノ改正ハ、既ニ政府ニ於テモ十分審査サレ、民間ニ於テモ十分ハ討議サレテ、此問題ハ數年來ノ懸案デアリマスガ、本員ノ信ズルコトコデハ即決可決シテモ可ナリト信ズルデアリマスガ、政府ニ於テモ尙十分ノ努力ヲスルト云フコトデアリマスカラ、其言葉ヲ信シテ委員ニ付託シタイト考ヘマス、委員ノ數ハ議長ヨリ指名サレテ十八名ノ委員トシ、速ニ審査ヲ遂ゲラレテ本會ニ報告セラレムコトヲ望ミマス

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(島田三郎君) 福田君ノ動議、議長指名十八名ノ委員ニ兩案ヲ託スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルト決シマス——日程第八、慢性傳染病豫防ニ關スル建議案、委員長ノ報告ヲ求メマス、山根正次君

第八 慢性傳染病豫防ニ關スル建議案(山根正次 (委員長報告))

君外四名提出)

(拍手起ル)

(成ルベク簡明ニドウカ願ヒマスモウ時間ガアリマセヌカラ)「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ

○山根正次君 本案ノ委員會ノ經過及結果ヲ報告ヲ致シマスル、委員會ヲ開クコト二回デゴザイマス、一回ハ委員長理事ノ互選ヲ致シ、第二ノ日ニハ午前午後二瓦ヲ討論ヲ致シマシタ、不肖委員長トシテ委員會ヲ開キ、委員ヨリ御注文ニ依リマシテ又提出ノ理由ヲ長ミト説明ヲ致シタデアリマス、其處ニ政府委員モ出ラレマシテ委員ヨリ種々ナル質問ガアリマシタデアリマス、政府モ亦此案ニ向テハ絕對ノ二反對デハナイノデス、大變ニ良イ案ヲ出シテ呉レタト云フコトデアリマスルケレドモ、免角ニ經費ノ關係上容レラヌヤウナ鹽海ガアリマシタデアリマス、而シテ結構ニ對シマシテハ法律十六號ニ依テ療養所ヲ二十万ノ人口ヲ有スル所ニ設クルト云フコトハ極デ居ル、ソレノミナラズ、種々演說ニ芝居ニ此病氣ヲ防グ上ニ注意ヲ致シテ居ルト云フコトヲ申シマシタ、而シテ癩病ノ如キニ致シマシテハ甚ダ取締ガ十分ニ往カヌコトヲ遺憾トシテ居ラレタ、東京ヨリ癩病患者ヲ東村山ノ方ニ連レテ行ツテ、其全生病院ニ入ル、コトガ出來ナイノデ、又再ビ巡查ガ之ヲ車ニ乗セテ連レテゴザッタ、然ル模様デアルニ拘ラズ、之ヲ隔離所ヲ設ケテ容レルト云フコトガ出來ナイト云フテ甚ダ殘念ガッテ居ラレタデアリマス、ソレカラ又此賣笑婦ノコトニ付キマシテハ種々質問モ出マシタ、其質問ノ中ニ免角刑事巡查ナドガ繩張りヲ拵ヘテサウシテ十分ニ取締ラヌ、サウ云フ結果ガ甚ダ不都合デアルト云フヤウナ質問モ出タデアリマス、此密娼ヲ取締ル上ニ付テハ爾來是ガ取締ヲ十分ニ爲ス、捕ヘタトコロノ者ガ病氣デアッタナラバ之ヲ検査サスル、サウシテ病院ヘ入レテ治療ヲサセルト云フコトデアリマシタカラ、監視廳カラ與ヘタトコロノ千數百人ノ病人ガアルノニ、是ガ何處ヘ入ッテ居ルカト云フ質問ニ對シマシテハ、政府ハイヤツレハ入レテナイト云フコトヲ申シタデアリマス、而シテ是等ノ取締ハ是カラ爲スト云フコトデアリマシタ、ソレカラ又年齡低下ノコトニ付キマシテハ政府ニ於キマシテハ是ハ攻究中デアルト云フコトデアリマシタガ、攻究中ト云フバカリデ何ニモヤラヌヤナイカ、此問題ハ數年前ノ問題デアルノニ政府ガ一ツモ之ヲヤッテ居ラヌデアナイカト云フ質問の議論ガ出タデアリマス、免ニモ角ニモ彼ノ英國獨逸佛蘭西等ニ於テ死亡率ガ十分ニ減シテ行クノニ拘ハラズ、帝國ノ國民ノ死亡率ガ非常ニ日々増シテ行クト云フコトハ、今ノ慢性傳染病ノ多ク行ハルノニ因ルデアルカラ、大ニ政府ハヤランニヤナラヌデアナイカト云フコトニ對シマシテモ、財務當局ノドウモ難ズルトコロデ往ケナイト云フヤウナコトデアルト云フコトヲ申シマシタカラ、是ハ畢

竟ズル其方ノ當局者ガ努力ノ足ラヌノデアル、確ッカリ努力シテ當局ノ財務大臣ヲ確カリ説イテ、是ハドウシテモ目的ヲ達セネバ國運ノ發展ハ望メスト云フコトヲ申シタノデアリマス、而シテ委員會ハ全會一致ヲ以テ此案ヲ贊成ラ致シマシタ、滿場ニ於カレマシテモドウカ御贊成アラムコトヲ希望シマス(拍手起ル)

○議長(島田三郎君) 福田又一君……

○議長(島田三郎君) 福田又一君……

○議長(島田三郎君) 本案ニ付テ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ本案ハ可決致シマシタ、——日程第九、濠洲及南洋ノ排日除去ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長今西林三郎君

第九 濠洲及南洋ノ排日除去ニ關スル建議案(小西和君外一名提出) (委員長報告)

(今西林三郎君登壇)

(拍手起ル)

○今西林三郎君 本案ニ付キマシテハ本月七日及十日ノ二回委員會ヲ開會致シマシタ、十日ニハ此案ハ非常重要案件デゴザイマスノデ外務大臣ノ出席ヲ求メマシタ、然レニ當日ハ陛下ノ御遠御ニナリマス日御迎ヒニ行カレ、其他用務ノタメニ出席ガ出来マセヌノデ、柴參政官ガ代テ出席サレマシタ、先ヅ提出者ノ小西君ガ提出ノ理由ヲ述ベラレ、小林君ガ質問セラレ、ソレニ對シマシテ參政官ヨリ懇切叮嚀ニ説明ガアリマシテ、尙終リニ速記ヲ省キマシテ懇談的ニ十分其應答ヲ致シタ譯デゴザイマス、結局此案ノ遂行ヲカメルト云フコトデゴザイマシタノデ、一同満足ヲ致シテソレデ結了致シマシタ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、皆サンノ御贊成ヲ願ヒマス

○相島勘次郎君 議長——反對意見ヲ述ベタイト思ヒマス

○議長(島田三郎君) 相島勘次郎君

(相島勘次郎君登壇)

○相島勘次郎君 極ク簡單ニ反對ノ意見ヲ申述ベタイト思ヒマス、此議案ハ外ナラヌ小西君ノ提出デゴザイマシテ、反對ヲスルコトハ洵ニ心苦シノデアリマスケレドモ、衆議院ノ面目上海ニ已ムヲ得ズ反對ヲスルノデアリマス、提案者小西君ハ初メ案ヲ出ス時分ニ、濠洲及英領南洋ト書イテアッタノヲ英領ト云フ字ハ取リマシタケレドモ、併ナガラ其提出ノ演説ヲ承テ見マスル、全ク英國ノ目的トシタモノデアリマシテ、英國ニ對スル日本ノ外交ノ無能竝ニ同盟國タル英國ガ日本ニ對シテ甚ダ怪シカラヌト云フコトヲ極論サレテ居ルノデアリマス、若シ單ニ是ガ排日ヲ除去スルコトデアリマスレバ、排日ノ最モ烈シノハ亞米利加デアリマス、支那ニ於テモ排日ハアリマス、又南洋諸國領其他ニ於テモアルノデアアル、然レニ小西君ハ殊更ニ此英國ヲ宛テト云フコトハ同盟國タル英國ガ甚ダ怪シカラヌ、而シテ日本ノ外務大臣ハ之ニ對シテ何等ノ方策ヲ執ラレナイ、甚ダ無能デアルト云フ議論デアリマス、サウシマスルト吾ハ實ニ現外務大臣ノ外交手腕ノ無能ナルコトヲ認メテ居ルノデアアルケレドモ、吾ハ無能デアレバ無能デアルヤウニ立派ナ形式ヲ具ヘテ排斥ヲスルナラバ排斥ヲシ、彈劾ヲスルナラバ彈劾ヲスルガ宜イ、斯ウ云フ形式ノ下ニ隱レテ外務大臣ヲ指彈スルコト云フコトハ、恰モ貴族院デ發明サレタコロノ「オブラード」ニ包シテ苦イ藥ヲ飲マセルヤウナ譯デアリマシテ、是ハ衆議院ノ面目トシテ甚

ダ面白クナイト私ハ思フノデアリマス、ソレ故ニ私ハ已ムヲ得ズ反對ヲスルノデアリマス、若シモ此案ガ——外務大臣ノ無能ヲ指彈スル此案ガ滿場多數ヲ以テ通過スルナラバ、ツマリ柴參政官モ——外務省ノ參政官モ此處ニ御出デマシマスガ、此人達ガ一緒ニナッテ此案ヲ通過スルコトニナレバ、外務大臣ハ當然其責任ヲ取ラレ、ヤウナコトニナリマセウガ、サウ云フコトニ依テ責任ヲ取ラセルト云フコトハドウモ公平ナル立派ナル手段デハナイヤウニ考ヘル、ソレ故ニ私ハ内容ノ主義ニ於テハ贊成デアルケレドモ、形式ガ甚ダ面白ナイ、彈劾ノ形式トシテ甚ダ面白クナイカラ、其點ヨリ反對ヲスルノデアリマス

(謹聽ト呼フ者アリ)

○小西和君 唯今相島君ヨリ奇妙ナ御意見ヲ承リマシタ、私ノ本案提出ノ意思ハ外務大臣ヲ彈劾スルナドト云フ考デ出シタノデアリマセヌ、單ニ濠洲並ニ南洋ノ排日ヲ除キタイ、此精神ニ外ナラヌノデアリマス、相島君ノ御演説ハ私ノ真意ヲ誤解シテ居ラル、ヤウニ考ヘマス、此理由ニ依リマシテ滿場ノ御贊成ヲ得テ可決セラレムコトヲ希望致シマス

○西村丹治郎君 私ハ相島君ニ反對シテ本案ニ贊成スル者デアリマス、其贊成ノ理由ハ唯今提案者タル小西君カラ御説明ニナッタコトト正反對ノ意味ヲ以テ之ニ贊成スルノデアリマス、本案ハ正シク我外交ノ無能ナルコト、我外交ノ怠慢ナルコトヲ美麗ナル辭ヲ以テ攻撃シタモノデアアル、謂ハハ麗ハシキ辭ヲ以テ外務大臣ヲ彈劾シタル案ト認定致スノデアアル、此意味ニ於テ本案ヲ贊成致シマス(討論終結ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 最早辯論ハ盡キタト考ヘマス、依テ採決致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(島田三郎君) 多數デアリマス、本案ハ委員長報告通り可決シマシタ——日程第十、教育費國庫支辨ニ關スル建議案——委員長鈴木萬次郎君

第十 教育費國庫支辨ニ關スル建議案(鈴木萬次郎君外七名提出) (委員長報告)

(鈴木萬次郎君登壇)

(拍手起ル)

○鈴木萬次郎君 諸君、此法案ハ屢々諸君ノ耳聾ニ觸レ御諒得ニ相成ッテ居ル案デゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ政府委員ガ大藏内務兩省カラ出ラレマシテ、彼是審議致シマシタガ、何レモ此案ニ向ッテ不適當デアルトカ宜シカラヌト云フコトハ申サレマセヌ、何レモ宜シイ、尤モデアアル、適當デアルト云フコトデアリマシタ、謔ニ「褒メル品物買手ナシ」ト云フヤウナ具合テ、各黨派間或ハ政府委員間ニ於テ尤モデアアル、至當デアルト云フコトハ言ハレマスケレドモ、サテ此案ノ趣意ヲ通スト云フ點ニ付テハ相變ラズ大藏當局ノ如キハ財政上御返答ガ出来ヌト云フノデアリマス、又内務ノ如キハ全ク此旅行旅行倒人ニ對シテ其他之ニ關聯シテ調査モ致シテ居ルト云フコトハ申サレマシタガ、ヤハリ調査ト云フコトニ口ヲ藉ラレテ、サテ之ヲドウスルカト云フコトニ付テハ何ノ運ヒモシテ居ラスノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ委員會中ノ樋口君ハ詳シク調ベテ居ラレマシタニ付キマシテ意見ガ出マシテ、此費用ヲ全然國庫ニ於テ負擔シテ支出スルト云フコトハ弊害ガアッテ宜シクナイト云フコトデ、原籍ノ不明ナル者若クハ居住ノ不明ナル者ノ國庫ガ之ヲ負擔シテ、其他ハ地方費——縣費或ハ府費デ之ヲ支辨スルガ良カラウト云フ說デアリマシタ、サウ致シマスルト現在ノ如ク東京府ガ五十餘万ノ中四十万圓ヲ負擔スルト云

フヤウナ不公平ナコトヲスルコトモ出來ルカラ、全然國庫負擔ト致サズシテ、國庫補助ト云フコトニ改正スルガ良カラウト云フコトヲゴザイマシタ、委員ノ多數——實ハ多數ト申シマシテモ、委員會ヲ開キマシタガ此問題ニ付テハ餘リ他ノ委員會ノ如ク熱心ニ出席シテ討論ヲスルト云フコトガゴザイマセヌ、屢、開イテ屢、流會ニナツテ居リマシテ、笑聲起ル問題ニ依リマシテハ隨分青筋ヲ張ツテ開會以前カラ出テ來テカラニヤル問題モアリマスルガ、箇様ナ憫ムベキ問題ニ對シマシテハ其救ハレルトコロノ者ハ病氣デアッ、飢渴ニ追ッテ歩ムコトモ出來ヌ、聲ヲ揚ゲテ救フ求ムルコトモ出來ヌト云フヤウナ、外ノ問題ノ如ク運動者ガ廻ル、或ハ書面ヲ以テ御願ヲスルトカ、ヤカマシイ議論ヲシテ諸君ニ向フコトカ云フヤウナコトノ出來ナイ、此憫ムベキ聲モ出ズ身軀モ動カズト云フヤウナ者ヲ救フ問題デアリマスカラ、マルタ委員會ハ委員會ニナツテ居ラヌガ、幸ニ致シテ漸ク二回ノ委員會ニ於テ今申上ゲマス如ク樋口君ノ發議ニ依リマシテ之ヲ修正致スコトニナツタデアリマス、尙此各國ニ於ケル救貧政策ト云フヤウナコトニ付テモ詳シキ御説ガ出マシタガ、是モ樋口君ノ御調查御主張デアリマス、隨分必要ナ事デアアルケレドモヤリヤウニ依テハ弊害モ來スデアリマスカラ、ドウカ弊害ヲ成タケ一方ニ防ギ、完全ニ此救貧政策上、又保安上、又慈善的此事業ニ對シテ相當ナル事ヲスルト云フコトハ、今日ニ於テ必要デアルト云フ痛切ナ御議論モゴザイマス、要スルニ此問題ハ其要旨ヲ申上ゲマスレバ一ツハ負擔ノ公平ヲ得ルト云フコトニナル、一點ハ其取扱ヲ改善スルト云フコトヲゴザイマス、之モ或ハ錦衣肉食ノ諸公ハ御承知ナイカモ分リマセヌガ、行旅行倒人トシテ現在收容セラレル有様ヲ申上ゲマス、愈々方竭キ聲モ出ズ倒レテ動クコトモ出來ナイト云フヤウニ至ツテ、初メテ之ヲ收容スルト云フコトニナツテ居リマス、過日一日雪ノ降ツタ日ニ淺草觀音堂ノ周圍ハ滿員ナリシ坊ヤラ乞食ヤラ立シ坊ヤラ病人ヤラ流石ノ巡查モ之ヲ追切レヌト云フコトヲゴザイマシタ、是ハマダ行旅行倒人ノ中ニ入ッテ居ラヌ、是カラ一歩ヲ進メタ者ガ今日取扱ハレルト云フデアリマスカラ、斯様ナ群ハ何ヲシテ居ルカト云フ、(「簡單」ト呼フ者アリ)幾ラ簡單ト仰シヤツテモ簡單ニハヤレマセヌ、東京ニハ今日立シ坊トカ乞食トカ浮浪人トカ云フ名前、此行旅行倒人ノ前ニ上級ナ者ガ澤山アルデアリマス、是ハ委員會デアツタ狀況ヲ申上ゲル(「報告デアナイ」ト呼フ者アリ)報告ダ、是ヨリ一歩進メタ者ガ行旅行倒人トナツテ居ルデアリマス、斯ウ云フ者ガ或ハ放火ヲスル、頻々此頃東京府下ニハ火事ガアリマスガ主ニ放火ガ多イ、サウ云フノモ皆ヤリ此範圍デアアル、是ヨリハ上級ノ者デアアル、聞ク所ニ依レバ龜井警視總監ノ時代、警察署ニ於テ五、六年前ニ九万圓ヲ掛ケマシテ板橋ニ浮浪人收容所ヲ拵ヘタサウデアリマス、然ルニ是ハ唯今ハ立廢レニナラシメテ、何等ノ法規モゴザイマセヌカラ其儘テ居ル、サウシテ都下ニハ何千人ト云フ行旅行倒人上級ノ者ガ東京ノ安寧秩序ヲ害シテ居ル、若シ社會政策ダト云フノナラバ、或ハ債長家ナド、云フ政府ノ御趣意ガアルノナラバ、九万圓ヲ掛ケタ此空家ヲ其儘ニシテ居ルデアアル、畢竟今日ハ救貧政策ニ付テハ何等ノ設備ガゴザイマセヌカラ、ドウカ此救貧政策上此問題ハ茲ニ諸君ノ御同情ヲ蒙リ、是非ニ一方ニハ國庫一方ニハ地方ニ於テ負擔シテ、此事業ヲ幾分今日ヨリハ改善ノ域ニ向ハセタイト云フ委員會ノ一致ノ意思デアリマスカラ、此段報告致シマス

○議長(島田三郎君) 委員長ノ報告ニ付テ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」異議アリト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 異議ガアリマスレバ決ヲ採リマス
(「異議ナシ」異議ナシノ聲起ル)

○議長(島田三郎君) 異議ガナイト認メマスカラ、委員長ノ報告通り可決シマス、日程第十一、有栖川神社建立ニ關スル建議案、委員長鹿島秀君

第十一 有栖川神社建立ニ關スル建議案(鹿島秀君外四名提出)
(鹿島秀君登壇)

○鹿島秀君 本案ハ極メテ簡明デアリマシテ、而シテ亦至ッテ重大ナル件デアリマス、故ニ慎重ニ謹嚴ニ審査ヲ致シマシタコトハ申スマデモゴザイマセヌ、政府ハ此案ニ對シマシテハ非常ニ喜ンデ贊成致スコトデアリマスルケレドモ、此事極メテ重大且ツ其關係スル所ガ種々ゴザイマスル爲ニ、其調査ガ容易ニ調ヒ兼ネマスルデアリマスル故ニ、直ニ此建議案ノ如ク豫算ヲ組ンデ提案ヲスルト云フコトニハ遺憾ナガラ今日猝ニ同意ヲシ兼ネルト云フコトデアリマス、然ルニ委員會ニ於キマシテハ此事ハ一日モ早ク吾々國民ノ欲望スル所ノ目的ヲ遂行致シタイ、切望ニ堪ヘヌ所デアアル、故ニ政府ハ宜シク速ニ此調査ヲ排ラレヤウニト云フ趣意ニ於キマシテ、全會異議ナク本案ヲ可決致シマシタ、願クハ御贊成ヲ請ヒマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 委員長ノ報告ニ御異議ナイト認メマスカラ、報告通り本案ハ可決致シマス、日程第十一、鐵道建設ニ關スル建議案、委員長西英太郎君

第十二 鐵道建設ニ關スル建議案(松田源治君外四名提出)
(西英太郎君登壇)

○西英太郎君 我ハ鐵道建設ニ關スル建議案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ報告致シマス、本案ハ福岡縣久留米ヨリ大分縣ノ日田玖珠兩郡ヲ經テ大分ニ達スル鐵道ヲ速ニ建設シタイト云フ案デアリマス、委員會ニ於キマシテハ政府當局ト委員ト間ニ種々ノ質問應答ヲ重ネマシタガ、政府委員ノ是ニ對スル意見ハ、此ノ線路ニ付テハ政府ニ於テモ篤ト調査ヲ遂ゲテ頗ル必要ノ線路デアルト云フコトハ認メテ居ルガ、財政ノ餘裕ナキ今日ニ於テハ、速ニ此ノ線路ノ建設ニ著手スルト云フコトヲ言明スルコトハ出來兼ネルト云フコトデアリマス、然ルニ委員會ニ於テハ此ノ線路ノ建設ノ必要ヲ認メマシテ、全會一致ヲ以テ原案ヲ可決致シマシタ、右御報告ヲ致シマス

(「異議ナシ」贊成ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 委員長報告ニ御異議ガナイト認メマス、依テ本案ハ可決致シマス、日程第十三、第十四同一委員ニ付託シタ議案デアリマスカラ、一括シテ議題トスルニ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 但決議ハ別ニ致ス積リデアリマス、製鐵事業促進及獎勵ニ關スル建議案、枝光製鐵所官民共同經營ニ關スル建議案、之ヲ一括シテ議題トシ委員長長ノ報告ヲ求メマス、小林丑三郎君

第十三 製鐵事業促進及獎勵ニ關スル建議案(小) (委員長報告)

第十四 枝光製鐵所官民共同經營ニ關スル建議案 (委員長報告)

○法學博士小林丑三郎君 右兩案ノ經過及結果ニ付テ御報告致シマス、併シ決議ハ別ニ致シマシタカラシテ二ツニ分ケテ御報告致シマス、此ノ問題ハ既ニ重大ナ問題トセラレマシテ、是ニ關係スル豫算モ提出セラレテ居ルコトデ、本會ニ於キマシテ度々議論セラレタコトデアリマス、私ハ唯委員會ノ經過ト結果ヲ簡單ニ御報告シテ、理由ハモウ大抵盡キテ居ルと思ヒマスカラシテ詳述致シマス、第一ニ製鐵事業促進及獎勵ニ關スル建議案ニ付キマシテハ、質問ヲ官民共同經營ニ關スル建議案ト共ニ質問ダケハ共ニ政府ニ致シマシテ、其會議ノ回數ハ約五回ニ互ツテ居リマス、其間政府ヨリ枝光製鐵事業第二期擴張案ガ出マシテ、其方ノ委員會ト種々重複スル點ガアリマスカラ、本委員ノ方ハ暫ク中止シテ居リマシタガ爲ニ、實ハ時間ヲ澤山今日迄取ツタ譯ニナツテ、報告ガ遅レルヤウナ順序ニナツタデアリマスガ、政府ノ「簡單」ト呼フ者アリ「簡單」ニヤリマス「短キヤル方法ハアリマセヌカ」ト呼フ者アリ豫算委員會ニ於ケル説明等ニ依リマシテ、大分此ノ方ノ質問ヲ略スルコトガ出來マシタノデゴザイマスカラ、此方ハ豫算委員會ガ終リマシテカラ引續イテ質問ヲ續行致シマシテ、決議ニナリマシテハ委員ノ多數ニ依ツテ理由書ノ一部分ヲ除クコトニシテ、大體ヲ可決スルコトニナリマシタ、コレカラ官民共同經營ニ關スル建議案ニ付キマシテモ、委員ノ中ニ多少ノ意見ガアリマシタケレドモ、委員會トシテハ原案ノ通りニ可決致シマシタ、此段御報告ニ及ヒマス

○議長(島田三郎君) 別ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 製鐵事業促進及獎勵ニ關スル建議案、御異議ハナイト認マシテ可決致シマス、枝光製鐵所官民共同經營ニ關スル建議案、是モ御異議ガナイト認マシテ可決致シマス、日程第十五ヨリ第十八ニ至ル議案ハ委員長ヨリ延期ノ申出ガアリマス、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 御異議ガナケレバ延期スルコトニ決シマス、日程第十九、神戸港設備完成急施ニ關スル建議案、委員長横田孝史君

第十九 神戸港設備完成急施ニ關スル建議案(田) (委員長報告)

(横田孝史君登壇)

○横田孝史君 本案ニ對シマスル委員會ノ經過ト結果ニ付キマシテ簡單ニ御報告致シマス、委員會ヲ開クコト二回、而モ此頃ハ各二三ノ委員ヲ兼テ居ラル、ニモ拘ラズ、委員諸君ハ極メテ精勵、此問題ハ最も重要ノ案件トシテ從事セラレタデアリマス、而モ此案ハ建議案デアリマスガ故ニ、第一政府ノ同意ヲ得ルヲ以テ目的ト致シマシタ、是ガ前提ト致シマシテ第一ニ工事ノ難部、國庫財政ノ都合、是等ヲ豫メ聽イテ以テ必要ト致シマシテ、或ハ此工事ニ直接關係ノゴザイマス建築課長トシテ即チ丹羽博士、或ハ内務省ノ土木局長トシテ小橋君、是等ニ對シテ各委員ハ詳細ニ質問ヲ發セラレテ其所見ヲ聽カレタデアリマス、最後ニ當局大臣トシテ即チ武富大藏大臣ノ出

席ヲ求メマシテ更ニ要點ニ付テ質問ヲ重ネ、且ツ其所見ヲ聽キマシタ、結局出席員多數即チ最後ノ當日ハ最も必要ノ場合デアリマスガ故ニ、九名ノ委員悉ク出席ヲサレマシテ滿場一致ヲ以テ可決シタデアリマス、尙此場合ニ附加ヘテ一言致シマスル必要ヲ認メマスルガ、由來神戸港ガ樞要ノ貿易港デアルト云フコトハ、其貿易額或ハ關稅額、是等ノ數字ニ示スコロデアリマス、先年即チ日露戰爭後ニ、稅關擴張ノ名ノ下ニ此港ノ端緒ガ開カレマシテ、此繁榮岸ノ設備ノ爲メニ約一千七百幾萬圓ト云フ費用ヲ見積リマシテ、政府ガ三分ノ一、神戸市ガ三分ノ一、斯カル巨額ノ見積リヲ以テ築港ノ計畫ガ成立マシテ、現ニ今工事進行中デアル、其一部ハ成功シテ居ルデアリマス、然ルニ此建議案ノ主タルコロノ防波堤ノ工事中、僅ニ一部分ノ著手ニ止マリマシテ、寧ろ大部分ト認ムベキ東部ノ九百五十間、南部ノ五百間、是ガ第二期ニ工事ノ名ノ下ニ中止ニナツテ居リマス、神戸市ハ御承知ノ如ク東南ニ向ツテ開カレテ居ル港デアリマスガ故ニ、東乃至南ノ風ヲ受ケルコト最も激シ、更ニ紀淡海峽ヨリ來リマスストコロノ風ガ最もヒドイデアリマス、如何ニ天然ノ良港ト致シマシテモ天災マデモ防グコトガ出來マセヌ、是レ即チ此建議案ノ由テ起ル所以デアリマス、恰モ家屋ヲ建築致シマシテ其屋根ガ葺ケテナイト云フ有様デアリマス、丁度此目的ヲ達シマスラバ建築已ニ成ラントシ、此場合ニ全ク屋根ヲ葺キマスルノ同一ノ效果ヲ見ルノデアリマス、ドウカ願クハ滿場一致ヲ以テ御贊成アラシコトヲ望ミマス(拍手起ル)

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(島田三郎君) 委員長ノ報告ニ御異議ガナイト認ママス、依ツテ本案ハ委員長報告通り可決致シマシタ、日程第二十、取引所令中改正ニ關スル建議案、之ヲ議題ト致シマス、委員長加賀卯之吉君

第二十 取引所令中改正ニ關スル建議案(加賀卯之吉君一名提出) (委員長報告)

(加賀卯之吉君登壇)

○加賀卯之吉君 取引所令中改正ニ關スル建議案ノ委員會ハ、政府當局ノ意ヲ聽キマシテ、サウシテ遂ニ大臣ノ出席ヲ請ヒマシテ滿場一致ヲ以テ可決致シタデアリマスガ(贊成ト呼フ者アリ)是ダケハ報告シテ置カナケレバナラヌ義務ガアリマス、政府ノ當局者ハ百石ノ賣買ヲ單位トシタノ薄資者ノ小ナル資本家ノ取引所投機市場ニ出入スルコトガ風紀ノ上ニ害ガアル、サウシテ公定相場ヲ作り出ス資格ノ無イ者デアル、斯ウ云フコトヲ言フノガ百石ヲ單位ニシタ云フ原因デアルト云フコトデアリマス、ソレカラ身元保證金ヲ五千圓ヲ限度ニシタ云フコトハ、確タル據リ所ハ無イケレドモ、取引所ノ仲買人タル者ハ凡ソ五千圓位ノ身元保證金ヲ納入スルニ非ラザレバ其資格無シト、斯ウ見タト云フデアリマス、之ヲ追窮致シタ、スルト先ツ仲買ノ信用ヲ向上セシムルノ五千圓以下デアリケナイト、斯ウ言フ、此政府委員ノ意見ヲ聽キマシテ委員會ノ多數ハ全然之ニ反對ヲ致シマシタデアリマス、ソレハ五十石ノ賣買ヲスル者モ百名ノ賣買ヲスル者モ、敢テ其間ニ間隔ハ無イ、百石ノ賣買ヲスル者ガ公定相場ヲ作り出スモノト云フナラバ、五十石ノ賣買ヲスル者モヤハリ公定相場ヲ產出ス資格ノアル者ダト云フ理窟デアル(簡單ト呼フ者アリ)ソレカラ地方ノ實況ニ照シテ地方ノ經濟狀況ニ鑑ミテ、ドウシテモ百石單位デハ米ノ需給等モ米價ノ高低ヲ定ムルコトガ出來マモノデアルト云フ意見ニ依ツテ、政府ニ反對シタデアリマス、五千圓ノ身元保證金ト二千圓ノ爭ハ、是ハ水掛ケ論デアリマスガ、仲買ノ資格信用ヲ向上セシムルニハ單ニ身元金ヲ

五千圓ニシテカヲ向上スルコト云フモノデハナイ、三千圓デモ地方ニ依ッテハ十分信用ヲ得ルコトガ出來ル(然リ)ト呼フ者アリ東京ノ如ク三萬圓ノ身元金ヲ出シテ居ッテモ信用ノ無イ者ハハリ信用ハ無イ、難境ニアル者ハ難境ニ終ルト云フ理窟ニ於テ政府ニ反對シテアリマス、而シテ大臣モ其意ヲ諒セラレテ、此建議ノ趣旨ハ成ルベク尊重スルト云フコトデゴザイマシタ故ニ、諸君ニモ御同情ヲ以テ御賛成アラントヲ希ヒマス

〔贊成〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メテ本案ハ可決致シマス——日程第二十一、輸出品粗製濫造防止ニ關スル建議案——委員長尾崎元次郎君

第二十一

輸出品粗製濫造防止ニ關スル建議案 (委員長報告)

〔尾崎元次郎君登壇〕

○尾崎元次郎君 私人委員會ノ經過ヲ簡單ニ御報告致シマス、委員會ニ於キマシテ政府委員ノ辯明ニ依リマスルト、政府モ此機會ニ於テ同業組合法ノ改正ヲ提出サレルサウデアリマス、此趣旨ハ本案建議ノ趣旨ト同一デアリマシテ、委員會ハ此建議ヲ適當ト認メマシテ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段報告致シマス

○議長(島田三郎君) 委員長報告ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 御異議ハナイト認メテ可決致シマス——日程第二十二及第二十三ハ同一ノ委員ニ付託シタ議案デアリマスカラ、一括シテ議題ト致シマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 地方裁判所支部權限復活ニ關スル建議案、區裁判所復舊ニ關スル建議案一括議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——樋口秀雄君

第二十二

地方裁判所支部權限復活ニ關スル建議案 (委員長報告)

第二十三

區裁判所復舊ニ關スル建議案(福井三郎君外三名提出) (委員長報告)

〔樋口秀雄君登壇〕

〔樋口秀雄君〕ト呼フ者アリ

○樋口秀雄君 兩案ヲ一括シテ、委員會ノ經過及決議ハ委員會ノ議錄ニ譲リマシテ、唯前會ト同様ニ全會一致ヲ以テ可決致シタコト、竝ニ今回ノ委員會ニ於テ政府トノ應酬ノ間ニ左ノ事實ガ明カナツテ來タト云フコトダケヲ御報告致シマス、即チ司法省ニ於キマシテハ地方裁判所支部ノ權限ノ復活竝ニ區裁判所ノ復舊、此兩者共ニ必要ヲ認メテ居リマス、出來得ルコトナラバ明年度ニ於テモ約五十萬圓位ノ經費ヲ要求シテ實現シタイト云フ希望デアリマス、サウシテ地方裁判所支部ノ權限復活ニ關シマスル經費ガ、一箇所約五千圓區裁判所ノ方ハ八千圓デアリサウデアリマス、此八千圓ト申シマスルハ大正二年ニ於テ權限ノ擴張サレマシタ前ノ區裁判所、即チ民事ニ於テハ五百圓マデヲ扱ヒ刑事ニ於テモ前ヨリ擴張シテ居リマス權限ノ前ノ區裁判所ヲ復舊シタイト云フ意見デアリサウデアリマス、ソコデ此兩者合セテ約五十萬圓位ヲ

請求シタイト云ハレマスカラ、是カラ推測致シマスルト廢止サレマシタ七十四箇所ノ地方裁判所支部ノ中デ、約半バ以上ヲ復活シ、廢止サレマシタル區裁判所ノ中既ニ當然廢止セラルベキモノヲ除キマスルト、マダ九十五箇所アリマス、其約半數ト云フモノハ復活スル意思ガアルヤウニ明カニ讀マレルノデアリマス、尙其箇所等ニ付テモ答辯ノ間ニ稍、明カナツテ居リマスカラ、諸君ノ御關係ノ地方ガ廣ウゴザイマスカラ、申上ゲタ方が便利カト思ヒマスガ、簡單ヲ御希望デアリマスカラ是デ報告ヲ止メテ置キマス

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 採決法ニ付テ一言申シマス、兩案ヲ同時ニ採決シテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(島田三郎君) 兩案共委員長報告通りニ御異議ガナイト認メマス、依テ兩案トモ可決致シマス、次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、今日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後五時四十一分散會

衆議院議事速記第二十五號正誤

頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正
五五二	上	一〇	苦心	腐心	五五三	上	二八	邦家	邦貨
五五三	上	二二	邦家	邦貨	五五三	上	三三	邦家	邦貨